

(公表用)

**行政評価（総合評価）結果一覧表
（平成 26 年度事務事業分）**

平成 27 年 11 月

横瀬町まち経営課

行政評価報告書

消防団員活動事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	4 防災・消防体制の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	災害発生時の対応や日頃の啓蒙活動など、消防団活動の充実を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	消防団員へ支給品の整備や報酬、出動手当等を支出する。 (団員報酬、退職金、退職記念品、出勤実費弁償、制服、特別点検費、災害補償負担金、退職金掛金、分団交付金)					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	17,584	16,767	15,023
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他	5,103	2,658
	一般財源	12,481	14,109

【 事業実績 】

実施内容	・ 団員報酬 4,200,750円 (120名) ・ 退職報償金 2,868,000円 (7名) ・ 火災出勤等実費弁償 1,022,000円 (1回あたり1,000円) ・ 制服等購入費 190,944円 ・ 消防災害補償負担金 257,838円 ・ 退職報償基金掛金 3,686,400円 ・ 福祉共済掛金 354,000円 ・ 分団運営費交付金 2,000,000円 (本部250,000円、各分団350,000円)
------	---

【 目標指標 】

1	指標	消防団員数										
	最終目標値	162								単位	人	
	実績値			平成23年度	138	平成24年度	123	平成25年度	111	平成26年度	120	
	達成度	%		85	%	76	%	69	%	74	%	
	指標											
2	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
3	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
4	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
5	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	消防団員報酬等は、条例に基づき支給しており、経費は適正である。また訓練・点検等は消防団組織の向上及び、消防団をPRする上で必要である。	
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切			
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切			
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	1 点：概ね適切	5／6点	条例改正により団員数の定員を192人から144人へ変更したため、計画側の目標指標の見直しが必要である。	
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切			
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切			
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	防災体制の強化からも消防組織の向上は重要であるが、団員数が減少傾向にある。団員の確保が今後必要である。	
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切			
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切			
総 合 点 数		17／18点			

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	拡大
総合評価	火災等災害時及び平常時において、消防団員が減少するなか、各分団とも適正な活動を行った。今後、いつ起こるともわからない火災、土砂災害、地震災害等に備え、更なる、消防団員の加入促進、処遇改善、装備の充実が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

消防施設維持管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	4 防災・消防体制の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の消防防災体制の充実を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	消防施設や資機材の維持管理費を支出する。 (消防ホース、消耗品、詰所電気料、詰所・防火水槽修繕料、詰所浄化槽管理費、詰所地代、工事費、消火栓維持管理費負担金)					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		2,802	3,387	2,150
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	2,802	3,387	2,150

【 事業実績 】

実施内容	・ 消耗品 71,116円 (新水利台帳用ファイル等) ・ 詰所電気料 304,548円 ・ 施設設備等修繕料 101,142円 (13区マンホール蓋、1分団詰所窓ガラス、2分団詰所給水設備) ・ 浄化槽管理検査委託料 17,496円 (1、5分団詰所) ・ 消防用設備点検委託料 12,960円 (3分団詰所) ・ 器具置場用地賃借料 24,930円 (5分団) ・ 水道会計への消火栓維持管理負担金 1,618,000円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	自主防災組織の設置率									
	最終目標値	100							単位	%	
	実績値			平成23年度	47.4	平成24年度	47.4	平成25年度	88	平成26年度	100
	達成度	%		47	%	47	%	88	%	100	%
2	指標	消防団員数									
	最終目標値	162							単位	人	
	実績値			平成23年度	138	平成24年度	138	平成25年度	111	平成26年度	120
	達成度	%		85	%	85	%	69	%	74	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	経済的・効率的に妥当であった。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	1 点：概ね適切	5／6点	全事業が年度内に終了でき、事業展開としては妥当であった。ただし条例改正により団員数の定員を192人から144人へ変更したため、計画側の目標指標の見直しが必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	消防体制の充実、維持のためには現状維持で実施していく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	現状維持
総合評価	消防器具置場、消火栓、防火水槽等消防施設の維持管理を適正に執行した。今後も、安全・迅速な消防活動を継続していく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

消防施設整備事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	4 防災・消防体制の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の消防防災体制の充実を図るため。					
誰・何を (対象)	住民 9,021人 (H24. 10. 1)					
どんなことを ・どのように (内容)	消火栓の増設分や維持管理のための負担金を支出するとともに、消火栓設備を整備する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,321	6,162	6,480
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他	440	3,833	2,344
	一 般 財 源	881	2,329	4,135

【 事業実績 】

実施内容	・ 耐震性貯水槽新設工事 4,212,000円 (12区、移設による) ・ 消火栓ボックス等購入費 540,000円 (区からの申請7件) ・ 水道会計への消火栓設置負担金 1,728,000円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	自主防災組織設置率										
	最終目標値	100								単位	%	
	実績値			平成23年度	47.4	平成24年度	47.4	平成25年度	88	平成26年度	100	
	達成度	%		47	%	47	%	88	%	100	%	
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	消火栓ボックス等の購入費は受益者負担を徴収し、経費の削減を図っており、適正である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	消防施設整備の充実は火災時はもちろんのこと、住民の防災意識の高揚、また、安心・安全な生活に寄与している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	状況の変化に対応し、火災に対して迅速な消火活動が出来るようこれからも整備していく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	現状維持
総合評価	耐震性貯水槽、消火栓施設等整備について、道路改良に伴う場合等必要に応じ適正に執行した。今後も、消防施設の整備及びその整備による地域の消防意識の向上は必要不可欠であるため、必要に応じた整備が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

交通安全対策事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策		①健全な行政経営の推進				
何のために (目的・課題)	交通事故の防止を図り、町民の交通安全意識の高揚を図るため。					
誰・何を (対象)	住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	交通安全啓発活動を行う「交通安全母の会」、「交通安全対策協議会」等への支援を行う他、一般交通安全対策を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		597	876	560
財源内訳	国県支出金		309	
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			98
	一 般 財 源	597	567	462

【 事業実績 】

実施内容	・ 交通災害共済加入推進費 50,000円 ・ 交通安全運動看板代等 48,632円 (春、秋) ・ 食糧費 19,500円 (交通安全パトロールに伴う) ・ 交通安全母の会補助金 315,000円 ・ 町交通安全対策協議会補助金 90,000円 ・ 秩父地方交通安全協会補助金 37,500円
------	---

【 目標指標 】

1	指標	町内の年間交通事故発生件数（人身事故）										
	最終目標値	35								単位	件	
	実績値			平成23年度	36	平成24年度	43	平成25年度	41	平成26年度	27	
	達成度	%		103	%	123	%	86	%	130	%	
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	啓発品は、低価格で利用頻度が高いと思われる物を購入。配付場所、配付方法など効率的な方法で実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	総合振興計画に基づき交通安全関係団体が中心となって、各季の交通安全運動に合わせてキャンペーン、啓発活動を実施している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	交通事故を防ぐため、地域の交通安全意識の高揚を図るため、今後も積極的な啓発活動が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	現状維持
総合評価	交通安全啓発事業、交通安全団体助成等適正に執行した。今後も交通事故死亡0を目指し、啓発等推進していく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

道路反射鏡設置管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策	①健全な行政経営の推進					
何のために (目的・課題)	交通環境の整備を行い、交通事故を防ぐため。					
誰・何を (対象)	各区					
どんなことを ・どのように (内容)	町内の狭路、カーブ等の危険箇所カーブミラーを設置する。(新規設置については、主として区長の要望書に基づき行う)。既設置のカーブミラーについては、修繕等の維持管理を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		490	616	611
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	490	616	611

【 事業実績 】

実施内容	・道路反射鏡新設等工事 385,000円 (新設3件、鏡面追加1件、移設1件) ・道路反射鏡修繕料 212,000円 (鏡面交換2件、支柱補強1件、支柱交換1件、注意看板取付1件)
------	--

【 目標指標 】

指標		町内の年間交通事故発生件数（人身事故）									
1	最終目標値	35								単位	件
	実績値			平成23年度	36	平成24年度	43	平成25年度	41	平成26年度	27
	達成度	%		103	%	123	%	86	%	130	%
	達成度	%		103	%	123	%	86	%	130	%
2	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	道路反射鏡設置工事は単価契約を締結し、必要最小限の経費で実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	住民や区長等からの要望や、道路改良の際に現地調査を実施し、効果の見込める箇所に設置している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	道路反射鏡の設置設置は、交通事故の危険性を減らし、事故防止の意識高揚にも寄与することからこれからも必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	現状維持
総合評価	道路反射鏡修繕・新設とも各区長の協力を得ながら、現地確認のうえ適正に執行した。今後も、交通事故防止に向け、必要に応じた修繕・新設が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

交通指導員設置事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策		①健全な行政経営の推進				
何のために (目的・課題)	町における道路交通の安全を保持し、交通事故を防止するため。					
誰・何を (対象)	交通指導員 10人					
どんなことを ・どのように (内容)	交通指導員の活動に必要な経費を支出する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,394	1,361	1,351
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	1,394	1,361	1,351

【 事業実績 】

実施内容	・ 交通指導員報酬 1,248,000円 (月10,400円×10名×12ヶ月) ・ 行事出勤に伴う実費弁償 52,000円 (横小交通安全教室、音楽祭、敬老会、横小運動会、駅伝競走大会) ・ 傷害保険料 36,700円 ・ 県交通指導員連合会負担金 15,000円
------	---

【 目標指標 】

1	指標	町内の年間交通事故発生件数（人身事故）										
	最終目標値	35								単位	件	
	実績値			平成23年度	36	平成24年度	43	平成25年度	41	平成26年度	27	
	達成度	%		103	%	123	%	86	%	130	%	
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	交通指導員の報酬、費用弁償等は必要最小限の費用で実施しており、費用に対する効果も大きい。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	交通指導員の存在は立哨活動の際の直接的効果はもとより、視覚的な効果も高く、存在意義は大きい。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	交通指導員は、毎週金曜日の立哨活動、各期キャンペーンの街頭指導、各行事への出勤等多岐にわたっており、町の交通安全にとって非常に重要であり、今後もなくってはならない存在である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針		現状維持
総合評価	交通指導員は交通指導隊を組織し隊長指揮の下、交通弱者を事故から守るため等、街頭監視を定期的に行うなど適正な活動を行った。今後も、全ての交通安全活動を実施するうえで交通指導員は必要不可欠です。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

チャイルドシート購入費補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策	①子育て支援の推進					
何のために (目的・課題)	子どもの交通安全に効果のあるチャイルドシートの普及促進を図るため。					
誰・何を (対象)	町内在住の子を持つ親					
どんなことを ・どのように (内容)	町内に住所を有し、チャイルドシートを購入した者に購入価格の2分の1（1万円を限度）を助成する。（乳幼児1人につき1台を限度）					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		163	217	244
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	163	217	244

【 事業実績 】

実施内容	・ 26年度申請件数 29件 ・ 補助総額 244,000円 ・ 上限額（10,000円）補助人数 29件中16件 ・ 最低補助金額 2,700円
------	---

【 目標指標 】

指標		町内の年間交通事故発生件数（人身事故）									
1	最終目標値	35								単位	件
	実績値			平成23年度	36	平成24年度	43	平成25年度	41	平成26年度	27
	達成度	%		103	%	123	%	86	%	130	%
	達成度	%		103	%	123	%	86	%	130	%
2	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	チャイルドシート購入費補助金を実施している自治体は少ないが、補助額・方法ともに適切と思われる。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	チャイルドシート購入の経済的負担を軽減し、少子化対策及び、子育て支援に役立っている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	4／6点	利用者にとっては魅力のある事業であり、交通安全、子育て支援に寄与していると思うが、チャイルドシート着用の周知・普及という面では既に達成されていると思われる。また、それを理由に補助金を廃止している自治体も多い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1 点：概ね適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	現状維持
総合評価	補助金交付要綱に基づき適正に執行した。今後も、道路交通法の遵守及び子どもの生命を守ることによる少子化対策の一助として、事業の継続が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

安心安全まちづくり事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策	①健全な行政経営の推進					
何のために (目的・課題)	犯罪が発生しにくい環境を整備し、地域の防犯意識を高めるため。					
誰・何を (対象)	全住民9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	秩父防犯協会等の活動に対する負担金を支出するとともに、町内自主防犯グループへの支援等により、防犯活動を実施する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	407	407	429
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	407	407

【 事業実績 】

実施内容	・秩父地区防犯協会負担金 291,000円 ・秩父地域暴力排除推進協議会負担金 89,000円 ・生活衛生同業組合防犯協会運動費補助金 20,000円 ・消耗品費 29,001円 (振り込め詐欺防止啓発品、防犯マグネットシート)
------	---

【 目標指標 】

1	指標	町内の年間犯罪発生件数										
	最終目標値	40								単位	件	
	実績値			平成23年度	58	平成24年度	42	平成25年度	23	平成26年度	23	
	達成度	%		145	%	105	%	100	%	174	%	
2	指標	防犯灯の設置基数										
	最終目標値	830								単位	基	
	実績値			平成23年度	813	平成24年度	821	平成25年度	832	平成26年度	837	
	達成度	%		98	%	99	%	100	%	101	%	
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	各団体負担金額は人口割、均等割により算出しており、適切である。また、警察や防犯協会等と緊密な連携を図っている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	犯罪の発生を未然に防ぎ、住民の防犯意識の高揚を図るためには各種団体との連携・情報共有は必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	住民や地域の防犯意識の高揚のため今後も積極的に事業を行い、犯罪を減らす必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	現状維持
総合評価	犯罪の無い安全安心なまちづくりのため、防犯組織との共同による啓発事業を適正に執行した。今後も、防犯の一翼を担う防犯組織への助成を継続し、啓発等を推進する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

防犯灯設置管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	5 防犯・交通安全の推進					
その他の関連する施策	①健全な行政経営の推進					
何のために (目的・課題)	夜間における犯罪が発生しにくい環境を整備するため。					
誰・何を (対象)	各区					
どんなことを ・どのように (内容)	夜間の犯罪・事故を防止するため、危険箇所への防犯灯の設置や既設置の維持管理（電球交換）を行う。また、各区が自ら設置する防犯灯に対し、区に設置費用の一部を補助する。 新たに設置する防犯灯、照明器具交換の際にはLED照明器具を設置する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		4,946	4,813	3,028
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	4,946	4,813	3,028

【 事業実績 】

実施内容	・電気料 2,779,296円 ・修繕料 118,908円（器具交換5件、カバー交換2件、水銀灯交換2件） ・新設 115,776円（電柱共架4件） ・区防犯灯新設補助金 14,400円（第5区、1件）
------	--

【 目標指標 】

1	指標	防犯灯の設置基数									
	最終目標値	830							単位	基	
	実績値			平成23年度	813	平成24年度	821	平成25年度	832	平成26年度	837
	達成度	%		98	%	99	%	100	%	101	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6／6点	LED化を推進し、防犯灯の維持管理経費の削減を図っている。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6／6点	防犯灯は視認性を高め犯罪を防ぐのみでなく、住民の安心、防犯意識の高揚につながっている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6／6点	住民からの要望に対して迅速に設置・修繕を行っている。これからも犯罪や事故の予防のためより一層の充実が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	現状維持
総合評価	各区長の協力を得て、防犯灯の維持管理、必要に応じた新設等を適正に執行した。今後も、安全安心なまちづくりのため、経費節減・環境に配慮した事業継続が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

新婚世帯家賃補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策		①健全な行政経営の推進				
何のために (目的・課題)	若年層の居住促進と少子化の緩和を図るため。					
誰・何を (対象)	町内に住む40歳未満で婚姻2年未満等の新婚夫婦。					
どんなことを ・どのように (内容)	婚姻の届出後2年未満で、かつ年度の末日において夫婦いずれもが40歳未満であり、滞納等のない世帯に対し、実質家賃額の2分の1の額を補助する。(1万円を限度)補助期間は12ヶ月間とし、上半期は9月、下半期は3月にまとめて支給。年度をまたぐ場合は、4月に再申請する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,630	1,950	1,860
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	1,630	1,950	1,860

【 事業実績 】

実施内容	負担金、補助及び交付金1,860,000円
------	-----------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395
	達成度	%		77	%	77	%	88	%	78	%
2	指標	子ども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	88	%	86	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	1 月の上限額10, 000円で12月120, 000円の補助となるため、民間賃貸住宅が増加する中で若年層の居住促進の一端は担っていると思われる。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	住民票手続時に申請漏れ（申請条件が転入・転居3ヶ月以内）が起きないように、いきいき町民課との連携を取り、説明の徹底が図れた。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	3／6点	若年層の定住促進をさらに進めるには、補助期間延長や補助金額の増額、他の補助事業（ことも医療、福祉等）などとの連携も必要と思われる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1 点：概ね適切		
総 合 点 数		14／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	現状維持
総合評価	補助金交付要綱に基づき適正に執行した。今後も、人口減少・少子化対策等に資するため必要な事業と考えるが、定住につながる事業転換も必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

人権行政推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	総務課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	1 人権の尊重・平和意識の啓発					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	人権が尊重され、誰もが差別のない明るい生活を営める社会を実現するため。					
誰・何を (対象)	住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	人権教育・啓発のために関係機関と連携し、啓発物の配布や、あらゆる機会をとらえて研修会・講演会を開催するなど人権尊重意識の高揚を図る。 (人権問題研修会、人権の花運動、男女共同参画講演会等)					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		597	530	575
財源内訳	国県支出金	16	12	16
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	581	518	559

【 事業実績 】

実施内容	人権が尊重され差別のない明るい社会の実現のため、事業をおこなった。 人権問題研修会2/25（水）開催40,000円。運動団体主催等研修会参加旅費85,910円、負担金等110,000円、資料代等136,372円。啓発用品DVD67,500円。人権意識調査実施10/15～11/7 回答率59/100 19,146円。人権の花運動10/31横瀬小4年生68名ﾎﾞﾗﾝﾁ苗植付17,000円。郡市同和対策推進協議会負担金30,000円、人権教育推30,000円ほか
------	---

【 目標指標 】

1	指標	人権教育研修会・講演会の参加者数									
	最終目標値	860							単位	人	
	実績値			平成23年度	554	平成24年度	497	平成25年度	453	平成26年度	687
	達成度	%		64	%	58	%	53	%	80	%
2	指標	審議会等の女性委員割合									
	最終目標値	20							単位	%	
	実績値			平成23年度	16.5	平成24年度	15.9	平成25年度	16	平成26年度	16.4
	達成度	%		83	%	80	%	80	%	82	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	各種団体の研修会負担金は多額であるが、人材の育成は重要である。人権意識の高揚を図る上で事業は必要。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	総合計画に基づき長期的、継続的に事業を進める必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	4／6点	町民の人権に関する意識調査結果を参考に更に地域の実情にあった事業に取り組む必要がある
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1 点：概ね適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 柳 健一

今後の方針	現状維持
総合評価	関係機関と連携をして、研修会の開催など人権啓発を適正に執行した。今後も、心理的差別や新たな差別を解消するため、事業を継続していくことが必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

鉄道事業者への要望活動事務		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	2 道路・交通網の整備					
その他の関連する施策		①高齢者福祉の充実 ②町民交流の推進				
何のために (目的・課題)	快適な通勤・通学環境の創出や鉄道のバリアフリー化を促進し、生活の豊かさを実感できる地域社会を実現するため、鉄道事業者に対して要望活動を行う。					
誰・何を (対象)	鉄道事業者					
どんなことを ・どのように (内容)	鉄道利用者の利便性を向上する事項などを鉄道事業者に要望する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費			
財源内訳			
国県支出金			
地 方 債			
受益者負担			
そ の 他			
一 般 財 源			

【 事業実績 】

実施内容	鉄道事業者に対し、埼玉県を通じて要望した。 西武鉄道に対し 10 要望 秩父鉄道に対し 3 要望
------	--

【 目標指標 】

1	指標	鉄道事業者への要望件数									
	最終目標値	20							単位	件	
	実績値			平成23年度	23	平成24年度	32	平成25年度	33	平成26年度	46
	達成度	%		115	%	160	%	165	%	230	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	現在は、埼玉県を経由する要望のみであるが、今後は、要望の内容によっては、直接鉄道事業者に対し要望することも必要である。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	4／6点	輸送需要等との関係で、要望事項の実現化が難しい。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	鉄道は、町の最も重要な公共交通であるため、町民の利便性の向上のために、引き続き要望活動は必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		15／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	今後も西武秩父線の存続・維持を求める。また、町民（鉄道利用者）の利便性の向上を図るため、各鉄道会社に対する要望事項の洗い出しや積極的な要望活動を進める必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

ホームページ運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	老若男女を問わず、あらゆる人々が必要な情報を享受できる環境を充実し、情報の共有を進め、開かれた行政運営と町民参画を推進させることにより、町民の利便性向上に資する。また、町外への情報発信の有効手段として活用し、町のPRを行う。					
誰・何を (対象)	利用者					
どんなことを ・どのように (内容)	適切かつ積極的な行政情報を提供するため、Adobe Contribute(CMS：コンテンツマネジメントシステム)により各課所において更新・設定等を行い、適時の情報提供を図る。また、バナー広告を利用して財源を確保する。サーバは仮想専用サーバで容量20GB。					

【 事業費等 】

(単位:千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	171	177	155
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他	171	16
	一般財源		161

【 事業実績 】

実施内容	Adobe Contributeによる各課ホームページ更新作業(トピックス、くらしのガイド、組織別一覧等) ホームページサーバ使用料 月額12,960円×12カ月=155,520円(税込み) 広告掲載料収入16,000円
------	---

【 目標指標 】

1	指標	町ホームページの年間アクセス数							
	最終目標値	61,200						単位	件
	実績値			平成23年度	89,999	平成24年度	73,503	平成25年度	92,981
	達成度	%		147	%	120	%	152	%
2	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%
3	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%
4	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%
5	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	事業費はホームページを維持・運営するための必要最小限の経費である。 インターネットを取り巻く環境は急速に進んでおり、最新の情報を迅速に提供できる即時性や利便性は広報事業の手段として有効である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	町の情報提供の媒体として、よりタイムリーな情報を継続的に提供する必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	利用者に正確で最新の情報を提供することは重要であり、IT社会の進展上必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	一部改善
総合評価	ホームページは、町の情報提供の媒体として重要である。よりタイムリーな情報を提供するためにも、随時内容の更新に心がけることが重要である。また、ホームページの見直しを行い、必要に応じて更新を考える。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

メール配信サービス事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	防災行政無線を補完するため「防災情報メール」を登録者に配信し、安心・安全なまちづくりを推進する。 ブコーさんサポーターズクラブの会員（アドレス登録者）及びきずなねっとの会員に配信し、町民参画を促し、協働のまちづくりを推進する。					
誰・何を (対象)	登録者（H25.4.1）					
どんなことを ・どのように (内容)	防災情報メールサービスでは、防災行政無線で放送される内容（訃報等除く）を、ブコーさんサポーターズクラブでは、ブコーさんが参加するイベントや活動内容等を、きずなねっとではイベントや募集等の情報を提供する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費			
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源		

【 事業実績 】

実施内容	ブコーさんサポーターズクラブ会員にイベント情報や活動内容を配信、きずなネットではイベント情報や募集等を提供した。 ・ブコーさんサポーターズメール 登録件数 245件、送信回数 6回 ・きずなネット 登録件数 83件、送信回数 10回
------	--

【 目標指標 】

1	指標	町ホームページの年間アクセス数									
	最終目標値	61,200							単位	件	
	実績値			平成23年度	89,999	平成24年度	89,999	平成25年度		平成26年度	90,717
	達成度	%		147	%	147	%	0	%	148	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	電子メール、携帯メール機能を活用し、利用者に無料で情報配信することで、事務の簡素化を図り、経済的かつ効率的である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	メール配信によりタイムリーな情報提供を迅速かつ確実に行うため、効果的である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	利用者にリアルタイムで情報配信ができるため、必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	一部改善
総合評価	利用者に情報発信を行うことにより、タイムリーな情報を効率的に提供できる。今後は、SNS等の活用も検討する。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

集団広聴事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町民の豊富な経験と知恵を活かした建設的な意見、提案等を町長が直接町民と対話し、町民の意見を町政に反映させ、町民参加の拡大を図りながら、住みよいまちを創造していく。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	町政懇談会「町民と語る会」を2会場で実施する。また、小学6年生（各クラス4名）が参加する子ども懇談会及びその他各年代層の町民との懇談会を実施する。これらの機会を通して、よりよいまちづくりを進めるための意見や提案を聴く。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		9	20	23
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	9	20	23

【 事業実績 】

実施内容	各年代層の町民と懇談会を通して、よりよいまちづくりを進めるための意見や提案を聞いた。 ・子ども懇談会8/5旧芦ヶ久保小学校・参加者12人 謝礼6,000円 食糧費2,200円 ・町民と語る会 10/14活性化センター、10/16町民会館 参加者25人 ・各種団体（横中学校吹奏楽部3/30役場 26人、赤十字奉仕団12/19福祉センター 52人）食糧費15,700円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	公聴会の参加者数									
	最終目標値	170							単位	人	
	実績値			平成23年度	103	平成24年度	92	平成25年度	128	平成26年度	115
	達成度	%		61	%	54	%	75	%	68	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1 点：概ね適切	5／6点	町民から意見を聴取する事業の性格上、負担や有料化はなじまず、最小の経費で双行性の対話が実施できた。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	町民の意見や要望を広く聴取してニーズを把握し、事業や施策に生かしていく必要があるため妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	施策や事業の改善を図るために必要な事業で、町民に開かれた町政を運営するために必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	町民から広く意見を聴取することは必要である。施策や事業に対する住民の意見や住民の意向により、施策や事業の改善を図るとともに、新たな事業展開を模索することができる。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

個別広聴事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	開かれた町政の実現のため、多様な住民ニーズをきめ細かく収集し町政運営に活かしていく。					
誰・何を (対象)	全住民9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	町長へのFAX、Eメール、手紙、意見箱、陳情・要望・要請により、住民ニーズ等を把握するとともに、貴重な意見・要望・提案等を町政に反映させる。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費				
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源			

【 事業実績 】

実施内容	町長へのFAX2件、手紙2件、町長へのE-mail37件、意見箱1件の意見や要望を受理し、必要なものは回答した。 要望書5件、要請書5件、陳情書1件を受理した。 要請書2件、陳情書2件 (H25年度受理含む) 回答した。
------	--

【 目標指標 】

1	指標	公聴会の参加者数									
	最終目標値	170							単位	人	
	実績値			平成23年度	103	平成24年度	92	平成25年度	44	平成26年度	115
	達成度	%		61	%	54	%	26	%	68	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	行政への住民参加の手法の一つでもあり、住民ニーズを踏まえた、公正で実効性のある政策の展開を目指すため効果的である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	行政が情報公開や説明責任に努め、行政への住民参加を促進し、住民と行政がともに考え、ともに役割を担う「協働」によるまちづくりを進めるため妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	施策や事業の改善等を図るために必要な事業で、町民に開かれた町政を運営するために廃止は考えがたい。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	町長の考えが繁栄する町政についての「目安箱」的な存在であるので、良きにつけ悪しきにつけ町民の生の声が届くので継続が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

パブリックコメント手続事務		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町政への参画機会を提供することにより、行政運営の透明化と町民等への説明責任を果たし、公正で開かれた町政の推進を図る。					
誰・何を (対象)	計画等（対象事案）					
どんなことを ・どのように (内容)	町の基本的な計画を策定するにあたり、その趣旨、目的、内容等を素案の段階で公表し、公表した案に対する町民等からの意見を募集し、提出された意見等に対する町の考え方等を公表する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費			
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源		

【 事業実績 】

実施内容	対象となる計画7件を窓口配布、広報紙及びホームページに掲載し、パブリックコメントの結果（意見15件）についても公表した。
------	--

【 目標指標 】

1	指標	公聴会の参加者数									
	最終目標値	170							単位	人	
	実績値			平成23年度	103	平成24年度	92	平成25年度	128	平成26年度	115
	達成度	%		61	%	54	%	75	%	68	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	行政への住民参加の手法の一つでもあり、住民ニーズを踏まえ、公正で実効性のある政策の展開を目指すため効果的である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	行政が情報公開や説明責任に努め、行政への住民参加を促進し、住民と行政がともに考え、ともに役割を担う「協働」によるまちづくりを進めるため妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	近年の社会経済情勢の変化による住民ニーズの高度化、多様化に対応し、行政への住民参加機会の拡充を図るため必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	町の重要な計画や施策に対し、住民の行政への参加機会を確保するため必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

地域パワーアップ助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策		①町民参画の推進 ②健全な行政経営の推進				
何のために (目的・課題)	地域における積極的なコミュニティ活動を支援するため。					
誰・何を (対象)	地域づくり団体 200団体					
どんなことを ・どのように (内容)	①新規に組織された団体の地域づくり活動 ②既存団体の地域の特色を活かした新規の地域づくり活動 ③既存団体の既存活動をグレードアップする地域づくり活動に対して、50万円を限度に助成する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,604	1,533	787
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,604	1,533	787

【 事業実績 】

実施内容	・ 川西コミュニティクラブ 大堀川植栽活動 (4/19、5/17 60名参加) ・ 第5区 寺坂モデルルート除草活動 (4/22、5/18 50名参加) ・ 芝生化推進会議 ワールドカップパブリックビューイング (6/15 500名参加) ・ 第6区 安全を守ろう活動 (平成26年5月～平成27年3月) パトロール、通学路安全確保実施
------	--

【 目標指標 】

1	指標	きずなねっと登録団体数									
	最終目標値	78								単位	団体
	実績値			平成23年度	49	平成24年度	49	平成25年度	51	平成26年度	53
	達成度	%		63	%	63	%	65	%	68	%
2	指標	コミュニティ活動者の割合									
	最終目標値	75								単位	%
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	52.8	平成26年度	
	達成度	%		0	%	0	%	70	%	0	%
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	申請及び実績報告時に入念な審査をしており、経済的・効率的に妥当であった。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	全対象事業が年度内に終了でき、事業展開としては妥当であった。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	5／6点	4事業を実施し、住民ニーズに概ね応えられた。今後も、新たに地域づくり活動をする団体にとって補助制度は不可欠な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	町民による地域づくりが定着してきている。今後も町民のニーズに応えられるよう、新たな地域づくり活動を行う団体への補助制度は必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

コミュニティ助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策	①町民参画の推進 ②居住環境の整備					
何のために (目的・課題)	コミュニティの健全な発展のため。					
誰・何を (対象)	コミュニティ団体 200団体					
どんなことを ・どのように (内容)	(財)自治総合センターによる助成制度。 ①助成事業及び助成額 1)一般コミュニティ助成 2)緑化推進コミュニティ助成 3)自主防災組織育成助成 4)コミュニティセンター助成 5)青少年健全育成助成 ②事業実施主体 1)町 2)コミュニティ団体 等					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	3,600	5,000	2,500
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他	3,600	5,000
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	町のコミュニティ団体が行う活動に対し、補助金を交付した。 ○横瀬町第15区会（一般コミュニティ助成事業）【交付額】：2,500,000円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	きずなねっと登録団体数									
	最終目標値	78						単位	団体		
	実績値			平成23年度	49	平成24年度	49	平成25年度	51	平成26年度	53
	達成度	%		63	%	63	%	65	%	68	%
2	指標	コミュニティ活動者の割合									
	最終目標値	75						単位	%		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	52.8	平成26年度	
	達成度	%		0	%	0	%	70	%	0	%
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	財源は、宝くじ助成を活用し100%補助を受けているので、町の費用は最小限である。今後、メニューによっては様々な事業に該当するため、検討する必要がある。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	要望に基づいて、事業展開を実施しているが、今後、計画的に実施することも検討する必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	当助成事業によって、自主的・積極的なコミュニティ活動の展開ができるとともに、コミュニティ意識がより一層高揚されることから、必要性は非常に高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	各団体により、様々な内容の事業をエントリーすることができる。財源確保の確実性も高いことからコミュニティ団体への周知を徹底し、事業展開を効果的に行えるよう推進する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

きずなねっと制度活用事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	地域づくり活動を促進し、町民相互の絆を深め、町民と町の協働によるまちづくりを推進するため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	きずなねっと登録制度に基づき、町民への地域づくり活動の情報提供や活動団体への加入促進、団体間等の情報交換等を行うとともに、電子メールにて月2回程度、登録団体に対し、地域づくり活動等の情報を配信する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費			
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源		

【 事業実績 】

実施内容	登録団体（53団体）に対し、合計10回のメール配信を実施した。 【配信内容】 情報提供・募集等：まちかどコンサート、ホテルかがり火まつり、プール利用カード、ヨコゼ音楽祭等
------	---

【 目標指標 】

1	指標	きずなねっと登録団体数							
	最終目標値	78						単位	団体
	実績値			平成23年度	49	平成24年度	49	平成25年度	51
	達成度	%		63	%	63	%	65	%
2	指標	コミュニティ活動者の割合							
	最終目標値	75						単位	%
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	52.8
	達成度	%		0	%	0	%	70	%
3	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%
4	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%
5	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	情報提供はE-mailにて一斉送信しており、経済的かつ効率的である。情報収集にあたっては、グループウェアを活用し、積極的に収集している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1 点：概ね適切	4／6点	H26年度のメール配信は10件となり、情報を提供することができた。今後は、活動団体相互の情報交換等についても進める必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	町民との協働によるまちづくりのためには、必要不可欠な事業であるが、より町民のニーズを反映するためにも登録団体数を増加させる必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		15／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	一部改善
総合評価	この制度は、町内で個別に活動している団体を登録して、互いの情報を提供し合い、共有し各活動等に対して共助するためのものであるが、現状では一方的に情報を発信しているだけである。そのため、これからは、協働によるまちづくりのため、各団体どうしのネットワークづくりを考える必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

コミュニティ広場維持管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	2 町民交流の推進					
その他の関連する施策	①青少年の健全育成 ②防災・消防体制の充実					
何のために (目的・課題)	コミュニティ広場を安心して安全に使用してもらうため。					
誰・何を (対象)	町が管理するコミュニティ広場 7ヶ所					
どんなことを ・どのように (内容)	町内7ヶ所あるコミュニティ広場（1区・3区・苅米・上宇根・12区・川西・赤谷）の遊具をはじめとする施設・設備の点検・修繕や土地賃借料の支払いなど、維持管理を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		5,685	5,855	5,643
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	5,685	5,855	5,643

【 事業実績 】

実施内容	土地賃借料支払：年2回 合計11,215.7㎡ 5,400,331円を支出 修繕等：川西・苅米防犯灯修繕、3区コミュニティ広場支障木伐採等 電気料・水道料等支払
------	---

【 目標指標 】

1	指標	きずなねつと登録団体数							
	最終目標値	78						単位	団体
	実績値			平成23年度	49	平成24年度	49	平成25年度	51
	達成度	%		63	%	63	%	65	%
2	指標	コミュニティ活動者の割合							
	最終目標値	75						単位	%
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	52.8
	達成度	%		0	%	0	%	70	%
3	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%		%		%		%	%
4	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%		%		%		%	%
5	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%		%		%		%	%

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6／6点	賃借料は、町賃借料算定方法に基づいて適切に執行している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6／6点	月に1度コミュニティ広場の点検を実施し、修繕が必要な箇所については修繕を実施した。今後も定期的に点検等を実施し、安心・安全な施設の維持管理をしていく必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6／6点	コミュニティ広場は、町民の交流の場であり、子供達の遊び場として、また、震災時の町の指定避難場所とされているため、その必要性は非常に高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	子どもから高齢者まで集い・交流する場として、地域にとって重要な施設である。今後も、安心・安全な施設として、点検・修繕等を積極的に行い、施設の維持管理に努める必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

財政計画策定事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	1 健全な行政経営の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の計画的な財政運営のため。					
誰・何を (対象)	財政事務全般					
どんなことを ・どのように (内容)	町の財政状況を、過去の決算額などから分析し、将来の歳入歳出の状況などを推計する。将来にかかる建設事業費などを予算（見込み）に反映させ、どの年度にどれくらいの経費が必要かといったことを計算することで、必要な財源を計画的に備える準備をすることができる。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費				
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源			

【 事業実績 】

実施内容	町の計画的な財政運営のため、過去の決算額などから町の財政状況を分析し、将来の歳入・歳出額を推計することで、必要な財源を計画的に備える準備をする。
------	--

【 目標指標 】

指標		財政指標（経常収支比率）										
1	最終目標値	86.1								単位	%	
	実績値			平成23年度	84.9	平成24年度	87.7	平成25年度	87.1	平成26年度	87.5	
	達成度	%		99	%	102	%	99	%	98	%	
	指標											
2	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
3	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
4	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
5	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	類似したデータを作成する作業を基として実施でき、効率的であった。 また、町ホームページで公表しているため、印刷製本費等の予算を必要とせず、経済的である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	町の基本目標達成のため、職員のみならず、町に携わるすべての人の協力を得るためにも必要性があるので妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	4／6点	少子高齢化、地方創生など緊急に取り組まなければならない課題に対し、住民ニーズや長期的経費など幅広い視点で的確に判断していくために必要不可欠な事務である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	現時点だけの視点では借入金や、長期的な経費などを将来世代に過度に負担してしまう恐れがあるため、財政健全化の判断材料としての実質公債比率、将来負担比率のバランスを考え計画的な財政運営を行うことは、必要不可欠である。 今後も「事業の選択と集中」等を町全体として取り組み、「行政評価」の結果を反映させていく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

行政評価推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	1 健全な行政経営の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	効率的で質の高い行政運営を実現し、住民への十分な説明責任を果たす。					
誰・何を (対象)	平成24年度実施事務事業（111事業）					
どんなことを ・どのように (内容)	町が実施する事務事業を「横瀬町行政評価マニュアル」に基づき、客観的な指標等を用いて適切に評価する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費			
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源		

【 事業実績 】

実施内容	平成26年度実施事業のうち110事業について行政評価を実施した。 総合評価：105事業 拡大7事業、縮小2事業、廃止1事業、一部改善16事業、現状維持79事業 最終評価：5事業 拡大2事業、一部改善1事業、現状維持2事業
------	--

【 目標指標 】

1	指標	前期基本計画各施策目標値の達成									
	最終目標値	50							単位	指標	
	実績値			平成23年度	22	平成24年度	30	平成25年度	36	平成26年度	
	達成度	%		44	%	60	%	72	%	0	%
2	指標	財政指標（経常収支比率）									
	最終目標値	86.1							単位	%	
	実績値			平成23年度	84.9	平成24年度	87.7	平成25年度	87.1	平成26年度	87.5
	達成度	%		99	%	102	%	99	%	98	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	類似したデータを入力する作業と共同で実施でき、効率的であった。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	H26年度は110事業を評価対象事業とし、事業の見直しをすることができたが、今後も評価が可能な事業について検討をする必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	全ての実施計画事業を評価することは、健全な行財政運営につながることから、本事業の実施は必要不可欠である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	B/C(費用対効果)も必要な条件ではあるが、総合的に評価できることが重要である。そのためには、この評価を基準として事業の「あり方」を考える指針に位置付ける。実施する事務事業をマネジメントしていくためには、必要不可欠である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

ちちぶ定住自立圏形成協定事務		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	まち経営課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	2 広域連携の強化					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	1市4町（横瀬町、秩父市、皆野町、長瀬町、小鹿野町）で構成する「ちちぶ定住自立圏」域内の人々の生活機能を圏域全体として確保するとともに、圏域外の人を定住させるため、行政サービスを広域的に充実させる。					
誰・何を (対象)	ちちぶ定住自立圏を構成する1市4町					
どんなことを ・どのように (内容)	ちちぶ定住自立圏域内の生活機能、結びつきやネットワーク及び圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野の中から、それらを実現するための取組項目について協定を締結する。また、各種協定項目事業の経費の負担金を支払う。（医療分、専門家分は除く。）					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		13,916	13,256	14,271
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	13,916	13,256	14,271

【 事業実績 】

実施内容	協定項目事項事務負担金（医療分、専門家分除く）の支払い（包括支援分：14,271,000円） 実施事項 ①推進委員会：4回 ②幹事会：4回 ③現状報告会：1回 ④まちづくり塾：3回
------	--

【 目標指標 】

指標		ちちぶ定住自立圏形成協定項目数									
1	最終目標値	18								単位	項目
	実績値			平成23年度	19	平成24年度	19	平成25年度	19	平成26年度	19
	達成度	%		106	%	106	%	106	%	106	%
	達成度	%		106	%	106	%	106	%	106	%
2	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	中心市である秩父市を中心に、特定財源の確保、推進委員会、幹事会、ワーキンググループなど1市4町での組織化など円滑な運営をしている。なお、特別交付税措置額に応じた額を負担している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	H26年度は新規協定項目はなかったが、共生ビジョンの改訂版策定、公共施設の共有・水道広域化・子育て支援等について検討を実施した。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	広域的な行政サービスの提供・向上のために必要不可欠な事務である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大野 雅弘

今後の方針	現状維持
総合評価	広域的な行政課題を解決するため、秩父地域1市4町が連携し、今後も引き続き、定住自立圏形成に向けた取組を進める必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

収税事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○	○	改善	税務課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	1 健全な行政経営の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町税の適正な収納処理、自主財源確保のため効率的な滞納整理の実施。					
誰・何を (対象)	納税義務者（現年課税分） 11,648人					
どんなことを ・どのように (内容)	納税者が金融機関窓口での納付及び口座振替により納付された町税の収税処理。滞納処分のため督促状の発布及び集合催告書を発布。口座振替のための口座管理及び収税消込の電算処理委託。過誤納となった町税の還付。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		3,162	5,172	4,236
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	3,162	5,172	4,236

【 事業実績 】

実施内容	督促状発送（住839通・固1,531通・軽自545通）、催告書発送（集合（年3回）1,464通・県共同155通・現年188通）、口座振替件数（9,895件）、休日徴収実施（82人・102千円）、夜間徴収実施（23回）、休日納税窓口開設（利用者66人・1,346千円）。コンビニ収納システムの導入による納税環境の整備を実施。
------	---

【 目標指標 】

1	指標	財政指標（経常収支比率）										
	最終目標値	86.1								単位	%	
	実績値			平成23年度	84.9	平成24年度	87.7	平成25年度	87.1	平成26年度	87.5	
	達成度	%		99	%	102	%	101	%	98	%	
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	各種帳票の管理、納付書の発行、徴収方法の検討等、常に経費の節減を心掛け、賦課事業との連携も図りながら実施している。今年度よりコンビニ収納を開始し、経費の増加もあるが納税環境の向上が図られ、納期限内納付の増加、滞納者への対応等効果が現れている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	納期に応じた事業を実施し、滞納については整理計画に基づき実施している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	自主財源確保のため重要な事業であり、収納率の向上を図る必要がある。今後も滞納処分の実施と納税環境の整備に努めた。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 島田公男

今後の方針	現状維持
総合評価	収税事業は自主財源確保に最も重要な事業である。賦課額の減少が憂慮される中、現年課税分の納税率はこの10年間で最高率を上げた昨年度をさらに上回ったのは評価される。今後も、現年課税分の早期徴収に努めるとともに、納税しやすい環境の整備を進め、滞納繰越分については、滞納者の財産調査を実施し、滞納処分や処分停止をも含め徴収対策を講じていきたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

一般旅券発給事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	いきいき町民課
基本構想	7 行政経営					
主な施策	2 広域連携の強化					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	地方分権による権限委譲及び町民の利便性の向上を図る。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	町民が身近な場所で一般旅券の手続きができるよう、秩父地域パスポートセンターを秩父市役所内に設置し、旅券の申請受理及び交付事務を秩父市に委託する。 【秩父市との協議】 横瀬町・秩父市一般旅券の申請受理及び交付等に関する委託に関する協議書(平成21年3月					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	614	617	594
財源内訳	国県支出金	614	617
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	実施場所 秩父市（秩父市役所内） 委託料 県から交付金を受け、秩父市に委託料として支払う 実施内容 一般旅券の申請受理と交付事務について、秩父市「秩父地域パスポートセンター」へ委託した 平成26年度申請受理・交付件数 5年用 82件 10年用 61件 記載事項変更 1件 合計144件
------	--

【 目標指標 】

1	指標	一般旅券の発給件数									
	最終目標値	225						単位	件		
	実績値			平成23年度	177	平成24年度	185	平成25年度	159	平成26年度	144
	達成度	%		79	%	82	%	71	%	64	%
2	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	町の負担がなく又当町単独で行うより効率的である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	地方分権の流れに沿った事業である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	住民が熊谷まで行かずに済みニーズを反映している。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 源太郎

今後の方針	現状維持
総合評価	特に無し

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

特定健康診査等実施事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	いきいき町民課（国保）
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	① 社会保障制度の充実					
何のために （目的・課題）	国保被保険者の健康の保持・増進及び疾病の予防・早期発見のため。					
誰・何を （対象）	40歳から74歳までの国民健康保険被保険者 2,001人					
どんなことを ・どのように （内容）	各医療保険者は特定健康診査等実施計画に基づき、40歳から74歳の国民健康保険被保険者を対象に特定健康診査を義務として実施する。内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）およびその予備群の発見に着目した検査を行い、そこでその該当となった方や予備群となった対象の方に特定保健指導を実施する。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費	4,962	4,667	4,668
財源内訳	国県支出金	1,688	3,924
	地方債		4,166
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	3,274	743
			502

【 事業実績 】

実施内容	・平成26年7月（3日間）、8月（3日間）、9月（4日間）[集団検診]に加え、10月の1ヶ月間[個別健診] ・身体測定、血圧測定、血液検査、内科診察などを実施し、メタボ予備群の方に特定保健指導を行う。 ・特定健診受診者：496人（人間ドック受診者を含まず） ・特定保健指導実施者：49人（動機付け支援）、14人（積極的支援）
------	---

【 目標指標 】

1	指標	特定健康診査受診率									
	最終目標値	65						単位	%		
	実績値			平成23年度	29.3	平成24年度	27.3	平成25年度	26.5	平成26年度	26
	達成度	%		45	%	42	%	40	%	45	%
2	指標	特定保健指導実施率									
	最終目標値	45						単位	%		
	実績値			平成23年度	17.78	平成24年度	5.62	平成25年度	1.7	平成26年度	19
	達成度	%		40	%	13	%	4	%	40	%
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	町のがん検診と同時実施により、他の事業との連携は図れている。受診率向上のため実施方法を検討する。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	実施計画に基づき実施している。将来的な被保険者の健康保持増進に期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	将来的には保険給付費の抑制にも繋がり、町の財政負担の軽減、住民の保険税負担の軽減にも繋がる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 源太郎

今後の方針	一部改善
総合評価	受診率、保健指導実施率は共に計画値を下回っている。生活習慣病その他疾病の早期発見及び予防を以て町民の健康の保持・増進を図る観点から、引き続き未受診者への受診勧奨を強化するとともに、受診率向上へ向けた新たな取り組みを検討する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

国民健康保険保健事業（人間ドック助成事業）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	いきいき町民課（国保）
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策		①社会保障制度の充実				
何のために （目的・課題）	国保被保険者の健康の保持・増進及び疾病の予防・早期発見のため。					
誰・何を （対象）	年度末において35歳以上の国民健康保険被保険者 2,131人					
どんなことを ・どのように （内容）	国保被保険者が人間ドックを受検したときに、1人年1回25,000円以内の補助金を要綱により交付する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費		3,120	3,484	3,453
財源内訳	国県支出金		1,704	1,739
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	3,120	1,780	1,714

【 事業実績 】

実施内容	横瀬町生活習慣病等予防検診費補助金交付要綱に基づき、補助対象者に、一人年1回、25,000円の補助金の交付を行った。最終的な補助金の交付件数は139件であった。 〔申込者数〕139人（男75人・女64人）
------	--

【 目標指標 】

1	指標	胃がん検診受診率									
	最終目標値	15							単位	%	
	実績値			平成23年度	6.53	平成24年度	8.87	平成25年度	3.82	平成26年度	7.58
	達成度	%		44	%	59	%	25	%	50	%
2	指標	大腸がん検診受診率									
	最終目標値	15							単位	%	
	実績値			平成23年度	7.61	平成24年度	8.43	平成25年度	6.46	平成26年度	13.1
	達成度	%		51	%	56	%	43	%	87	%
3	指標	特定健康診査受診率									
	最終目標値	65							単位	%	
	実績値			平成23年度	29.3	平成24年度	27.3	平成25年度	26.5	平成26年度	26
	達成度	%		45	%	42	%	40	%	40	%
4	指標	特定保健指導実施率									
	最終目標値	45							単位	%	
	実績値			平成23年度	17.78	平成24年度	5.62	平成25年度	1.7	平成26年度	19
	達成度	%		40	%	13	%	4	%	42	%
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	特定健診と町のがん検診事業を受けるか人間ドックのいずれかを選択して受けられる事業であり、各種検診事業との連携は図られている。健診の機会が増え町民の健康保持に寄与している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	年度を通して申請を受け付け、1 人 1 年度につき 1 回の助成を行う。年に 1 回健診の受診を勧める特定健診事業の趣旨に沿い、個人の健康管理の利便性を向上させている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	予算措置 1 5 0 件に対し補助金交付件数は 1 4 0 件であり、町民のニーズに合致した事業実施が行われている。町民の健康増進と医療費抑制につなげるべく、将来に向かって拡大する必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 源太郎

今後の方針	拡大
総合評価	当該事業は、生活習慣病その他疾病の早期発見及び予防を目的とするもので、町民の健康の保持・増進を図る上で重要な事業であり医療給付費の縮減にも繋がることから拡大推進することが妥当である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

緊急通報システム運用事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策	①地域福祉の推進					
何のために (目的・課題)	日常生活上常時注意を要する方の緊急事態における不安を解消し、高齢者等の福祉の向上を図る。					
誰・何を (対象)	65歳以上のひとり暮らしの高齢者など日常生活上常時注意を要する方					
どんなことを ・どのように (内容)	65歳以上のひとり暮らしの高齢者又は重度身体障害者、慢性的な疾患により日常生活上常時注意を要する方へ緊急通報システムの機器を貸し出すことで緊急事態における不安を解消する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,059	1,058	1,061
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,059	1,058	1,061

【 事業実績 】

実施内容	26年度末 システム利用者54名（うち、有料利用者1名） 26年度中通報受信件数「緊急通報」7件、「問合せ」1件、「間違通報」2件、「試験通報」15件、「その他」1件
------	---

【 目標指標 】

指標指標														
1	指標	緊急通報システムの設置世帯数（累計）												
	最終目標値	72								単位	戸			
	実績値			平成23年度	48	平成24年度	53	平成25年度	53	平成26年度	54			
	達成度	%		67		%		74		%		75		%
2	指標													
	最終目標値									単位				
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度				
	達成度	%		%		%		%		%		%		
3	指標													
	最終目標値									単位				
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度				
	達成度	%		%		%		%		%		%		
4	指標													
	最終目標値									単位				
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度				
	達成度	%		%		%		%		%		%		
5	指標													
	最終目標値									単位				
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度				
	達成度	%		%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1点：概ね適切	4／6点 消防本部と連携しており、簡単に他の業者との比較ができない。利用者負担を求めるには慎重な対応が必要である。また、高齢者の不安解消に対して効果があったが、周知徹底やデータ更新などの課題が残る。
	効率的な手段・方法であるか	1点：概ね適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6／6点 高齢者保健福祉計画において、高齢者の安全、安心の確保としての重要な取り組みとなっている。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6／6点 独居や高齢者世帯が増える中、緊急時の不安解消には有効な事業である。住民のニーズを反映し制度改正を行ったが、当該利用者がおらず、周知徹底等、課題が残っている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切	
総合点数		16／18点	

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	現状維持
総合評価	独居や高齢者世帯が増加する中、緊急時の不安解消のために必要不可欠な事業であるが、周知徹底等の課題が残っている。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

敬老会事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策	①地域福祉の推進					
何のために (目的・課題)	地域福祉事業の一環として、敬老会を実施し、町内に居住する高齢者に対し長寿を祝福し、敬意を表すことにより、町民が高齢者を敬う環境を整え、人々のあたたかいところ和むまちづくりを推進する。					
誰・何を (対象)	町内に住所を有する75歳以上の高齢者					
どんなことを ・どのように (内容)	敬老の日にちなんで、満75歳以上の高齢者を対象に、町民会館に招き、民生委員、婦人会及び交通指導隊の協力をいただき、式典、アトラクションを実施する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	612	626	701
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他	612	626
	一 般 財 源		

【 事業実績 】

実施内容	対象者を町民会館に招待して、式典・アトラクションを実施し、菓子の詰め合わせと高齢者名簿を配付した。今年度は、9月17日（水）に招待者248名、来賓31名、民生委員・児童委員24名、婦人会20名、交通指導隊4名の協力のもと実施した。今年のアトラクションは次のとおり。①南京玉すだれ愛好会による大道芸「南京玉すだれ」②MAKI'Sフラダンス&タヒチアンダンスとフラサークルhiehieによるフラダンスなど
------	--

【 目標指標 】

1	指標	要介護認定を受けていない高齢者(65歳以上)の割合										
	最終目標値	89								単位	%	
	実績値			平成23年度	85.6	平成24年度	85.6	平成25年度	85.3	平成26年度	85	
	達成度	%		96%		96%		96%		0%		
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	参加者数が横ばい状態である。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	ある一定の水準で参加率が維持できれば、町民が高齢者を敬う手法としては妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	4／6点	参加率が向上するような手法、内容を検討する必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		14／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	現状維持
総合評価	出席率は、ここ数年微増ではあるが伸びている。今後も引き続き対象者のニーズを反映させたアトラクション等の検討を行い、出席率の向上を図る必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

健康長寿祝金事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	高齢者の長寿を祝福し、健康の保持を奨励し福祉の増進を図る。					
誰・何を (対象)	4月1日現在で77歳、80歳、88歳、90歳の方及び当該年度中に99歳、100歳に達する方					
どんなことを ・どのように (内容)	4月1日を基準日とし、基準日前1年以上横瀬町に居住する在宅の高齢者に対し長寿を祝福するため健康長寿祝金を9月に支給する。 (H21より：77歳：10,000円、80歳：10,000円、88歳：20,000円、90歳：20,000円、99歳：30,000円、100歳：50,000円)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	2,530	2,900	2,830
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他	2,530	2,900
	一般財源		

【 事業実績 】

実施内容	【商品券による】 77歳90人(900,000円) 80歳71人(710,000円) 88歳33人(660,000円) 90歳24人(480,000円)
	【現金による】 99歳1人(30,000円) 100歳1人(50,000円)

【 目標指標 】

指標		要介護認定を受けていない高齢者(65歳以上)の割合									
1	最終目標値	89							単位	%	
	実績値			平成23年度	85.6	平成24年度	85.6	平成25年度	85.3	平成26年度	85
	達成度	%		96%		96%		96%		96%	
	指標										
2	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
3	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
4	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
5	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1 点：概ね適切	4／6点	現代において「長寿」とは何歳頃からが妥当か、高齢者に対してより効果的な支援方法はないか検討する必要がある。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	今後高齢者が増加していく中、高齢者をより支援できる制度に見直す必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	3／6点	制度内容について、住民のニーズを確認しながら検討していくことが必要と考える。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1 点：概ね適切		
総 合 点 数		12／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針		縮小
総合評価	高齢化の進行とともに健康長寿祝金の支給対象者も増加し、年度により対象者の増減はあるものの支出は伸びることが想定される。そのため、6つの区分に支給している祝い金を90歳、100歳の2区分にする。浮いた祝い金の一部は、在宅の高齢者福祉事業（紙おむつの支給、ねたきり老人の介護者に対する手当など）の原資とする。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

在宅福祉事業（高齢者福祉関連事業）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策						
何のために （目的・課題）	在宅で生活する高齢者福祉の増進を図る。					
誰・何を （対象）	在宅で生活する65歳以上の高齢者					
どんなことを ・どのように （内容）	・100歳の祝い、日常生活用具の給付、ねたきり老人等の手当を支給する。 ・ダンス教室、ヨガ教室を行い高齢者の健康増進を図る。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費	666	398	428
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	666	398

【 事業実績 】

実施内容	・百歳のお祝い ・社交ダンス、ヨガ教室 各12回開催 ・ねたきり老人手当（対象者のべ12名 245,000円） ・高齢者日常生活用具 1件
------	--

【 目標指標 】

指標		要介護認定を受けていない高齢者（65歳以上）の割合									
1	最終目標値	89								単位	%
	実績値			平成23年度	85.6	平成24年度	85.6	平成25年度	85.3	平成26年度	84.6
	達成度	%		96	%	96	%	96	%	95	%
	指標										
2	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
3	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
4	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
5	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1 点：概ね適切	4／6点	社交ダンス教室・ヨガ教室については、さらなる自主運営を促すため、文化協会（公民館サークル）への加盟または加盟団体への統合などを検討する必要がある。また、寝たきり老人手当は、在宅介護者の支援を強化する内容へと見直す必要がある。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	高齢者の生きがいや健康増進などのために効果的な事業である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	他事業との連携・統合を検討する必要がある。特に寝たきり老人手当については、在宅介護者の支援を強化する内容に見直す必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		15／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	一部改善
総合評価	ねたきり老人手当は、対象者に5,000円/月支給するものであるが、これを介護者の支援強化のための手当に変え、被介護者の要件も緩和する。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

高齢者見守りネットワーク推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○	○	改善	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	2 高齢者福祉の充実					
その他の関連する施策	①地域福祉の推進					
何のために (目的・課題)	高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らしを続けられるため、地域の見守り支援ネットワークを構築する。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1現在)					
どんなことを ・どのように (内容)	住民や地域の団体、商店、金融機関等のあらゆる機関と連携を図り、高齢者を見守る支援体制づくりを行う。また、そのための普及啓発も行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	2,379	234	791
財源内訳	国県支出金	2,324	
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	55	234
			791

【 事業実績 】

実施内容	●新規事業①高齢者セーフティネットモデル地区整備事業②避難行動要支援者名簿の作成③お茶のみ体操教室●改善事業①会食サービス事業②誕生日訪問事業③コミュニティバス「ブコーさん号」試験運行事業●継続事業①保健師による高齢者訪問事業②三河屋ブコーさん事業③配食サービス事業④緊急通報システム事業⑤ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業⑥第2回元気な高齢者の似顔絵展
------	---

【 目標指標 】

指標		見守りネットワーク設置										
1	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		100	%	100	%	100	%	0	%	
	指標											
2	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
3	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
4	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
5	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	見守りは、これでいいということはないため、今後も他事業と連携していく必要がある。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	4／6点	長期的な効果を発揮するには、町全体で体制づくりをすることが必要である。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	見守りが必要な方々が十分に把握できているとはいえないため、町、地域、企業等が一体となってさまざまな事業を展開し、見守っていく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		14／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針		拡大
総合評価	高齢者見守りネットワーク推進事業は、健康づくり課だけで事業実施している。これから超高齢化社会を迎え、避難行動要支援者が増え続けることが見込まれるため、ひとつの課だけで事業を進めるには限界を感じる。今後は、災害への対処など、町全体で対応方法を考えていく必要がある。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

自立支援給付費等支援事業（旧自立支援法による介護等 給付事業、旧補装具費支給事業）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	3 障がい者（児）福祉の充実					
その他の関連する施策						
何のために （目的・課題）	障がい者の地域生活と就労を進め、自立を支援するため。					
誰・何を （対象）	障害者自立支援給付決定者 31人					
どんなことを ・どのように （内容）	障害程度区分認定を受けた障がい者等に対して、自立支援法による介護および訓練等給付事業を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費		95,928	104,340	108,906
財源内訳	国県支出金	72,240	80,228	80,029
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	23,688	24,112	28,876

【 事業実績 】

実施内容	①障害福祉サービス費等負担金：障害支援区分認定を受けた障がい者等（45人延964人）に対して、介護給付費等を支給した。（98,137,733円）②補装具費等負担金：身体障がい者（4人）に対して、下肢装具及び車いすの新調や修理費を支給した。（809,570円）③その他、障害者自立支援審査会負担金（1,121,000円）、障害児通所給付費（2人延24件764,660円）、サービス等利用計画作成費負担金（41件663,502円）の支給を行った。
------	---

【 目標指標 】

1	指標	障害福祉サービスの利用者数									
	最終目標値	31								単位	人
	実績値			平成23年度	34	平成24年度	41	平成25年度	45	平成26年度	45
	達成度	%		110	%	132	%	145	%	145	%
2	指標	障害福祉サービス提供事業所の設置数									
	最終目標値	1								単位	カ所
	実績値			平成23年度	1	平成24年度	2	平成25年度	3	平成26年度	5
	達成度	%		100	%	200	%	300	%	500	%
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	計画相談支援が導入され、障害者総合支援法に基づき適切な支援が行われており、必要に応じて介護保険事業と連携調整し、経費も必要最小限である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	第3期障がい福祉計画に基づき、有効に実施できている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	障がい者計画等の策定に併せ意識調査を実施している。障がい者の社会参加と自立への支援のために必要不可欠な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	現状維持
総合評価	第3期障がい福祉計画に基づき事業実施しており、また、障がい者の社会参加と自立への支援を行うために必要不可欠な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

地域生活支援事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	3 障がい者（児）福祉の充実					
その他の関連する施策						
何のために （目的・課題）	障がい児者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業を実施し、もって障がい児者の福祉の増進を図るとともに、人格と個性を尊重し地域で安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。					
誰・何を （対象）	障がい児及び障がい者 400人					
どんなことを ・どのように （内容）	障がい児者および介護者等からの相談に応ずるとともに、必要な情報提供等を行う相談事業や手話通訳者等の派遣事業、日常生活用具給付事業、障がい児者等の移動を支援する事業および障がい者等を通わせ創作的活動等の機会を提供する事業等を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費	8,381	9,484	9,685
財源内訳	国県支出金	4,501	2,751
	地 方 債		
	受益者負担		46
	そ の 他		
	一 般 財 源	4,983	6,887

【 事業実績 】

実施内容	相談支援事業をはじめ必須10事業のほか任意事業(3事業)を実施した。①理解促進研修・啓発事業②自発的活動支援事業③相談支援事業④成年後見制度利用支援事業⑤成年後見制度法人後見支援事業⑥意思疎通支援事業⑦日常生活給付事業⑧手話奉仕員養成研修事業⑨移動支援事業⑩地域生活機能強化事業⑪日中一時支援事業⑫紙おむつ給付事業⑬障害者虐待防止対策支援事業
------	---

【 目標指標 】

1	指標	障害福祉サービスの利用者数									
	最終目標値	31								単位	人
	実績値			平成23年度	34	平成24年度	41	平成25年度	45	平成26年度	45
	達成度	%		110	%	132	%	145	%	145	%
2	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	障害者総合支援法に基づき、適正な支援が行われているため、経費は必要最小限であるが、活用できていない事業もあるので工夫が必要である。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	第3期障がい福祉計画に基づき、有効に実施できている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	障がい者計画等の策定に併せ意識調査を実施している。障がい者の社会参加と自立への支援のために必要不可欠な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	現状維持
総合評価	障害者総合支援法や第3期障がい福祉計画に基づき、適正に事業実施しており、また、障がい者が自立した日常生活や社会生活を営むための必要な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

こども医療費支給事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	保護者の経済的負担を軽減し、こどもの保健の向上と福祉の増進を図るため。					
誰・何を (対象)	中学校修了前のこども(0歳～15歳年度末) 1,230人					
どんなことを ・どのように (内容)	0歳児から15歳年度末までのこどもを持つ保護者に対し医療費を支給する(平成22年4月診療分から対象者を12歳年度末から15歳年度末まで拡大した)					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		22,752	22,779	24,744
財源内訳	国県支出金	2,589	2,492	2,755
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	20,163	20,286	21,988

【 事業実績 】

実施内容	・町内に住所を有し、健康保険に加入している0歳児から15歳年度末(中学校修了前)までのこども(ひとり親家庭等医療費受給対象者を除く。)にかかる医療費の一部負担金等を支給。 助成金支給総額 23,279,893円、手数料総額 1,129,415円 【参考】県補助金(0歳から6歳就学前まで)1/2補助。町単独助成(小1から中3まで 秩父郡市統一)
------	---

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数							
	最終目標値	15,900						単位	人
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020
	達成度	%		77	%	77	%	88	%
2	指標	こども医療費受給対象者数							
	最終目標値	1,230						単位	人
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090
	達成度	%		94	%	91	%	89	%
3	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%
4	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%
5	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%			%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1 点：概ね適切	5／6点	支払事務を委託することで適正な給付と事務の簡素化が図られるが、経費の増加が見込まれるのが課題である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	次世代育成支援地域行動計画に基づき、有効に実施できている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	子育て支援の充実に必要不可欠な、住民ニーズの高い事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 太場 紀彦

今後の方針	一部改善
総合評価	現在、受給対象者を中学3年生まで拡大し、現物給付を実施している事業であるが、さらに対象年齢を引き上げて子育て支援を充実させるよう検討を始める。そのためには、秩父郡市医師会の了承を得ること。また、秩父1市4町が同時に実施する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

ひとり親家庭等医療費支給事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
			○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	ひとり親家庭等の保護者の経済的負担を軽減し、生活の安定と福祉の増進を図るため。					
誰・何を (対象)	ひとり親家庭等 210人					
どんなことを ・どのように (内容)	ひとり親家庭等の18歳年度末までの児童（一定の障がいがある場合は20歳未満まで）とその母（父）又は養育者へ医療費を支給する なお、こども医療費の支給対象者拡大に伴い、平成22年4月診療分から15歳年度末までの児童は自己負担金免除					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	3,859	4,580	5,507
財源内訳	国県支出金	1,758	1,983
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	2,101	2,597

【 事業実績 】

実施内容	・ひとり親家庭等の世帯に対し、医療費の一部負担金を支給。 助成金支給総額 5,093,763円、手数料 167,366円
------	---

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395
	達成度	%		77	%	77	%	88	%	78	%
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	89	%	86	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	支払事務を委託することで適正な給付と事務の簡素化が図られるが、経費の増加が見込まれるのが課題である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	次世代育成支援地域行動計画に基づき、有効に実施できている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	子育て支援の充実に必要不可欠な、住民ニーズの高い事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	現状維持
総合評価	1市4町での医療機関等の一部負担金の窓口払いを廃止し現物給付を実施しており、受給者の経済的負担を軽減し、利便性が高まった。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

出産祝い金支給事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	出産を奨励し、子どもの健やかな成長を願い、子育て家庭へ祝い金を支給。					
誰・何を (対象)	出生した子のいる家庭					
どんなことを ・どのように (内容)	出生した子の父母を対象に出産祝い金を1子につき30,000円支給する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,740	1,590	1,710
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	1,740	1,590	1,710

【 事業実績 】

実施内容	・出生した1子につき、出産祝い金30,000円を支給。(支給人数：57名)
------	---------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395
	達成度	%		77	%	77	%	88	%	78	%
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	89	%	86	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	町税事業と連携を図ることで、適正な給付を行っている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	少子化対策及び子育て支援を推進するにあたり、妥当な事業である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	子育て世帯の経済的負担の軽減と定住促進を図るため、必要不可欠な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	現状維持
総合評価	平成21年度から6年度事業実施しているが、平成22年度だけ支給人員が60人を超え、そのほかの年度は50人代とあまり変化が見られない事業である。しかし、現金支給のため全ての支払いに対応でき、子育て世帯の経済的負担軽減に大きく寄与していると思われる。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

入学祝い金支給事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①商工業の振興					
何のために (目的・課題)	子育て世帯の経済的負担の軽減と定住促進と商店等の活性化を図るため。					
誰・何を (対象)	小学校入学予定児童のいる世帯					
どんなことを ・どのように (内容)	小学校入学時には、ランドセルやかばん、体操服等そろえなければならない用品があり、経済的に負担が大きい。町内の商店等で利用できる商品券（10,000円）をお祝いとして支給する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	844	580	760
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	844	580

【 事業実績 】

実施内容	・申請期間（4月1日から5月31日）において、町内に住所を有し、小学校に入学する児童を養育している者で、かつ町税に滞納のない者に入学祝い金（商品券 10,000円分）を支給。（入学予定者 77名・転入者等見込み 1名） 支給人数 76名
------	--

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395
	達成度	%		77	%	77	%	88	%	78	%
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	89	%	86	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	町税事業と連携を図ることで、適正な給付を行っている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	少子化対策及び子育て支援を推進するにあたり、妥当な事業である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	子育て世帯の経済的負担の軽減と定住促進を図るため、必要不可欠な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	現状維持
総合評価	子育て世帯の経済的負担の軽減、観光・産業振興協会の活性化、徴収率の向上に寄与しており、今後も事業継続していく。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

健康管理システム管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	住民に効率的でスピーディーなサービスを提供するとともに、健診や予防接種の情報を整備しておくことにより、適切な指導、勧奨を行うことができるため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	乳幼児・成人の各種健診、予防接種事業を管理するため、健康管理システムの機器リース、ソフト及び機器の保守委託を行い、住民の健康を管理していく。(平成22年度から新機種にリース替え)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,188	1,079	902
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,188	1,079	902

【 事業実績 】

実施内容	健康診断や予防接種の結果を入力し、個人のデータを管理や、統計資料の抽出を行った。 経費内容：システム機器保守料 31,752円 ソフトウェア使用料 518,400円 システム機器リース料 352,590円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	1歳6カ月児健診受診率									
	最終目標値	96							単位	%	
	実績値			平成23年度	91.04	平成24年度	95.38	平成25年度	95.38	平成26年度	100
	達成度	%		95	%	99	%	99	%	104	%
2	指標	3歳児健診受診率									
	最終目標値	95							単位	%	
	実績値			平成23年度	87.69	平成24年度	91.17	平成25年度	88.88	平成26年度	98
	達成度	%		92	%	96	%	94	%	103	%
3	指標	胃がん検診受診率									
	最終目標値	15							単位	%	
	実績値			平成23年度	6.53	平成24年度	8.87	平成25年度	3.82	平成26年度	7.58
	達成度	%		44	%	59	%	25	%	50	%
4	指標	大腸がん検診受診率									
	最終目標値	15							単位	%	
	実績値			平成23年度	7.61	平成24年度	8.43	平成25年度	6.46	平成26年度	13.1
	達成度	%		51	%	56	%	43	%	87	%
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	住基システムと連動しているため、経費は適切で、効率的である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	住基システムと連動しているため、対象者の把握が確実にでき、効果的である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	各種事業を適切かつ効率的に実施するために必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	現状維持
総合評価	予防接種や各種検診等の個人データを管理するシステムであるため必要不可欠な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

がん検診事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①健康づくりの推進					
何のために (目的・課題)	疾病を早期発見し、早期治療へつなげるため。					
誰・何を (対象)	40歳以上の男女					
どんなことを ・どのように (内容)	総合福祉センターまたは町民会館において、がん検診を集団検診にて実施する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		4,187	4,013	4,317
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他		444	480
	一 般 財 源	4,187	3,568	3,837

【 事業実績 】

実施内容	○大腸がん・肺がん（喀痰）・前立腺がん検診（集団10日間。大腸がん検診のみ役場窓口での受付も実施） 大腸がん：284人、肺がん（喀痰）：58人、前立腺がん：160人 ○子宮頸がん・乳がん検診（集団4日間） 子宮頸がん：137人、乳がん：122人 ○胃がん検診（集団3日間） 胃がん：206人
------	---

【 目標指標 】

目標指標												
1	指標	胃がん検診受診率										
	最終目標値	15								単位	%	
	実績値			平成23年度	6.53	平成24年度	8.87	平成25年度	3.82	平成26年度	7.58	
	達成度	%		44	%	59	%	25	%	50	%	
2	指標	大腸がん検診受信率										
	最終目標値	15								単位	%	
	実績値			平成23年度	7.61	平成24年度	8.43	平成25年度	6.46	平成26年度	13.1	
	達成度	%		51	%	56	%	43	%	87	%	
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	検診委託料は郡市医師会と協議の上、決められている。大腸がん、肺がん、前立腺がんは特定健診と同日実施のため、受診者の利便性が図れている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	検診を受けることにより、がんを早期に発見でき、早期に適切な治療に結びつけられ、医療費の削減につながる。健康寿命の延伸、医療費の削減の点から見て、検診の必要性がある。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	胃がん、肺がん、前立腺がん、大腸がん、無料クーポン券交付対象以外の乳がん・子宮頸がん検診は、集団検診のみのため、受診の機会が限られてしまう。検診の実施は医師会の協力が必要であり、個別検診の実施には協議する必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針		現状維持
総合評価	胃がん検診を始めとする各種がん検診は、集団健診で実施しており個人の都合は考慮しないため、個人の都合に合わせて受検できる個別健診など、住民のニーズに合わせた健診方法を取り入れ受診率の向上に努め、がんの早期発見、早期治療により町民が健康で暮らすことができることにより医療費の削減につなげたい。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

健康増進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①障がい者（児）福祉の充実					
何のために （目的・課題）	住民の健康増進と生活習慣病の予防・改善を図ることを目的にウォーキング教室や各地区を会場にした健康教室を実施。また健康増進を目的とした活動をする団体へ補助を行う。言語障害者への機能訓練を行い、地域住民の理解も深めていく。					
誰・何を （対象）	全住民 9,021人（H24.10.1）					
どんなことを ・どのように （内容）	ウォーキングや生活習慣病予防のための健康講座、地区別の健康講座、機能訓練等を実施する。また、健康づくりに取り組む団体へ補助金を交付する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費	700	878	1,084
財源内訳	国県支出金	176	351
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	524	527
			792

【 事業実績 】

実施内容	ヘルシー講座(1コース8回)9月～1月に実施。延べ88名参加。 減塩講習会(1コース2回)11月～12月に実施。延べ49名参加。 言語リハビリ教室 年12回実施。延べ38名参加。
------	---

【 目標指標 】

指標		要介護認定を受けていない高齢者(65歳以上)の割合										
1	最終目標値	89								単位	%	
	実績値			平成23年度	85.6	平成24年度	85.6	平成25年度	85.3	平成26年度	84.6	
	達成度	%		96	%	96	%	96	%	0	%	
	指標											
2	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
3	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
4	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
5	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	土曜日に実施し働く世代が参加しやすい工夫をした。また、特定保健指導対象者に参加を促し他の事業とも連携して事業を実施した。言語リハビリ教室はボランティアに参加してもらい、言語障害を理解してもらう機会となっている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	生活習慣病の予防と健康の維持増進を目的に事業を実施し、将来の医療費削減につながる。言語リハビリは、閉じこもりになりやすい言語障害者が出かける場となり、機能低下を予防している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	生活習慣病の予防は、健康寿命の延伸、医療費の削減のため重要な課題である。健康増進事業により、普段から健康づくりを意識してもらうことで、生活習慣病の予防につながる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	一部改善
総合評価	町民の健康増進と生活習慣病の予防・改善を図り、健康を維持することで医療費の削減につなげるための各種事業を実施している。今年度は、ウォーキング教室を年7回実施し、延べ130人の参加者があった。27年度は、実施回数を増やし参加者を増やしていく。また、ヘルシー講座では体力測定を加え、事業内容に変化をつけた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

成人検診事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	疾病を早期発見し、早期治療へつなげるため。					
誰・何を (対象)	40歳以上の者、40歳以上の生活保護受給者。 40歳となる者、又は41歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない者。 65歳以上の町民及び未受診のじん肺患者等					
どんなことを ・どのように (内容)	疾病の早期発見・早期治療を目的に、B型・C型肝炎ウイルス検診を行う。また、生活保護受給者を対象に、健康診査および人間ドックの費用助成事業を実施する。結核検診業務を広域市町村圏組合に委託。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	2,665	2,829	3,114
財源内訳	国県支出金	33	21
	地方債		
	受益者負担		
	その他	15	18
	一般財源	2,665	2,781
			3,075

【 事業実績 】

実施内容	B型・C型肝炎ウイルス検診39名受診 生活保護受給者健康診査 1名受診 生活保護受給者生活習慣病予防検診費補助事業 0件 結核検診広域負担金
------	--

【 目標指標 】

1	指標	胃がん検診受診率									
	最終目標値	15							単位	%	
	実績値			平成23年度	6.53	平成24年度	8.87	平成25年度	3.82	平成26年度	7.58
	達成度	%		44	%	59	%	25	%	0	%
2	指標	大腸がん検診受診率									
	最終目標値	15							単位	%	
	実績値			平成23年度	7.61	平成24年度	8.43	平成25年度	6.46	平成26年度	13.1
	達成度	%		51	%	56	%	43	%	0	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	検診に係る委託料や負担金は、それぞれ医師会・広域市町村圏組合で定められており、適切に執行している。 特定健診と同日実施で実施することで効率的に実施できている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	検診を受けることで疾患の早期発見につながる。早期に受診することで重症化を防ぐことができ、医療費の削減にもなる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	疾患の早期発見・早期治療により、医療費削減となり、今後も必要性の高い事業である。集団健診のみであり、受診者にとっては受診の機会が限られてしまう。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	現状維持
総合評価	成人検診事業では、胸部X線撮影、B・C型肝炎ウイルス検査等を行っており、検査を受けることで病気を早期発見し、医療費の削減につなげる。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

妊婦健康増進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①子育て支援の推進					
何のために (目的・課題)	妊婦の健康の維持・増進、妊婦健診の適正受診を促す。妊娠経過、出産・育児など正しい知識の提供。 不妊治療を受ける夫婦の増加とそれに伴う経済的負担の軽減を図る。					
誰・何を (対象)	妊婦とその家族 不妊治療を受けた夫婦					
どんなことを ・どのように (内容)	マタニティスクール・初孫教室の実施、母子健康手帳の交付、妊婦健康診査の受診費用の補助。 不妊治療に要した自己負担額の5割、5万円を限度に医療費の一部助成。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		5,180	5,683	5,486
財源内訳	国県支出金			4
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	5,180	5,683	5,482

【 事業実績 】

実施内容	・妊婦健康診査 助成額：4,930,010円 (妊婦健診一般：4,685,870円、HIV抗体：126,540円、クラミジア抗体：117,600円) ・マタニティスクール 年3回 参加者：21人(延べ36人) ・マイ・エンゼル支援事業 1組
------	--

【 目標指標 】

1	指標	1 歳 6 力月児検診受診率										
	最終目標値	96								単位	%	
	実績値			平成23年度	91. 04	平成24年度	95. 38	平成25年度	95. 38	平成26年度	102	
	達成度	%		95	%	99	%	99	%	106	%	
	指標	3 歳児検診受診率										
2	最終目標値	95								単位	%	
	実績値			平成23年度	87. 69	平成24年度	91. 17	平成25年度	88. 88	平成26年度	98	
	達成度	%		92	%	96	%	94	%	103	%	
	指標											
3	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
4	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
5	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6／6点	不妊治療・妊婦健診の助成により経済的な負担の軽減につながる。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6／6点	マタニティスクールの休日開催を継続し、仕事を持つ妊婦・夫が参加できるよう日程を設けている。妊婦訪問「はじめの一步」を実施し、妊娠期からの支援を開始した。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6／6点	不妊治療の助成、妊婦健診の助成等今後の少子化対策・子育て支援に必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針	拡大
総合評価	現在不妊治療に要した自己負担額の5割、5万円を限度に生涯2回助成しているが、限度額の引き上げや助成回数を増やすなど、少子化対策の一助となるよう要綱の改正を行っていく。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

地域包括支援センター事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
			○		継続	健康づくり課（介護）
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	1 地域福祉の推進					
その他の関連する施策	①地域福祉の推進					
何のために （目的・課題）	高齢者とその家族が安心して住み慣れた地域で可能な限り生活を送ることができるよう支援するため。					
誰・何を （対象）	65歳以上の者とその家族及び関係者					
どんなことを ・どのように （内容）	高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、介護保険サービスだけでなく、地域の保健・福祉・医療サービスや、ボランティア活動等の多様な社会資源を活用し、かつ構築しながら、高齢者の心身の状態の変化に応じて、生活の質が低下しないように適切なサービスを継続的に提供する。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費	960	844	1,063
財源内訳	国県支出金	569	500
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他	391	343
	一 般 財 源		

【 事業実績 】

実施内容	【介護予防ケアマネジメント業務】二次予防事業対象者対応：14件 【総合相談支援業務】対応件数：388件（内訳：電話23件、来所40件、訪問125件）、高齢者実態把握：訪問51件、その他（芦ヶ久保地区見守り訪問34件） 【権利擁護業務】消費者被害：1件、高齢者虐待：1件、成年後見制度：1件 【包括的・継続的ケアマネジメント業務】介護支援専門員連絡会：6回、その他：秩父郡市地域包括支援センター連携会議3回
------	---

【 目標指標 】

1	指標	要介護認定を受けていない高齢者（65歳以上）の割合									
	最終目標値	89							単位	%	
	実績値			平成23年度	85.6	平成24年度	85.6	平成25年度	85.3	平成26年度	84.6
	達成度	%		96	%	96	%	96	%	0	%
2	指標	介護予防事業への参加率									
	最終目標値	15							単位	%	
	実績値			平成23年度	5.6	平成24年度	4.6	平成25年度	4.4	平成26年度	4.7
	達成度	%		37	%	31	%	29	%	0	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	地域の方や関係機関の方などからの相談や情報提供に対して、限られた人員のなかで、なるべく迅速に連絡や訪問等、個別対応を随時行ったが、継続した対応ができず、関係構築が途切れているケースもあり、専門職の人材確保が必要。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	介護保険事業計画に基づいて実施。今後も高齢化が進展することを踏まえ、個々の相談等には柔軟にかつ迅速に対応できるよう、また、複数の職種等の関わりが必要になる場合も想定し、専門職等の人員の配置・確保が必要であると考え。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	高齢者の総合相談窓口として周知・普及啓発等を引き続き行っていく必要がある。潜在化している地域内の課題やニーズ把握に欠けているため、支援等を必要としている方の顕在化や見守り等の介入を行うためにも、より一層地域包括支援センターの機能強化が必要。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針		一部改善
総合評価	高齢化が進む中で地域包括支援センターの限られた職員で他の地域福祉、保健担当と等との情報連携を行いながら訪問等事業を実施しているが、継続した対応ができず、関係構築が途切れていくケースもあるため、専門職等の人材確保が必要である。また、認知症サポーター等のボランティアを活用した事業展開が必要と思われる。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

地域支援事業任意事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課（介護）
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	1 地域福祉の推進					
その他の関連する施策		①地域福祉の推進				
何のために （目的・課題）	高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活していけるよう、高齢者の自立の助長と生活の質の向上を図る。また、介護者の精神的・経済的な負担の軽減や事業者の支援も行う。					
誰・何を （対象）	65歳以上の単身や夫婦のみの世帯、要介護認定者で寝たきりや認知症などの状態である方など					
どんなことを ・どのように （内容）	【①配食サービス事業】月曜から土曜の間で週3回までの希望日に昼食を配達。 【②紙おむつ給付事業】一定基準額以内の紙おむつ等を月1回給付。 【③住宅改修理由書作成支援事業】理由書を作成した居宅介護支援事業所に手数料を支払う。 【④成年後見制度利用支援事業】成年後見の申立に対する費用の助成を行う。					

【事業費等】

（単位：千円）

区分	平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費	2,352	1,981	2,156
財源内訳	国県支出金	1,394	1,174
	地方債		
	受益者負担		
	その他	958	807
	一般財源		

【事業実績】

実施内容	【配食サービス事業】延べ配食数：2,221食、実人数：32名 【紙おむつ給付事業】延べ給付件数：221件、実人数：31名 【認知症対策普及啓発事業】認知症サポーター養成講座開催：10回、延べ参加人数163名 【介護給付等費用適正化事業】 介護給付費通知：年3回、延べ給付件数：928件 【住宅改修支援事業】1件
------	---

【 目標指標 】

目標指標														
1	指標	見守りネットワーク設置												
	最終目標値											単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		1		
	達成度	%		0		%		100		%		0		%
2	指標													
	最終目標値											単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度				
	達成度	%		%		%		%		%		%		
3	指標													
	最終目標値											単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度				
	達成度	%		%		%		%		%		%		
4	指標													
	最終目標値											単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度				
	達成度	%		%		%		%		%		%		
5	指標													
	最終目標値											単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度				
	達成度	%		%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	一部の事業は委託により実施。委託業者による見守り・声かけの継続と、必要時には連携を図りながら対応した。介護保険担当・地域包括支援センターで対応している事業もあり、経費・効果等は妥当と考える。また、障害者福祉担当・保健担当とも情報共有しながら実施した。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	介護保険事業計画に基づいて実施。地域での自立した生活の助長や利用者・介護者の負担軽減を図るために、また高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯等を見守りするためにも、今後も継続が必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	高齢者が地域で安心して生活していけるよう、今後も事業継続の必要性はある。高齢化が進むなかで、事業対象外の方でも支援の必要性が高い方もいるため、多様なニーズに対応できるよう、地域における課題を見極め、事業展開や支援方法を検討していく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針		一部改善
総合評価		
	高齢化が進むなかで、事業対象外の方でも支援の必要性の高い方もいるため、多様なニーズに対応できるよう事業展開や支援方法を見直していく必要がある。例えば配食サービス、紙おむつ給付事業における対象者の要件緩和など。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

地域支援事業二次予防事業(旧：地域支援事業特定高齢介護予防事業)		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		改善	健康づくり課(介護)
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①健康づくりの推進					
何のために (目的・課題)	要支援・要介護状態に移行することを予防する。					
誰・何を (対象)	65歳以上(要支援・要介護認定者を除く)で基本チェックリスト実施の結果、二次予防対象者と決定された者。					
どんなことを ・どのように (内容)	基本チェックリストを郵送し、本人が記入したチェックリストを返送。二次予防対象者を把握し、個々に応じた集団または個別のプログラムを提供し、二次予防対象者となった方が介護予防に取り組めるよう支援する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	691	716	729
財源内訳	国県支出金	259	268
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他	432	447
	一 般 財 源		456

【 事業実績 】

実施内容	【二次予防事業対象者把握】①2,023名に基本チェックリストを郵送し、1,487名分回収。②回収分のうち、269名の二次予防対象者へ事業通知を通知し、14名の申し込みがあった。③14名の申込者に対して個別訪問し、事業(かわせみ教室)への参加が確定。【事業(かわせみ教室)】①9月から12月にかけて週1回(毎週金曜日)実施。全12回。②参加者数(内訳：男性2名・女性12名)、延べ153名。
------	---

【 目標指標 】

1	指標	要介護認定を受けていない高齢者（65歳以上）の割合										
	最終目標値	89								単位	%	
	実績値			平成23年度	85.6	平成24年度	85.6	平成25年度	85.3	平成26年度	84.6	
	達成度	%		96	%	96	%	96	%	95	%	
2	指標	介護予防事業への参加率										
	最終目標値	15								単位	%	
	実績値			平成23年度	5.6	平成24年度	4.6	平成25年度	4.4	平成26年度	4.7	
	達成度	%		37	%	31	%	29	%	31	%	
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	事業の運営については、一部を委託、一部を直営の地域包括支援センターが実施し、経費は妥当と考える。短期的な事業実施であり、継続性に欠けているため、事業終了後も続けて参加できるような介護予防事業等、他の事業展開をしていく必要がある。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	介護保険事業計画に基づいて実施。短期的な実施であり、事業終了後は自助努力によるものが大きい。毎年度、対象になる方もおり、事業を通して介護予防の普及・啓発や継続して取り組むための動機付け支援も必要。事業終了後も参加できるような事業展開の検討も必要。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	介護予防の普及啓発のためにも、より多くの高齢者が参加しやすい事業内容の検討が必要である。一会場のみの実施で、送迎対応は行っているものの、事業への参加を敬遠する方もいる。実施方法や地域内で気軽に参加できる会場の設定など、事業内容の検討が必要。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		15／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針		一部改善
総合評価	65歳以上の介護保険の認定を受けていない方を対象に実施している短期的な事業であるが、参加しやすい魅力ある事業となるよう検討するとともに、事業の普及啓発も積極的に行う必要がある。また、事業終了後も続けて事業参加できるような介護予防事業の実施を考えていく必要がある。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

地域支援事業一次予防事業(旧：地域支援事業一般高齢介護予防事業)		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		改善	健康づくり課(介護)
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	5 健康づくりの推進					
その他の関連する施策	①健康づくりの推進					
何のために (目的・課題)	できる限り自立した生活が送れるよう、要支援・要介護状態へ移行することを予防する。					
誰・何を (対象)	おおむね65歳以上の者(要支援・要介護認定者を除く)					
どんなことを ・どのように (内容)	介護予防に関する知識等の普及啓発活動や介護予防教室等の事業を実施する。さらには介護予防の自主的な取り組みを支援する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		2,260	2,441	2,981
財源内訳	国県支出金	848	915	1,118
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他	1,412	1,525	1,862
	一 般 財 源			

【 事業実績 】

実施内容	一次予防事業の対象者に、各介護予防事業を実施した。ミニデイサービス事業：毎週火曜日全49回実施。参加者数(実人数25名・延べ人数775名) 介護予防教室(おたっしや教室)：毎月第1・3木曜日全23回実施。参加者数(実人数52名・延べ人数665名) はつらつ体操教室：6月から翌3月にかけて第2・4水曜日全20回実施。参加者数(実人数28名・延べ人数302名) コバトンお達者倶楽部事業：カード配布数1339枚、回収数1712枚。
------	--

【 目標指標 】

1	指標	要介護認定を受けていない高齢者（65歳以上）の割合									
	最終目標値	89						単位	%		
	実績値			平成23年度	85.6	平成24年度	85.6	平成25年度	85.3	平成26年度	84.6
	達成度	%		96	%	96	%	96	%	95	%
2	指標	介護予防事業への参加率									
	最終目標値	15						単位	%		
	実績値			平成23年度	5.6	平成24年度	4.6	平成25年度	4.4	平成26年度	4.7
	達成度	%		37	%	31	%	29	%	31	%
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	事業の運営は、一部を委託、一部を直営の地域包括支援センターが実施。経費・効果ともに妥当と考える。二次予防事業終了者の一部は、一次予防事業へ移行し、続けて参加しているが、参加できる事業の受け入れ体制等限界があり、介護予防事業自体の方法や内容等検討が必要
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	介護保険事業計画に基づいて実施。事業参加者へは介護予防の普及ができたと考える。事業の一部が、年度途中からの実施で、年度当初から実施できるようスケジュールの検討は必要。また通年で参加できる事業展開を検討していく必要があり、地域内で気軽に参加できる事業の
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	事業の一部は、送迎対応を行っていないため、事業への参加ができない方もいる。また、実施会場や人員等体制の限界により、希望があっても受け入れられない方もいるため、実施方法や地域内で気軽に参加できる会場の設定など、事業内容の検討が必要。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		15／18点		

【 総合評価 】 評価者： 大場 紀彦

今後の方針		拡大
総合評価	一部の事業では参加者希望者が増えており調整をしている状態なので、事業を拡大し実施していく必要がある。そのためには事業に従事するスタッフの充実を図る必要がある。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

保育所維持管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①障がい者（児）福祉の充実					
何のために （目的・課題）	保護者から日々委託を受けて、保育に欠ける乳児又は幼児を保育するための管理運営					
誰・何を （対象）	横瀬町保育所入所児童（0歳児から就学前）定員90名					
どんなことを ・どのように （内容）	児童の保護者が家庭内外の仕事や、母親の出産、病気、負傷、心身の障害等で保育ができない場合、生後8ヶ月から就学前の児童を午前8時30分から午後4時30分まで（時間延長で午前8時から午後6時まで）を保育士が保育し、子育て支援をする。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費	10,995	14,288	19,263
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担	9,381	9,668
	そ の 他	1,614	45
	一 般 財 源	3,283	6,176

【 事業実績 】

実施内容	保育を必要としている乳児及び幼児を保育所において保育を実施した。また、今年度から午前中しか行っていなかった土曜日の保育を午後まで延長し保育を実施した。なお、年間開所日数は293日であった。 ○季節の行事：夏祭り、七夕、運動会、お遊戯会、クリスマス会、節分、ひな祭り ○毎月の行事：誕生日会、お話し会、避難訓練 ○その他：食育、内科検診（年2回）、歯科検診（年1回）
------	--

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度		平成26年度	12,395
	達成度	%		77	%	77	%	0	%	78	%
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度		平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	0	%	86	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	入所児童のために適切に事業運営を行っている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	子育て家庭にとって、なくてはならない施設であり、乳児からの保育を必要とする家庭が増えてきている。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	ひとり親家庭、また、様々な問題を抱えた家庭が急増しているため、必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	保育所は保護者が就労や病気等の理由により、児童を家庭において保育できない時に、法に基づき保護者に代わって保育することを目的とした施設であり、子育て家庭にとってなくてはならない重要な施設である。今後も利用者の利便性を図る上でも必要な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

管外保育等運営支援事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		改善	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①障がい者（児）福祉の充実					
何のために （目的・課題）	保護者の都合により、横瀬町保育所以外の保育所を希望する場合、秩父市をはじめとして管外の保育所・保育園・家庭保育室等へ委託することにより、通勤等の制約を受ける保護者の利便性を図るため。					
誰・何を （対象）	0歳児から就学前までの管外保育を必要とする児童					
どんなことを ・どのように （内容）	管外保育事業は、町保育所以外を希望する場合に、管外の施設へ委託し運営費を支出する。 家庭保育室事業は、保護者の都合により乳幼児が家庭保育室を利用した場合に運営費を支出する。保育に欠ける幼児を私立幼稚園で保育を行う場合に運営費を補助する。					

【 事業費等 】

（単位：千円）

区分	平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費	26,927	26,141	34,104
財源内訳	国県支出金	14,067	15,900
	地 方 債		
	受益者負担	4,068	3,016
	そ の 他		
一般財源	8,792	7,224	10,325

【 事業実績 】

実施内容	①管外保育事業 公立保育所3施設、延べ40人委託（2,095,530円） 私立保育園8施設、延べ246人委託（19,681,150円） 合計：11施設 延べ286人委託（21,776,680円）②特別保育事業 私立保育園3施設、延べ47人委託（940,000円）③幼稚園 預かり保育支援事業費補助金 2施設（10,981,000円）④認定こども園事業補助金 2施設（407,000円）
------	---

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395
	達成度	%		77	%	77	%	88	%	78	%
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	89	%	86	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	委託料については、国の基準により適切に支出している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	入所に当たっては、管外保育の必要性を確認し、委託市町へ協議して入所している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	共稼ぎ世帯の増加に伴い、保育に欠ける子どもの増加がみられる。保護者の利便性を考えると、必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	保護者が共働きで、その勤務地が町外にあること等の理由により、管外の保育所を希望する保護者の為、管外保育所に対し運営費を支出している。利用者の利便性を図るためにも必要な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

一時保育事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策		①障がい者（児）福祉の充実				
何のために （目的・課題）	一時的な保育需要に対応することによって保護者の利便性を図るため。					
誰・何を （対象）	1歳児から就学前までの児童					
どんなことを ・どのように （内容）	保護者の就労・看護等で家庭における保育が困難となる場合、また、保護者の傷病・入院・冠婚葬祭などで家庭における保育が緊急・一時的に困難になる場合に、保護者の育児に伴う心理的・肉体的負担を解消するため、1歳児から就学前までの児童の一時保育を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費		1,044	1,030	1,069
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担		16	36
	その他			
	一般財源	1,044	1,014	1,033

【 事業実績 】

実施内容	○年間利用者数 延べ18名（前年度延べ8名）○利用内訳：①保護者の就労等13名 ②緊急保育サービス5名 ③リフレッシュサービス0名 ○月別利用者内訳：5月1人・6月1人・7月1人・2月4人・3月11人
------	--

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395
	達成度	%		77	%	77	%	88	%	78	%
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	89	%	86	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	通常保育の入所児童と一体的に一時預かりを実施できたことにより、経費面においても効率的な運営が図れた。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	4／6点	園庭開放は主に、保育所非常勤職員 1 名が行い土曜日保育の子どもたちと一緒に活動できたが、同一利用者が目立つ。また、今後の担当者について検討する必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	4／6点	相談業務は常に必要だが、園庭開放については、支援事業の一元化が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		14／18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	一時的に家庭での保育が困難になった場合の受け皿として、保育所において保育を実施している。実績は少ないが、子育て家庭の手助けとなっている事業である。各自治体に一ヶ所は受入施設が必要であり、今後も継続して事業を実施する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

児童館管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策		①幼児教育の充実 ②青少年の健全育成				
何のために (目的・課題)	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情緒を豊かにするとともに、安心して安全な居場所の提供を目的とする。					
誰・何を (対象)	幼児(保護者同伴)から18歳までの児童 1,634人					
どんなことを ・どのように (内容)	利用時間は、幼児(保護者同伴)は午前9時から正午(月～金曜)午後1時から午後3時(火・木・金曜日のみ)。小学生は午後1時から午後5時(月～金曜日)。季節の行事や親子ふれあい遊び、紙芝居、うた、体操や工作教室、おはなし会などの事業を実施する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	2,932	4,411	3,623
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他	56	48
	一 般 財 源	2,876	4,363

【 事業実績 】

実施内容	・ 幼児、小学生対象事業(季節の行事、工作教室、よいこの運動会、お別れ会発表会など)を実施。 ・ 「児童館まつり」実施—模擬店(やきそば、かき氷など)や、ゲームコーナー(お魚つり、型抜きなど)を実施し、盛況であった。 ・ 年間開所日数241日 年間延べ利用者数12,395人 児童館総事業回数76回
------	---

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900						単位	人		
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395
	達成度	%		77	%	77	%	0	%	78	%
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230						単位	人		
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	89	%	86	%
3	指標	児童館年間利用者数（就学前児童）									
	最終目標値	4,000						単位	人		
	実績値			平成23年度	2,945	平成24年度	2,752	平成25年度	3,372	平成26年度	2,459
	達成度	%		74	%	69	%	84	%	61	%
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6／6点	リトルラビット等と連携し、効果的に事業を行った。	
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切			
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切			
妥当性	諸計画との整合性はあるか	1点：概ね適切	5／6点	対象者が減少し、利用者も減少しつつある。町全体の子育て支援事業の運営方法を検討する必要がある。	
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切			
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切			
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6／6点	子育てを地域で支援すること、遊び場を提供することは、ニーズも高く、今後必要である。	
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切			
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切			
総 合 点 数		17／18点			

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	児童館は子育て支援の拠点として児童に健全な遊びの場を提供し、健康の増進、情操を豊にすることを目的とした施設で、その目的に沿い、幼児・小学生対象とした事業を実施している。今後も引き続き利用者のニーズにあわせた事業を実施する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

地域子育て支援拠点事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①幼児教育の充実					
何のために (目的・課題)	幼児の利用時間を延長し、幼児と保護者が安心して集える場を提供し、児童及び保護者がお互いに交流を図ることができるよう援助し、小さい子供を持つ親を応援する。					
誰・何を (対象)	概ね3歳未満の幼児と保護者					
どんなことを ・どのように (内容)	毎週火・木・金曜日、午前9時から午後3時まで児童館内でかわせみひろばを実施。子育てに関する講習会、相談事業や子育て情報の提供をするとともに、親子のふれあい遊びや工作教室、運動あそびなどを実施し、子育て中の親子が気軽に集まり交流する場を提供する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,577	1,388	1,280
財源内訳	国県支出金	1,542	677	928
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他	3	33	27
	一 般 財 源	32	678	324

【 事業実績 】

実施内容	・かわせみひろば－毎週火・木・金曜日の午前9時～午後3時まで開設 年間総開所日数148日、延べ利用者4,440人、事業回数39回 ・事業－（幼児）さくらの森、どんぐりの森、パンプーの森を月1回実施、その外おたんじょう会等。 （ママ）ベビーヨガ、リトミック、ママのためのヨガ等
------	---

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数									
	最終目標値	15,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	12,167	平成24年度	12,190	平成25年度	14,020	平成26年度	12,395
	達成度	%		77	%	77	%	0	%	78	%
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	89	%	86	%
3	指標	児童館年間利用者数(就学前児童)									
	最終目標値	4,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	2,945	平成24年度	2,752	平成25年度	3,372	平成26年度	2,459
	達成度	%		74	%	69	%	84	%	61	%
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評価基準		担当者評価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6／6点	児童館事業と連携し、合同で事業を実施した。利用者が参加しやすく、また経費も効果的に実施した。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6／6点	居心地のよい交流の場を提供することを目指し、魅力ある事業に取り組んでいる。安心して子育てができる交流の場、相談できる場としての体制づくりが必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6／6点	核家族化が進む中、就園前の子育て支援の場として、地域で子育てを支え合う場としての事業の充実が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総合点数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	安心して子育てができるよう、児童館や町有施設を拠点とした各種事業を実施し子育てを支援している。今後も利用者のニーズに沿った事業を実施する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

出張ひろば「メープルの森」運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策	①幼児教育の充実					
何のために (目的・課題)	子育て中の親子が安心して集い、お互いに交流を図ることのできる居場所を提供するとともに、年齢にあったあそびを提供したり、講習会の実施や子育て相談等を行い、子育てを支援する。					
誰・何を (対象)	概ね3歳未満の幼児と保護者					
どんなことを ・どのように (内容)	毎週月曜日の午前10時から午後3時まで、旧芦ヶ久保小学校「仲良しルーム」において実施。自由あそびや参加者同士の交流のほか、工作教室、うたや体操の指導など、楽しいあそびを提供する。また、昼食をとる時間を設けるなど、ゆっくりくつろげる居場所づくりに努める。(平成22年度より実施)					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	464	447	502
財源内訳	国県支出金	214	398
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他	19	21
	一 般 財 源	213	83

【 事業実績 】

実施内容	・毎月月曜日、旧芦ヶ久保小学校2階仲良しルームを利用して、出張ひろば「メープルの森」を開設 ・季節ごとの工作、親子で遊べる行事を中心に実施。 ・年間総開所日数43日、延べ利用者790人、事業回数27回
------	--

【 目標指標 】

1	指標	児童館年間利用者数（就学前児童）									
	最終目標値	4,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	2,945	平成24年度	2,752	平成25年度	3,372	平成26年度	2,459
	達成度	%		74	%	69	%	84	%	61	%
2	指標	こども医療費受給対象者数									
	最終目標値	1,230							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,160	平成24年度	1,119	平成25年度	1,090	平成26年度	1,060
	達成度	%		94	%	91	%	89	%	86	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	事業の周知と利用者の増加をねらい、他の子育て支援事業と連携を図り実施。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	かわせみひろば（児童館内）を拠点として事業を拡大し、子育て親子が集える場を確保できた。多くの方に利用してもらえるよう、子育て支援、相談体制の充実が必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	魅力ある事業を継続するために、定期的にニーズを把握し事業を実施する。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	子育て中の親子への支援として、旧芦ヶ久保小学校2階仲良しルームを利用し、出張ひろば「メープルの森」を開設。主に親子で遊べる事業等を実施した。子育て中の親子への支援事業として今後も継続が必要な事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

学童保育室運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	健康づくり課
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	4 青少年の健全育成					
その他の関連する施策		①子育て支援の推進				
何のために (目的・課題)	共働きやひとり親世帯の保護者が安心して働くための支援や子どもたちが安心して生活できる居場所づくりをし、児童の健全育成を図る。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	平日の放課後から午後6時30分、学校休業日の午前8時から午後6時30分の間、学童保育室において共働きやひとり親家庭等により保育に欠ける小学1～3年生の児童を対象として保護者に替わり児童指導員が保育を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	5,433	5,302	5,745
財源内訳	国県支出金	2,011	2,034
	地 方 債		
	受益者負担	1,873	2,076
	そ の 他		
	一 般 財 源	1,418	1,635

【 事業実績 】

実施内容	・ 平日の放課後から午後6時30分、土曜日、学校休業日は午前7時30分から午後6時30分まで開設 対象学年小学1～3年生 定員30名 年間開設日数 289日 ・ おやつ、宿題の指導、などの保育 ・ 壁面製作、おはなし会、避難訓練、お誕生会、遠足などの事業を実施
------	--

【 目標指標 】

1	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点 児童館と併設しているため、小学生の事業を児童館事業と連携し実施することが多い。多くは非常勤職員が、保育が必要な時間にシフトを組み交替で勤務している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点 児童が放課後や夏休み等の休業日等に生活する場として、安全安心な保育を最優先し事業を実施した。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点 現在、待機児童はなし。核家族化、保護者の就労等により昼間留守になる家庭が多いため、今後も必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切	
総 合 点 数		18／18点	

【 総合評価 】 評価者： 小泉 明彦

今後の方針	現状維持
総合評価	保護者の就労等により、平日の放課後や学校休業日において、児童の遊びの場・生活の場としての学童保育室を開設した。子育て支援のため重要な事業である。今後も保護者にニーズが高まる中、放課後子ども教室との連携が重要となる。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

不法投棄防止事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	1 地域環境づくりの推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町内における不法投棄を防止することにより、地域環境の保全を行い、町民には住みやすい町、来訪者には繰り返し訪れたい町の実現をめざす。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	町民クリーンパトロール員による不法投棄防止意識の普及・啓発。また、不法投棄防止パトロール及びごみの撤去、処分。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	2,627	375	348
財源内訳	国県支出金	2,478	
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	149	375
			348

【 事業実績 】

実施内容	・町民クリーンパトロール員、シルバー人材センターによる不法投棄監視パトロール及び清掃活動を実施した。 平成26年度町民クリーンパトロール員のパトロール日数 365日 パトロール員保険料115,761円 シルバー人材センター委託料 195,973円 不法投棄看板用支柱 36,612円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	巡回パトロールの稼働日数（累計）									
	最終目標値	250						単位	日		
	実績値			平成23年度	361	平成24年度	364	平成25年度	363	平成26年度	365
	達成度	%		144	%	147	%	145	%	100	%
2	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	不法投棄の抑止として、クリーンパトロール員及びシルバー人材センターの巡回は有効である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	不法投棄防止のために継続したパトロール活動は必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	従前に比べ不法投棄は減少しているものの、依然として道路への空き缶等の投げ捨て等が後を絶たないことから、継続したパトロール活動は必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	現状維持
総合評価	不法投棄の監視や清掃活動の実施により、不法投棄回収量は年々減少してきた。今後も、クリーンパトロール員の増員、看板の設置、広報による周知など、引き続き不法投棄防止に努めることが必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

環境保全事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	2 自然環境づくりの推進					
その他の関連する施策		①自然環境づくりの推進 ②下水道の整備				
何のために (目的・課題)	町内の環境状態を把握し、得られたデータを統計的に活用するため。また、データをもとに、公害の未然防止を図るため。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	降下ばいじん（町内4地点で年12回）及び河川水質（7地点で年6回）の定点測定を実施する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,465	1,420	1,461
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,465	1,420	1,461

【 事業実績 】

実施内容	町内の環境保全のため環境調査を実施した。調査委託料 1,461,240円 ・降下ばいじん調査：町内4地点で毎月1回(年12回)実施した。 ・河川水質測定：町内7地点で隔月(年6回)実施した。河川の汚染度を示すBOD値の年間平均値の測定結果は1.1mg/lで、横瀬川最下流地点では目標指数に達していないが、環境基準値2.0mg/l以内となっている。
------	---

【 目標指標 】

指標		水質環境基準の達成（横瀬川町内最下流地点におけるBOD（生物化学的酸素要求量））									
1	最終目標値	0.75								単位	mg/l
	実績値			平成23年度	1.05	平成24年度	1.18	平成25年度	1.1	平成26年度	1.1
	達成度	%		71	%	64	%	68	%	68	%
	達成度	%		71	%	64	%	68	%	68	%
2	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	複数の事業者から見積もりを徴し、経費節減に努めた。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	環境保全の観点から、長期的なデータの蓄積が必要となるため、事業実施は妥当と考える。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	環境指標として、住民生活に直結するデータと考えられるため、その測定、蓄積の必要性は高いと考える。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	現状維持
総合評価	環境保全の観点から長期的なデータの蓄積が必要であり、安心して住民生活を送るための指標となるため、引き続き測定をし、監視する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

有価物回収事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	3 地球温暖化対策の推進					
その他の関連する施策		①地球温暖化対策の推進 ②青少年の健全育成				
何のために (目的・課題)	ごみの減量化及び資源の有効利用を図り、省資源、省エネルギー対策を推進するため。					
誰・何を (対象)	地域住民団体、こども育成会、自治会等					
どんなことを ・どのように (内容)	地域住民団体が行う有価物の集団回収に対して、有価物の回収量に応じ報償金（5円/kg）を実施団体等に支給する。 。（平成21年7月より回収業者への助成金は廃止）					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,009	855	982
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,009	855	982

【 事業実績 】

実施内容	各地区の子ども育成会が、年19回有価物の回収を実施した。回収量：196,520kg、982,600円。
------	---

【 目標指標 】

1	指標	ごみの排出量（１人１日あたり）										
	最終目標値	705							単位	g		
	実績値			平成23年度	739	平成24年度	739	平成25年度	730	平成26年度	818	
	達成度	%		95	%	95	%	97	%	86	%	
2	指標											
	最終目標値								単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値								単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値								単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値								単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	幼少期よりごみへの関心を高め、ごみの減量化に繋げていくのに必要である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	ごみへの減量化及び資源の有効活用のために必要な事業と考える。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	ごみの減量化、環境保全を推進していくのに必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針		現状維持
総合評価	「ゴミは資源となり、リサイクルできる」ことを認識することは、大変重要なことと考える。幼少の頃よりゴミへの関心を高め、分別収集など習慣させる事が必要と思われる。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

中山間地域等直接支払交付金事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	当該交付金によって、適正な農業生産活動等が維持されることにより、耕作放棄の発生を防止し、国土の保全、水源のかん養、良好な景観形成等の多面的機能の確保を図るため。					
誰・何を (対象)	集落協定締結農家					
どんなことを ・どのように (内容)	町内6集落が協定締結内容に従い実施する農地保全活動、耕作放棄地発生防止活動等に必要な交付金の支払いを行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		4,231	4,509	4,511
財源内訳	国県支出金	3,172	3,382	3,379
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,059	1,127	1,132

【 事業実績 】

実施内容	・ 寺坂集落協定 (30戸・37,142㎡) 623,985円 ・ 後田集落協定 (20戸・16,700㎡) 106,880円 ・ 芦ヶ久保集落協定 (58戸・191,121㎡) 2,197,891円 ・ 上芦ヶ久保集落協定 (41戸・69,155㎡) 751,434円 ・ 姿集落協定 (48戸・68,255㎡) 546,040円 ・ 合耕地集落協定 (21戸・34,938㎡) 279,504円 ・ 水道施設整備に係る収用により上芦ヶ久保集落協定において過年度返還金 (1件 2年度分 6,072円)
------	--

【 目標指標 】

指標		耕作放棄地面積										
1	最終目標値	16								単位	h a	
	実績値			平成23年度	32.2	平成24年度	26.1	平成25年度	22.2	平成26年度	22	
	達成度	%		50	%	61	%	72	%	63	%	
	指標											
2	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
3	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
4	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											
5	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
	指標											

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	交付金総額に対し、町負担率は 1／4 であり、経費は必要最小限なものである。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	交付金の利用に関し、自由度が高く、また、将来に向け積立もできるため、長期的な効果が十分期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	優良農地の確保といったことから、将来的にも当該制度の必要性は高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針		現状維持
総合評価	農業を取り巻く環境は、年々厳しい状態となっており、集落全体で耕作放棄地の発生防止など農地保全活動に取り組むことが重要である。現在6地区で協定を締結しているが、農地の保全管理がなされ、景観も良くなることなどから多くの集落で実施することを望むものである。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

農業振興推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	農業従事者の高齢化、担い手不足の課題の解消に努め、農業の振興を図るため。					
誰・何を (対象)	農業従事者					
どんなことを ・どのように (内容)	町農業行政の振興を図る上で必要な消耗品の購入や、各種団体への補助金などの支出を行う。（平成26年度は、現在問題となっているマルバルコウ対策を実施する。）					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		732	648	513
財源内訳	国県支出金	45	102	114
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	687	546	399

【 事業実績 】

実施内容	・ 農業振興用事務用品（図面印刷用ロール紙等）購入費 142,400円 ・ カモ/アサギ 駆除等石灰購入費 2,750円 ・ 遊休農地活性化対策菜の花種子代 申込み15名 種子29kg 99,910円 ・ 寺坂棚田周辺老朽化看板の修繕費（杉板等修繕 4箇所） 67,500円 ・ 経営所得安定対策申請関係書類発送（対象者 90名） 21,000円 ・ ジュニア農業教室補助金（小学校 130,000円 中学校 50,000）
------	--

【 目標指標 】

1	指標	農産物販売農家数									
	最終目標値	85								単位	戸
	実績値			平成23年度	75	平成24年度	75	平成25年度	75	平成26年度	75
	達成度	%		88	%	88	%	88	%	88	%
2	指標	農業就業人口									
	最終目標値	156								単位	人
	実績値			平成23年度	113	平成24年度	113	平成25年度	113	平成26年度	113
	達成度	%		72	%	72	%	72	%	72	%
3	指標	耕作放置面積									
	最終目標値	16								単位	ha
	実績値			平成23年度	32.2	平成24年度	26.1	平成25年度	22.2	平成26年度	22
	達成度	%		50	%	61	%	72	%	63	%
4	指標	認定農業者数									
	最終目標値	20								単位	人
	実績値			平成23年度	16	平成24年度	16	平成25年度	16	平成26年度	11
	達成度	%		80	%	80	%	80	%	55	%
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	ジュニア農業教室など効果的な事業を必要最小限の経費で実施しており、その内容は適切なものである。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	就農促進青年交流活動ジュニア農業教室などはこれからの農業を担う若い世代を対象としており、長期的な効果が期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	3／6点	将来における農業後継者を育成することに寄与する事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1 点：概ね適切		
総 合 点 数		15／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	現状維持
総合評価	少子高齢化社会となり、農業従事者の高齢化、新規就農者の減少により農業者人口が急激に低下している。このような状況を少しでも解消するため、農業に親しむ機会を創出し、土に触れ、収穫の喜びを味わうことにより、担い手の育成につながる事が期待できるため、引き続き実施していきたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

都市農村交流支援事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	農業体験をとおして都市住民との交流活動を促進し、地域の活性化を図るため。					
誰・何を (対象)	都市住民・農業者					
どんなことを ・どのように (内容)	県内外で注目されている寺坂棚田学校の活動等を充実させるため、都市農村交流活動の促進を支援する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		100	1,100	1,007
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	100	1,100	1,007

【 事業実績 】

実施内容	・ 寺坂棚田保存会都市交流推進活動 907,785円 ホタルかがり火まつり 来場者数 6,500人 彼岸花まつり 来場者数 5,000人 ポスターチラシ作成費 ロウソク等消耗品費等 ・ 寺坂棚田学校都市交流推進活動 100,000円 棚田学校参加者 43名 指導員 24名 4/5開校式 5/24田植 9/13.20稲刈り 11/8収穫祭 他15日間活動
------	--

【 目標指標 】

1	指標	農業就業人口									
	最終目標値	156						単位	人		
	実績値			平成23年度	113	平成24年度	113	平成25年度	113	平成26年度	113
	達成度	%		72	%	72	%	72	%	72	%
2	指標	耕作放棄地面積									
	最終目標値	16						単位	h a		
	実績値			平成23年度	32.2	平成24年度	26.1	平成25年度	22.2	平成26年度	22
	達成度	%		50	%	61	%	72	%	63	%
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	補助金については十分な見直しを実施しており、経費は必要最小限なものである。また、棚田イベントを棚田保全団体である寺坂棚田保存会が中心となって実施したことによる費用対効果は大きく評価できる。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	当該都市交流活動は県内外的に評判も高く、組織活動も活発で、将来への更なる発展も十分に期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	当該事業は自主活動を助成するものだが、その活動は町の将来にとっても大変有益なものであり必要性は高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	現状維持
総合評価	寺坂棚田学校の参加者は、約3分の2がリピーターであり、人気度が非常に高いので、今後も継続したい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

農業団体助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の農業振興の中核を成す農業生産団体（5団体）等への活動を活性化させ、農業の振興を図るため。					
誰・何を (対象)	農業関係団体					
どんなことを ・どのように (内容)	あしがくぼ観光果樹組合、横瀬観光いちご組合、横瀬観光ぶどう組合、横瀬町茶業組合、埼玉北部農業共済組合への補助金の交付を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,602	684	591
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,602	684	591

【 事業実績 】

実施内容	・地域営農集団育成事業補助金（芦ヶ久保観光果樹組合を中心として活動）イチゴ、ブドウ、プラム、リンゴに係る生産推進活動 140,000円 ・観光いちご組合補助金 町内観光いちご組合活動推進費 パンフレット等作成 30,000円 ・横瀬観光ぶどう組合補助金 町内ぶどう組合活動推進費 30,000円 ・横瀬町茶業組合補助金 茶業組合活動推進費 130,000円 ・埼玉北部農業共済組合事業運営費補助金 261,000円
------	--

【 目標指標 】

指標		認定農業者数										
1	最終目標値	20								単位	人	
	実績値			平成23年度	16	平成24年度	16	平成25年度	16	平成26年度	11	
	達成度	%		80%		80%		80%		55%		
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1 点：概ね適切	5／6点	補助金については十分な見直しを実施しており、経費は必要最小限なものである。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	町農業の中核をなす各団体を助成することで、農業生産の長期的な効果が期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	町農業の継続的な発展を目指す上で、当該事業の必要性は高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		15／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	現状維持
総合評価	小規模で零細農家が多いため、栽培技術や販売方法等の研修、及び情報交換等組合組織で対応する事が必要であり、今後も継続し実施していきたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

有害鳥獣被害防止事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	1 農業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	近年増加し、深刻化している鳥獣による農作物への被害を防止するため。					
誰・何を (対象)	農地等耕作者					
どんなことを ・どのように (内容)	「追い払い」「電気柵の設置」「捕獲」を実施する。 ・サルに発信機を取り付け、無線遠隔測定法を使用した「追い払い」を行う。 ・電気柵等の設置に対して補助金を交付し、「電気柵の設置」を推進する。 ・有害鳥獣捕獲を武甲猟友会へ委託し、捕獲を実施する。 ・狩猟者登録をした有害鳥獣捕獲従事者に補助金を支出し、従事者を確保する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		3,097	1,949	2,656
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	3,097	1,949	2,656

【 事業実績 】

実施内容	近年増加し、深刻化しているサルをはじめとする有害鳥獣による農作物への被害を防止するために必要な対策を実施するもの。●経費：2,656,194円 「需用費」消耗品費567,206円 「役務費」手数料20,000円、火災等保険料19,480円 「委託料」一般委託料600,000円 「備品購入費」備品購入費299,808円 「負担金、補助及び交付金」補助金1,149,700円
------	---

【 目標指標 】

1	指標	農産物販売農家数									
	最終目標値	85							単位	戸	
	実績値			平成23年度	75	平成24年度	75	平成25年度	75	平成26年度	75
	達成度	%		88	%	88	%	0	%	88	%
2	指標	農業就業人口									
	最終目標値	156							単位	人	
	実績値			平成23年度	113	平成24年度	113	平成25年度	113	平成26年度	113
	達成度	%		72	%	72	%	0	%	72	%
3	指標	耕作放棄地面積									
	最終目標値	16							単位	h a	
	実績値			平成23年度	32.2	平成24年度	26.1	平成25年度	22.2	平成26年度	22
	達成度	%		50	%	61	%	72	%	63	%
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	有効な対策として「追い払い」「電気柵」「捕獲」等を必要最低限の経費で実施しているため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	電気柵設置の推進（平成24年度から）により、サルの行動域が変化してきており、今後の効果が期待できるため、妥当性は適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	対策は継続して実施しなければ効果は期待できないため、「横瀬町鳥獣被害防止計画」をもとに継続的に実施する必要があると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	現状維持
総合評価	鳥獣被害は年々増加しているが、抜本的な対策がないのが現状である。しかし、行動調査や追い払い、捕獲などの基本的な防止対策を実施してきた。特に猿用電気柵を設置した箇所においては、被害が出ていないのが現状である。今後も、行動調査や追い払い、捕獲、電気柵の設置など継続して実施したい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

森林組合運営費補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	2 林業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町内森林管理作業等を円滑に実施するため。					
誰・何を (対象)	森林組合員 323人					
どんなことを ・どのように (内容)	森林組合に対し、運営費として補助金を交付する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,050	1,050	500
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,050	1,050	500

【 事業実績 】

実施内容	横瀬町森林組合の活動・運営に対して補助金を交付するもの。 ●経費：500,000円 「負担金、補助及び交付金」補助金500,000円
------	---

【 目標指標 】

1	指標	森林施業計画対象森林所有者数									
	最終目標値	50							単位	人	
	実績値			平成23年度	60	平成24年度	61	平成25年度	56	平成26年度	22
	達成度	%		120	%	122	%	112	%	44	%
2	指標	森林施業面積（累計）									
	最終目標値	375							単位	h a	
	実績値			平成23年度	257	平成24年度	289	平成25年度	348	平成26年度	302
	達成度	%		66	%	77	%	93	%	81	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	必要最小限の経費で補助金を交付したため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	当事業により森林組合の運営に資しているため、妥当性は適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	森林組合の存続は、町にとって重要であるため、当事業は必要であると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	廃止
総合評価	平成27年4月1日に広域森林組合へ合併

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

地域活性化対策事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	3 商工業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	商工業者の意識の高揚と人材育成を推進するとともに、町内商業者団体の実施する事業を支援することにより、地域の活性化を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	町商業連盟と共催で行う地域活性化セミナーの開催や優良従業員の表彰を行う。また、商業連盟による地元商業活性化対策事業の実施に対し、補助金を交付する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,450	1,600	1,500
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,450	1,600	1,500

【 事業実績 】

実施内容	・地域活性化セミナーの開催 テーマ「～後世に誇れるちちぶを創る～マルチ産業化・地域力を高めよう」 講師：埼玉県秩父地域振興センター副所長 柿間淳氏 参加者数42名 ・地元商業活性化対策事業「元気を当てようキャンペーン」に対し補助金を交付 (1,500,000円)
------	---

【 目標指標 】

1	指標	小規模事業者登録者利用件数									
	最終目標値	100						単位	件		
	実績値			平成23年度	30	平成24年度	25	平成25年度	78	平成26年度	100
	達成度	%		30	%	71	%	78	%	100	%
2	指標	地域活性化セミナー参加者数									
	最終目標値	35						単位	人		
	実績値			平成23年度	83	平成24年度	25	平成25年度	59	平成26年度	42
	達成度	%		237	%	71	%	168	%	120	%
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	町観光・産業振興協会との連携により、経済的・効率的に事業が実施できた。 地域活性化セミナーについては、現在の予算では講師の質に限界があるため、関係団体と共催するなどして質の向上を図りたい。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	「元気を当てようキャンペーン」は、町内の購買意欲の高揚、よこぜまつりの来場者数増加に寄与しているが、今後は若手事業者・後継者を中心に新たな活性化事業を展開していくことが望ましい。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	地元商工団体の積極的な活動を推進・支援していくことが、地域の活性化には必須である。 セミナーの開催は、事業者や住民に対し、経営改善のヒントを得る機会や自己啓発の機会を与えるには有効な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	一部改善
総合評価	優良従業員表彰は働く意欲の高揚に必要である。地域活性化セミナーは、テーマや日程により参加者数の増減はあるが、参加者の評判は良いので、開催方法や宣伝方法等工夫し引き続き実施していきたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

農村公園管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策		①農業の振興 ②居住環境の整備				
何のために (目的・課題)	地域住民の生活向上及び観光客の誘客対策、地域農業の振興を図るため。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	農村公園の維持管理業務（清掃業務、遊具点検、施設修繕、用地賃借料等）を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,038	1,044	965
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,038	1,044	965

【 事業実績 】

実施内容	地域住民の生活向上及び地域農業の振興を図る活動拠点として設置されている横瀬町農村公園の維持管理を実施するもの。 ●経費：965,781円 「需用費」消耗品費696円、光熱水費30,291円、修繕料139,320円 「委託料」施設管理等委託料112,614円 「使用料及び賃借料」賃借料682,860円
------	---

【 目標指標 】

1	指標	町年間観光入込客数									
	最終目標値	665,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	634,600	平成24年度	634,600	平成25年度	660,000	平成26年度	647,000
	達成度	%		95%		95%		99%		97%	
2	指標	観光協会ホームページの年間アクセス数									
	最終目標値	150,000							単位	件	
	実績値			平成23年度	142,485	平成24年度	146,836	平成25年度	130,328	平成26年度	184,911
	達成度	%		95%		98%		87%		123%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	簡易な作業は担当が行うことで経費の節減に努めているため、経済性は適切であると考えます。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	近年、周辺の山に登山する観光客が増え、その中継地点となっており、今後も重要な拠点になると考えられるため、妥当性は適切であると考えます。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	地元住民が来て遊ぶ施設として十分かどうか判断は難しいが、登山客等の休息地点や、少し立ち寄ってみたいという観光客には自然に囲まれた当該公園は必要であると考えます。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	一部改善
総合評価	近年の登山ブームにより、芦ヶ久保駅の周辺は登山客やハイカーの往来が非常に多くなってきており、農村公園はその中継地点として重要性が増してきている。 今後も適切な管理を実施し、財政負担が少ない施設としたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

地域振興拠点施設管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策		①農業の振興				
何のために (目的・課題)	地域振興拠点施設の一層の整備・充実を図るため。					
誰・何を (対象)	道の駅					
どんなことを ・どのように (内容)	地域振興拠点施設の老朽化等に伴い、必要な箇所の修繕や新たな交流促進を図る施設整備を行う。また、今後の施設整備を計画的に行うため、将来に向け、基金の積立を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		29,159	14,154	8,862
財源内訳	国県支出金	13,561	1,123	
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他	2,810	2,810	7,804
	一 般 財 源	12,788	10,221	1,058

【 事業実績 】

実施内容	・施設修繕（浄化槽原水ポンプ交換、陶芸体験施設塗装修繕、農産物加工場丸太フェンス交換、親水交流広場舗装修繕）1,137,480円 ・側溝敷設（レインリター25m設置）1,069,200円 ・周辺舗装工事 1,047,600円 ・食堂カウンター設置工事 313,200円 ・販売促進施設LED交換工事 213,840円 ・施設用備品購入費（オープンショークース1台、ミキサー1台、デューアルタイプフリーザー1台）2,271,672円 ・地域振興拠点施設整備基金積立金 2,810,000円
------	---

【 目標指標 】

1	指標	町年間観光入込客数									
	最終目標値	665,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	634,600	平成24年度	634,600	平成25年度	660,000	平成26年度	647,000
	達成度	%		95%		95%		99%		97%	
2	指標	観光協会ホームページの年間アクセス数									
	最終目標値	150,000							単位	件	
	実績値			平成23年度	142,485	平成24年度	146,836	平成25年度	130,328	平成26年度	184,911
	達成度	%		95%		98%		87%		123%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1 点：概ね適切	3／6点	施設の適正な維持管理を図るもので必要不可欠なもの。 適正な見積り取得により経費をできるだけ抑えている。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	1 点：概ね適切	5／6点	適正な施設の保守点検を実施していることにより、施設の 大きな損傷を防いでいる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	将来的な施設の損傷を必要最小限にするため、適正な修繕 を実施しており、その必要性は高い。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		13／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	現状維持
総合評価	道の駅はオープン以来10年が経過し、修繕箇所も増加し、施設設備全体が老朽化してきている。施設の外壁等の美観の保全や厨房備品等の修繕等を計画的に進める一方で、突発的な修繕も発生しており対応に追われている。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

よこぜまつり補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策	①文化財の保護・継承 ②町民交流の推進					
何のために (目的・課題)	横瀬町のPR、商業・文化の振興並びに町民の福祉の増進を図るため。					
誰・何を (対象)	よこぜまつり実行委員会					
どんなことを ・どのように (内容)	よこぜまつり実行委員会に対し補助金を交付する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		2,000	2,000	1,811
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	2,000	2,000	1,811

【 事業実績 】

実施内容	●よこぜまつり実行委員会補助1,811,906円 第37回よこぜまつり：10,000人の来場 ステージ、キャラクターショー、フワフワ遊具 各種伝統文化芸能、各種地域団体等出展
------	--

【 目標指標 】

1	指標	町年間観光入込客数									
	最終目標値	665,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	634,600	平成24年度	634,600	平成25年度	660,000	平成26年度	647,000
	達成度	%		95%		95%		99%		97%	
2	指標	観光協会ホームページの年間アクセス数									
	最終目標値	150,000							単位	件	
	実績値			平成23年度	142,485	平成24年度	146,836	平成25年度	130,328	平成26年度	184,911
	達成度	%		95%		98%		87%		123%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	経費が掛からないイベント運営に努め、経費の節減が図れた。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	1 点：概ね適切	3／6点	観光客の増加に寄与するための「まつり」となるよう、長期的な視野で事業の見直しが必要である。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	3／6点	ニーズを的確にとらえ、長期的な視野で事業の見直しが必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1 点：概ね適切		
総 合 点 数		11／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	一部改善
総合評価	町の活性化のため必要な事業であり、経費を削減し、効果的なまつりとすることが必要である。常に創意工夫を凝らし盛り上げて実施して行くことが大事である。 屋外のイベントのため、天候に左右されることが多く、会場の設営、運営方法等教育委員会・町民会館とも連携し改善を図りたい。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

山の花道維持管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策		①居住環境の整備				
何のために (目的・課題)	観光客のニーズに対応した施設の充実を図るため。					
誰・何を (対象)	観光客					
どんなことを ・どのように (内容)	遊歩道の簡易修繕、草刈、清掃等。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,216	671	1,149
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	1,216	671	1,149

【 事業実績 】

実施内容	●草刈、ツルきり作業委託795,366円：51.5日分 ●ツツジ植え込み作業委託30,138円：26時間分 ●遊歩道修繕324,000円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	町年間観光入込客数									
	最終目標値	665,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	634,600	平成24年度	634,600	平成25年度	660,000	平成26年度	647,000
	達成度	%		95%		95%		99%		97%	
2	指標	観光協会ホームページの年間アクセス数									
	最終目標値	150,000							単位	件	
	実績値			平成23年度	142,485	平成24年度	146,836	平成25年度	130,328	平成26年度	184,911
	達成度	%		95%		98%		87%		123%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	必要最小限の費用で、経費の節減は図れた。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	1 点：概ね適切	4／6点	現在、遊歩道の老朽化が著しく、長期的な視野で事業の見直しが必要である。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	3／6点	観光客のニーズを的確にとらえ、長期的な視野で事業の見直しが必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1 点：概ね適切		
総 合 点 数		12／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	一部改善
総合評価	町の木「モミジ」の植栽を行うとともに、県民の森、西武鉄道とも連携を図り誘客を図る。なお、遊歩道も大部分が老朽化しており、補修には相当の費用がかかるものと思われる。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

横瀬町観光協会運営費補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	4 観光の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	観光振興を促進するため。					
誰・何を (対象)	横瀬町観光協会					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬町観光協会に対し運営費の一部を助成する。 なお、H24以降は町の観光WEBサイトに移行により、観光協会の管理運営費分を減額した。 また、H25は、より一層効果的な事業が展開できるよう、観光協会の運営方法を検討している。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		650	5,400	6,000
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	650	5,400	6,000

【 事業実績 】

実施内容	横瀬町観光・産業振興協会（年度途中で名称変更）に対し、補助を行った。
------	------------------------------------

【 目標指標 】

1	指標	町年間観光入込客数									
	最終目標値	665,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	634,600	平成24年度	634,600	平成25年度	660,000	平成26年度	647,000
	達成度	%		95%		95%		99%		97%	
2	指標	観光協会ホームページの年間アクセス数									
	最終目標値	150,000							単位	件	
	実績値			平成23年度	142,485	平成24年度	146,836	平成25年度	130,328	平成26年度	184,911
	達成度	%		95%		98%		87%		123%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	ブコーさん観光案内所の運営も含め、必要最小限の経費で効果的な運営が図られた。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	観光客への情報発信、誘客事業など、長期的な視点で協会運営が図られた。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	観光客と接する案内所を運営することで、ニーズを的確にとらえた事業実施ができた。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	拡大
総合評価	協会と行政の役割を明確化することの目的及び観光案内の充実のため、ブコーさん観光案内所を開設し、協会の事務局を移転した。観光事業の充実、リピーターの確保のため引き続き実施していきたい。横瀬町観光・産業振興協会と名称を変更した。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

労働対策事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	5 労働環境の充実					
その他の関連する施策		①商工業の振興				
何のために (目的・課題)	勤労者が意欲を持って就労できる環境づくりと雇用機会の確保・拡大を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	労働者への住宅資金貸付や、就業支援・処遇改善に関する情報提供を行う。また、雇用促進事業を実施する団体への助成並びに秩父地区メーデーへの助成を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		401	398	393
財源内訳	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	401	398	393

【 事業実績 】

実施内容	・40歳以上対象就職支援セミナー、全年齢対象就職支援セミナーを秩父市と共催 ・求人情報の提供、就職相談・就職説明会・就職面接会等の広報 ・秩父地域雇用対策協議会、県雇用開発協会への負担金並びに秩父地区メーデーの助成金 ・産業労働者住宅資金貸付制度 貸付残高2,740,513円 ・1市4町でちちぶ地域創業支援事業を実施
------	---

【 目標指標 】

1	指標	雇用促進などの啓発回数										
	最終目標値	20							単位	回		
	実績値			平成23年度	18	平成24年度	19	平成25年度	22	平成26年度	25	
	達成度	%		90	%	95	%	110	%	125	%	
2	指標											
	最終目標値								単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値								単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値								単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値								単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	団体への負担金、助成金については、活動内容・規模から見て必要最小限である。 雇用促進に繋げるため、町内事業者支援事業にて「中小企業経営基盤強化支援補助金」を創設し、既存企業の新たな取り組みを支援した。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	就業支援・雇用対策事業については、町単独で事業を実施するよりも、秩父地域全体で広域的に事業展開していくべきである。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	秩父地域雇用対策協議会との事業連携や、1市4町共働による創業支援や企業誘致が今後ますます重要となる。 また、地方創生の観点から、若者の定住・就職を支援する体制を整えることが必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	現状維持
総合評価	労働者の雇用情勢は、大変厳しい状況にあり、企業経営革新承認企業に対し奨励金を交付するなど、企業の安定経営を図り、雇用の増加を図るための新たな対策が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

消費生活相談事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	振興課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	6 消費生活の安定・向上					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	健全な消費生活を支援するため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	住民からの被害相談に対応するため、消費生活相談窓口を秩父市に委託する。また、相談窓口の周知のほか、消費者トラブルに関する情報を掲示したりパンフレットを利用した啓発を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		125	124	127
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	125	124	127

【 事業実績 】

実施内容	- 消費生活相談窓口を秩父市に委託 - 消費生活トラブル事例等を庁舎内に掲示及び広報にて周知 - 消費生活相談件数 38件
------	---

【 目標指標 】

1	指標	消費生活関連の年間相談件数									
	最終目標値	30								単位	件
	実績値			平成23年度	15	平成24年度	21	平成25年度	18	平成26年度	38
	達成度	%		50	%	70	%	60	%	126	%
2	指標	消費者啓発回数									
	最終目標値	35								単位	回
	実績値			平成23年度	31	平成24年度	30	平成25年度	33	平成26年度	41
	達成度	%		89	%	86	%	94	%	117	%
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町の1市4町共同で秩父市に相談窓口を設置し、相談員の配置による人件費等の経費削減を図っている。 相談窓口設置市町村のみ活用できる消費者行政活性化基金も、秩父市が1市4町分まとめて申請・運用している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	相談員は専門的な知識が必要であること、また町の人口・相談件数を考慮すると、町単独では相談窓口を設けず、秩父市に相談業務を委託する現在の体制を保つべきである。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	消費者被害防止のため、引き続きトラブル事例の紹介と併せて相談窓口の周知に努めることが重要である。 また、高齢者の消費者被害防止のために、今後も福祉部門との連携を強化していくことが必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 高野 直政

今後の方針	現状維持
総合評価	消費生活相談は専門的な知識を有する相談員により相談窓口を開設しており、1市4町の共同相談窓口を設けることは、経済的・効率的である。今後も共同相談窓口で対応することが望ましい。また、秩父市で相談窓口を開設しているため、引き続き町民に対する啓蒙が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

住宅用太陽光発電システム設置費補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	3 地球温暖化対策の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	地球温暖化防止のため、省エネルギー対策に資するため。					
誰・何を (対象)	町内に自ら居住または居住予定の住宅					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬町に居住（又は居住予定）する住宅に住宅用太陽光発電システムを設置する者に補助金を交付する （太陽電池出力値1kw当たり2.5万円で、3kw7.5万円を限度）					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		4,844	2,250	1,493
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	4,844	2,250	1,493

【 事業実績 】

実施内容	●住宅用太陽光発電システムを設置する者に補助金を交付した。 【補助金交付件数】 20件 【交付件数内訳】 ・出力値3.0kw未満 1件 68千円 ・出力値3.0～4.0kw未満 3件 225千円 ・出力値4.0～5.0kw未満 9件 675千円 ・出力値5.0kw以上 7件 525千円
------	---

【 目標指標 】

指標		住宅用太陽光発電システムの補助件数（累計）									
1	最終目標値	135							単位	件	
	実績値			平成23年度	51	平成24年度	116	平成25年度	146	平成26年度	166
	達成度	%		38	%	86	%	108	%	123	%
	指標										
2	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
3	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
4	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
5	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点 補助金交付額および申請方法や審査などは適切に遂行されている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切	
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切	
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点 省エネルギー対策は、総合振興計画によって計画的に推進している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切	
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切	
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点 地球温暖化防止対策・省エネルギー対策の核として、積極的に推進すべき事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切	
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切	
総 合 点 数		18／18点	

【 総合評価 】 評価者： 町田 多

今後の方針		現状維持
総合評価	年度によって基数に差異はあるが、省エネ・クリーンエネルギー対策としての実施事業であり、身近に利用できるクリーンエネルギーとして需要が高まり、多くの住民に受け入れられている事業である。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

住宅等耐震診断・耐震改修補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	1 生活環境					
主な施策	4 防災・消防体制の充実					
その他の関連する施策		①居住環境の整備				
何のために (目的・課題)	新耐震基準に適合しない住宅等の耐震診断・耐震改修を促進し、安全な居住環境を整備するため。					
誰・何を (対象)	(主に昭和56年以前建築物)住宅等					
どんなことを ・どのように (内容)	対象建築物について耐震診断・耐震改修費の一部を補助する。 診断費5万円・改修費20万円を上限。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		483		
財源内訳	国県支出金	190		
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
一 般 財 源		293		

【 事業実績 】

実施内容	申請件数 0件
------	---------

【 目標指標 】

1	指標	町有特定建築物における耐震化率									
	最終目標値	100							単位	%	
	実績値			平成23年度	100	平成24年度	100	平成25年度	100	平成26年度	100
	達成度	%		100	%	100	%	100	%	100	%
2	指標	改修住宅棟数（累計）									
	最終目標値	250							単位	棟	
	実績値			平成23年度	11	平成24年度	17	平成25年度	17	平成26年度	17
	達成度	%		4	%	7	%	7	%	7	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	4／6点	補助額は耐震診断については費用の1/2で、5万円が限度、耐震改修は費用の1/3で、20万円を限度としている。経費は必要最小限である。また、住宅リフォーム補助事業と連携している。
	効率的な手段・方法であるか	0 点：不十分		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	横瀬町建築物耐震改修促進計画により事業を展開している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	4／6点	近い将来発生が予想される大地震に備え住宅の安全性を高めておく必要がある。 住民に対する啓蒙を継続する。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		14／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 多

今後の方針	現状維持
総合評価	近未来、発生が予想される大地震に備え、耐震基準に適合しない建築物に対して耐震診断・耐震改修の一部助成を行っている事業で、災害に強い町づくりを進める上で必要な事業である。しかし、老朽化した住宅等には比較的高齢の方が多く居住しており、将来的には空き家ないしは取り壊す可能性が高く、多額の費用を投じて改修を行わない傾向にある。今後は、一層の啓蒙活動に努める必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

横瀬町開発行為に関する指導要綱に基づく開発指導事務		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	1 計画的な土地利用の推進					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	無秩序な開発行為を防止し、良好な住環境の整備を図る。					
誰・何を (対象)	横瀬町において開発行為を行う者					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬町において開発行為を行おうとする事業主に、あらかじめ事業計画事前協議申出書を提出させ、事前協議しながら指導を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費				
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源			

【 事業実績 】

実施内容	●横瀬町開発行為の関する指導要綱に基づく開発申請 申請件数 1件
------	-------------------------------------

【 目標指標 】

	指標		優良開発行為の指導件数（累計）																		
1	最終目標値		10								単位		件								
	実績値				平成23年度	3		平成24年度	6		平成25年度	6		平成26年度	7						
	達成度				%		30		%		60		%		60		%		70		%
2	指標																				
	最終目標値										単位										
	実績値				平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度							
	達成度				%				%				%				%				
3	指標																				
	最終目標値										単位										
	実績値				平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度							
	達成度				%				%				%				%				
4	指標																				
	最終目標値										単位										
	実績値				平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度							
	達成度				%				%				%				%				
5	指標																				
	最終目標値										単位										
	実績値				平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度							
	達成度				%				%				%				%				

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	費用はかかっていない。 農地担当と調整を図り、無秩序な開発行為の防止が図れている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	開発行為の有無によるが、指導等を行うことにより、優良な宅地開発が期待できる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	乱開発を防ぐためにも、行政が関わることは必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 多

今後の方針	現状維持
総合評価	無秩序な開発行為を防止し、良好な住環境整備を推進する上で今後も必要不可欠な事務である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

道路新設改良事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	2 道路・交通網の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町道の安全性の向上及び住民生活の利便性向上に資するため。					
誰・何を (対象)	町道					
どんなことを ・どのように (内容)	整備の緊急性・必要性などを考慮した優先順位により、町道の新設・改良工事、歩道整備工事、舗装新設工事を行う。(工事に伴う測量調査設計委託、用地買収、物件補償含む。)					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		10,697	561	1,449
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債	4,300		
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	6,397	561	1,449

【 事業実績 】

実施内容	3158・3335号線舗装新設工事(姿池排水口付近)、3068号線舗装新設工事(字4番地内)を実施。他に新設改良事業(国庫事業含む)に伴う事務費等。 ・ 3158・3335号線舗装新設工事 83㎡ 365,040円 ・ 3068号線舗装新設工事 152㎡ 486,000円 ・ 需用費 254,461円 ・ 委託料 134,740円 ・ 補償金 209,300円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	町道改良済延長									
	最終目標値	65.7							単位	km	
	実績値			平成23年度	64.08	平成24年度	64.42	平成25年度	64.42	平成26年度	63.2
	達成度	%		98%		98%		98%		0%	
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	適切な設計をしており、経済的・効率的に妥当であった。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	計画に沿い事業が実施できた。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	5／6点	町への要望書を必要性、費用対効果などの点から評価し計画に反映している。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 多

今後の方針	現状維持
総合評価	交通危険箇所の解消や町民の利便性向上を目指し、今後も町道の改良、歩道整備、舗装新設等、事業推進を継続して図る必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

後退用地等整備事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	2 道路・交通網の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	狭隘道路の解消。					
誰・何を (対象)	後退用地					
どんなことを ・どのように (内容)	後退用地買収、物件補償。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		217	735	25
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	217	735	25

【 事業実績 】

実施内容	●建築行為に係る後退用地等整備要綱に基づく申請 1件
------	----------------------------

【 目標指標 】

1	指標	建築行為に係る後退用地等の整備件数（累計）										
	最終目標値	25								単位	件	
	実績値			平成23年度	2	平成24年度	3	平成25年度	5	平成26年度	6	
	達成度	%		8	%	12	%	20	%	24	%	
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	用地購入費は路線価格の1／2で購入しているため、適正な価格である。 用地購入費を路線価格の1／2としているため、適正な価格である。 将来的に狭隘な道路の解消につながる。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	建築基準法に基づくみなし道路の買収事業として、今後の道路整備事業の用地確保に効果がある。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	狭隘道路解消のため必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 多

今後の方針	現状維持
総合評価	建築基準法第42条第2項に基づく後退用地を確保する事により、将来的には狭隘道路の解消に繋がる事業である為、継続して推進を図る必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

ウォーターパーク・シラヤマ管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		改善	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	3 居住環境の整備					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	だれもが、いつでも安心・安全に利用できる身近な公園とするため。					
誰・何を (対象)	ウォーターパーク・シラヤマ					
どんなことを ・どのように (内容)	一部管理委託等維持管理全般を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,990	1,466	1,594
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,990	1,466	1,594

【 事業実績 】

実施内容	●ウォーターパーク・シラヤマの維持管理 【光熱水費】 305,657円 【施設管理委託料】 487,972円 【賃借料】 765,240円 【その他】 35,878円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	ウォーターパークシラヤマの年間利用者数									
	最終目標値	5,400							単位	人	
	実績値			平成23年度	4,900	平成24年度	5,703	平成25年度	5,755	平成26年度	6,200
	達成度	%		91	%	106	%	107	%	115	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	事業費は必要最小限にとどめられており、妥当であると思われる。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	子供や家族連れ世帯の利用も多く、憩いの場として住民の方々に利用されている。今後も適切な維持管理に努め、利用者の安全を確保してゆく。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	複合遊具および健康遊具の設置を行い、子供たちを中心に住民の方々に利用されている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 多

今後の方針	現状維持
総合評価	町民の誰もが、安心・安全に利用できる憩いの場としての身近な公園づくりに向け、引き続き施設整備等を進めて行く必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

住宅リフォーム補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		新規	建設課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	3 居住環境の整備					
その他の関連する施策		①商工業の振興				
何のために (目的・課題)	町民の定住を促進し、町内リフォーム業者を支援及び居住環境の改善を促進するため。					
誰・何を (対象)	リフォームを行う町民					
どんなことを ・どのように (内容)	町内業者が請け負う20万円以上のリフォーム改修費の10%を補助する。10万円を上限。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		600	453	400
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	600	453	400

【 事業実績 】

実施内容	●住宅のリフォーム工事した者に補助金を交付した。 【申請件数】 4件 400千円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	改修住宅棟数（累計）									
	最終目標値	250							単位	棟	
	実績値			平成23年度	11	平成24年度	17	平成25年度	22	平成26年度	26
	達成度	%		4	%	7	%	9	%	10	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	補助額は工事費の10/100とし、10万円を限度とし、経費は必要最小限である。また、耐震診断補助事業と連携している。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	町内業者の育成と耐震診断・改修を促進した。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	町内業者の支援、住環境整備の促進に貢献した。また、当初予算に対して、リフォームの要望が少なかった。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 多

今後の方針	現状維持
総合評価	町内のリフォーム業者の支援及び、居住環境の整備等に資する為に必要な事業であり、耐震診断・改修の促進にも繋がる事業である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

県営林道二子線用地測量買収事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	建設課
基本構想	5 産業・経済					
主な施策	2 林業の振興					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	森林資源を有効に活用することにより、地域の産業・経済の発展を促し、山村経済の活性化に資する森林管理道について、道路用地を明確にし適正な管理を行っていくため。					
誰・何を (対象)	土地所有者（延べ）109人					
どんなことを ・どのように (内容)	県事業の進捗に応じた境界測量委託、用地測量委託、用地買収。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,785	6,104	2,227
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,785	6,104	2,227

【 事業実績 】

実施内容	●森林管理道二子線用地買収 土地所有者 3名 買収面積 2.897㎡
------	--

【 目標指標 】

指標		森林施業面積（累計）									
1	最終目標値	375							単位	h a	
	実績値			平成23年度	257	平成24年度	289	平成25年度	302	平成26年度	302
	達成度	%		69	%	77	%	80	%	80	%
	達成度	%		69	%	77	%	80	%	80	%
指標											
2	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
	達成度	%			%		%		%		%
指標											
3	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
	達成度	%			%		%		%		%
指標											
4	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
	達成度	%			%		%		%		%
指標											
5	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1 点：概ね適切	3／6点	県事業の進捗に応じて、境界確認及び用地測量等を行っているため、経費は適切である。 今後は、現在休止中の県発注工事の進捗状況により事業を進めていく。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	1 点：概ね適切	5／6点	森林整備や木材の搬出等、森林管理道の整備が妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	山村経済の活性化のため必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		13／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 多

今後の方針		現状維持
総合評価	埼玉県森林管理道整備事業実施要領に基づき、町が用地測量・用地買収を担当し事業推進を図っている。現在は、県が事業を休止している状況であり、県の方針を踏まえながら事業展開を図る必要がある。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

水道整備事業（配水管布設工事等）		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	上下水道課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	4 上水道の整備					
その他の関連する施策						
何のために （目的・課題）	有収率の向上と地震等災害に強い水道管路をつくり給水体制のより一層の充実を図るため。					
誰・何を （対象）	給水区域内住民 8,700人					
どんなことを ・どのように （内容）	老朽管及び橋梁添架ヶ所の更新及び、配水管未整備地区に新設管の布設を行う。また、老朽化した各水道施設の更新・整備も行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 （実績）	平成25年度 （実績）	平成26年度 （実績）
総事業費		41,125	22,354	22,171
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	41,125	22,354	22,171

【 事業実績 】

実施内容	国道299号横断配水管布設替工事5,508,000円 町道3201・3203号線配水管布設替工事7,689,600円 町道9号線配水管小管布設替工事4,989,600円 町道3167号線配水管布設替工事2,624,400円 県道熊谷・小川・秩父線配水管布設替工事No.1 613,440円 県道熊谷・小川・秩父線配水管布設替工事No.2 746,280円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	有収率									
	最終目標値	87.5							単位	%	
	実績値			平成23年度	88.31	平成24年度	88.12	平成25年度	88.4	平成26年度	88.4
	達成度	%		101	%	0	%	103	%	101	%
2	指標	老朽管延長									
	最終目標値	2,096							単位	m	
	実績値			平成23年度	2,129	平成24年度	2,129	平成25年度	1,856	平成26年度	1,392
	達成度	%		98	%	98	%	88	%	151	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	施設の老朽化に伴う修繕と、国庫補助金を受けて中井浄水場築造工事を含めた第5期拡張工事を計画に基づいて実施した。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	施設全体の計画的な改良・更新等について秩父地域広域水道事業の中において、整備計画の策定等が必要となる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	住民の給水需要に対し、施設の建設・改良によって安定給水の確保に努力してきた。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針		廃止
総合評価		
	町民に対し、安心・安全な水道水を安定供給するために不可欠な事業であり、引き続き計画的な事業推進を図る必要がある。 なお、秩父地域水道広域化事業統合により平成28年4月から水道事業は秩父広域市町村圏組合に引き継がれる。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

排水設備工事助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	上下水道課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	5 下水道の整備					
その他の関連する施策		①地域環境づくりの推進 ②自然環境づくりの推進				
何のために (目的・課題)	水洗化促進を図るため。					
誰・何を (対象)	排水設備工事を実施した町民					
どんなことを ・どのように (内容)	下水道供用開始後、浄化槽から改造の場合は1年以内（汲み取りからの改造は3年以内）に下水道へ接続するための排水設備工事を行う者に対し、助成金を交付する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,170	850	1,250
財源内訳	国県支出金			300
	地方債			
	受益者負担			
	その他			
	一般財源	1,170	850	950

【 事業実績 】

実施内容	平成26年4月1日及び5月1日から下水道の供用が開始された区域内の世帯が行う排水設備工事に対して助成金を交付した。 交付件数：25件、交付金額：1,250千円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	水洗化率										
	最終目標値	90.6								単位	%	
	実績値			平成23年度	81	平成24年度	80.1	平成25年度	81.2	平成26年度	82.3	
	達成度	%		89	%	88	%	90	%	90	%	
2	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
3	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
4	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		
5	指標											
	最終目標値									単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
	達成度	%		%		%		%		%		

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6／6点	水洗化を図るため、排水設備工事費の助成を行う事により住民の負担を減らしつつ、水洗化を進めることは適切である。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	6／6点	浄化槽から下水道への転換に対して工事費の助成を行うことは水洗化を促進する上で妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	1点：概ね適切	5／6点	水洗化率が上昇していることから住民の要望が高まっていること、下水道に接続することにより、より衛生的な生活を営めるようにするために必要な事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針		現状維持
総合評価	下水道供用開始後、町民が下水道へ接続するための負担を軽減し、接続率を向上させるために必要な事業である。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

下水道啓発事務		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	上下水道課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	5 下水道の整備					
その他の関連する施策		①地域環境づくりの推進 ②自然環境づくりの推進				
何のために (目的・課題)	下水道を正しく理解し、水環境保護に対する意識を醸成するため。					
誰・何を (対象)	下水道事業区域内及び下水道計画区域内の住民 4,300人					
どんなことを ・どのように (内容)	・よこぜまつりでの下水道なんでも相談所の開設や出前講座を実施し、ビデオや実験を通して、水質浄化の仕組みを啓発する。 ・下水の新規使用者へ下水道のしくみや排水時の注意事項、下水道早期接続者への助成金制度等について記載したパンフレットを配布。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費			10	12
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源		10	12

【 事業実績 】

実施内容	・13区内で新たに下水道付設工事をする区域の住民を対象に説明会を実施。(8/8実施、25名参加) ・よこぜまつりの会場内において下水道PRブースを開設。(10/26実施、約220名来場) ・平成26年度に供用開始された区域で未接続世帯に対して、戸別訪問とチラシの配布を実施。(12/19実施、12世帯訪問)
------	---

【 目標指標 】

1	指標	水洗化率									
	最終目標値	90.6						単位	%		
	実績値			平成23年度	81	平成24年度	80.1	平成25年度	81.2	平成26年度	82.3
	達成度	%		89	%	88		%	90	%	91
2	指標	出前講座、下水道相談所の来場者数									
	最終目標値	150						単位	人		
	実績値			平成23年度	88	平成24年度	178	平成25年度	365	平成26年度	245
	達成度	%		59	%	119		%	243	%	163
3	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	町民が多く集まるよこぜまつりの機会を活用し、幅広い年齢層の町民に効率的に周知することができた。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	町民に広く周知することができ、下水道への理解と水環境保護に対する意識づけができる事業として妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	4／6点	横瀬川の水質保全のため、今後も継続的に実施していくことは必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	一部改善
総合評価	下水道の面整備により年々供用開始区域が拡大しているが、新たに供用開始区域となる地域はもちろん、既に供用開始となっている地域について、より一層の下水道普及を推進する必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

特定環境保全公共下水道事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	上下水道課
基本構想	2 生活基盤					
主な施策	5 下水道の整備					
その他の関連する施策		①地域環境づくりの推進 ②自然環境づくりの推進				
何のために (目的・課題)	生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため。					
誰・何を (対象)	下水道事業認可区域内の住民 3,800人					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬地内の下水道事業区域で未普及区域を対象に下水道の整備を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	70,277	41,618	123,140
財源内訳	国県支出金	25,900	16,600
	地 方 債	25,400	18,200
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	18,977	6,818
			19,640

【 事業実績 】

実施内容	○下水道計画区域内において下水道整備に伴う管渠工事及び管渠実施設計を実施した。整備面積6.21ha ・下水道管渠築造工事：川東污水幹線394工事等 1,504m、下語歌橋マンホールツツ場 1箇所 ・舗装復旧工事：中郷污水支線181舗装復旧工事等 932㎡ ・下水道管渠実施設計：12,13,14区地内における下水道管渠実施設計 1,794m
------	---

【 目標指標 】

1	指標	公共下水道普及率									
	最終目標値	30.4							単位	%	
	実績値			平成23年度	29.3	平成24年度	29.7	平成25年度	31.4	平成26年度	35.3
	達成度	%		96	%	98	%	100	%	116	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	公共用水域の水質保全を公共下水道により改善する事業としては適切である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	公衆衛生上の問題を公共下水道により改善する事業として妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	水洗化率が高いことから町民の要望が高いこと、横瀬川の水質保全のために下水道整備は必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 町田 文利

今後の方針	拡大
総合評価	公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るため、下水道整備計画に基づいて事業推進していく必要がある。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

青少年教育活動費助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	3 保健・福祉・医療					
主な施策	4 子育て福祉の推進					
その他の関連する施策		①青少年の健全育成				
何のために (目的・課題)	埼玉県知事から委嘱を受け、地域の子どもたちとの遊びを通し健やかな成長を助けるためのボランティア活動を行う。					
誰・何を (対象)	青少年相談員 7人					
どんなことを ・どのように (内容)	季節ごとの主催行事（中学生キャンプ、バスレクツアー等）や町の行事にも積極的に参加している。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	610	610	610
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	610	610

【 事業実績 】

実施内容	2 団体に補助金を交付した。 青少年育成横瀬町民会議 250,000円 町青少年相談員協議会 360,000円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	家庭教育支援事業参加者数									
	最終目標値	500							単位	人	
	実績値			平成23年度	219	平成24年度	144	平成25年度	133	平成26年度	133
	達成度	%		44	%	29	%	27	%	27	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	事業を実施するに当たり、必要最低限な予算である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	事業計画に沿った活動ができている団体であり、継続しての交付が望ましい。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	長期にわたり、計画的に事業を実施している。特に、青少年相談員の活動は、児童・生徒にも浸透しており、必要とされている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	青少年育成町民会議は、現在青少年問題が落ち着いていることから、平常時の啓発活動を実施している。青少年相談員は、良き子ども達のリーダーとして、主催事業を実施している。そのほか、町の事業に参加協力している。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

成人式事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	1 社会教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	当該年度に満20歳を迎える町民（以下、「新成人」という。）を町及び関係機関が祝福・激励し、新成人が責任ある自立した社会人としてより良い社会の創造に貢献していくことを決意する機会を与えるため。					
誰・何を (対象)	新成人 130人					
どんなことを ・どのように (内容)	成人の日（祝日）の前日の日曜日に、町民会館を会場に、新成人を対象に成人式を開催する。成人式式典は、新成人による実行委員により進行する。11月に成人式対象者へ往復はがきによる式典開催案内の発送及び参加の有無の確認を行う。式典終了後、全員で記念写真を撮影し、後日記念品として送付する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	107	116	110
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	107	116

【 事業実績 】

実施内容	平成27年横瀬町成人式を開催した。 110,152円
------	----------------------------

【 目標指標 】

1	指標	社会教育主催事業参加者数									
	最終目標値	3,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	3,294	平成24年度	2,689	平成25年度	2,593	平成26年度	2,814
	達成度	%		85	%	69	%	66	%	72	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	成人式の記念品は、当日撮影した集合写真のみとなっており、経費は最小限に抑えている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	開催日、所要時間等の変更予定はなく、確立されている状況を維持する。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	新成人をお祝いする式典として、今後も継続していく必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	成人者が運営に関わり、厳粛な成人式ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

社会教育振興事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	1 社会教育の充実					
その他の関連する施策	①文化・芸術活動の充実 ②青少年の健全育成					
何のために (目的・課題)	社会教育の振興を目指し、社会教育事業全般の指導・調整を行うとともに、社会教育団体を育成し、社会教育、家庭教育、青少年教育等を充実させる。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	社会教育委員会の開催、主催事業の連絡調整、子育て講座の開催、青少年教育をとおして健全育成を行う。社会教育・青少年教育団体へ補助金交付を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	1,784	1,797	1,807
財源内訳	国県支出金		
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,784	1,797

【 事業実績 】

実施内容	社会教育委員会委員報酬等 97,100円 3 団体に補助金を交付した。 町文化協会 1,300,000円、町子ども会 250,000円、町婦人会 160,000円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	社会教育主催事業参加者数									
	最終目標値	3,900							単位	人	
	実績値			平成23年度	3,294	平成24年度	2,689	平成25年度	2,593	平成26年度	2,814
	達成度	%		85	%	69	%	66	%	72	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	公民館運営審議会委員と社会教育委員は兼任のため、委員報酬は1／2負担となっている。年2回の会議で、効率よく執行できた。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	年間計画どおりの実施ができた。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	年4回実施した子育て講座は、対象者が毎回違うため、継続して実施することが必要であり、参加者からも好評を得ている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	縮小
総合評価	文化協会など自主的活動への支援ができた。婦人会が平成26年度をもって解散した。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

学校教育指導員配置事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	学校運営、管理等に関して専門的な知識を有した職員を雇用し、小中学校教職員の適切な配置や教育活動を一層充実させる。					
誰・何を (対象)	小中学校の児童・生徒・教職員					
どんなことを ・どのように (内容)	学校教育指導員（非常勤職員）を配置し、小中学校に対して学校運営管理等に関して専門的事項を指導する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,238	1,223	1,258
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,238	1,223	1,258

【 事業実績 】

実施内容	教育委員会事務局に「学校教育指導員」1名を週3日配置した。 校長会、教頭会において、学校運営・管理に関する指導、助言。教員人事、人事評価、負担軽減等に関する調査報告。 放課後等子ども教室の事業計画、実施、運営管理。就学、発達、学校生活等に関する教育相談。
------	--

【 目標指標 】

1	指標	教育に関する3つの達成目標「学力」正答率の平均値（横小）									
	最終目標値	95						単位	%		
	実績値			平成23年度	97.3	平成24年度	98.3	平成25年度	98.2	平成26年度	
	達成度	%		102	%	104	%	103	%	0	%
2	指標	教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」目標達成率の平均値（横小）									
	最終目標値	90						単位	%		
	実績値			平成23年度	93.3	平成24年度	94.6	平成25年度	94.7	平成26年度	
	達成度	%		104	%	105	%	105	%	0	%
3	指標	教育に関する3つの達成目標「体力」総合評価A+B+C（横小）									
	最終目標値	80						単位	%		
	実績値			平成23年度	86.3	平成24年度	83.7	平成25年度	84.5	平成26年度	
	達成度	%		108	%	105	%	105	%	0	%
4	指標	朝食欠食率(小学校)									
	最終目標値	0						単位	%		
	実績値			平成23年度	0	平成24年度	0.2	平成25年度	0.2	平成26年度	0.6
	達成度	%		100	%	99	%	0	%	99	%
5	指標	朝食欠食率(中学校)									
	最終目標値	1						単位	%		
	実績値			平成23年度	2	平成24年度	0.4	平成25年度	0.8	平成26年度	2.2
	達成度	%		98	%	99	%	125	%	98	%

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	週3日の非常勤職員として勤務し、必要最小限の経費で実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	学校の専門的知識を有し、学校全般における指導助言が行える。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	放課後等子ども教室は定員を超える応募が有り、その計画、実施、運営管理を行っている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	前職の経験をいかし、放課後等子ども教室の運営や教職員人事事務などの確に執行している。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

小学校学級支援員配置事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	担任教員を補助者が補助・支援することにより、児童一人ひとりの能力に応じた指導体制が整い、子どもたちに確かな学力と豊かな人間性が身につく。					
誰・何を (対象)	小学校の児童・教職員					
どんなことを ・どのように (内容)	学級支援員5名を横小に配置する。 学級支援員は放課後、春・夏・冬休み子ども教室の指導員を兼務する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		7,098	2,607	2,633
財源内訳	国県支出金	7,098		
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源		2,607	2,633

【 事業実績 】

実施内容	横瀬小学校に「学級支援員」2名を配置した。1日7時間勤務 非常勤職員 (5名雇用し、放課後等子ども教室指導員を兼務。ローテーションにより勤務) 低学年への支援、支援学級と普通学級の交流支援。
------	---

【 目標指標 】

1	指標	教育に関する3つの達成目標「学力」正答率の平均値									
	最終目標値	95							単位	%	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	98.2	平成26年度	
	達成度	%		0		%		0		%	
2	指標	教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」目標達成率の平均値									
	最終目標値	90							単位	%	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	94.7	平成26年度	
	達成度	%		0		%		0		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	放課後等子ども教室指導員を兼務するなど連携がとれている。また、必要最小限の経費で実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	担任教員を補助することにより、児童一人一人の能力に応じた指導体制が整えられる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	個に応じた指導体制がとれることにより、確かな学力と豊かな人間性が身につく。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	特別支援学級や普通学級の支援に効果があった。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

小学校 A L T 派遣事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	国際理解教育のため、幼い頃から本物の英語とふれあう機会をつくる。					
誰・何を (対象)	横瀬小学校5・6年生児童					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬小学校へ年間35日（1日7時限）、5・6年生以上（1クラスあたり20時間）の児童を対象に A L T を派遣し、担任の補助を行い、外国語活動に親しむ。 ※歌やゲームなど英語に親しむ活動や簡単な英会話、英語の発音練習					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		735	714	756
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	735	714	756

【 事業実績 】

実施内容	横瀬小学校に年間35日(1日7時間)、5年・6年生の児童を対象に A L T (外国語指導助手)を1名派遣し、担任の補助と簡単な英会話や発音練習を行った。
------	---

【 目標指標 】

1	指標	教育に関する3つの達成目標「学力」正答率の平均値（横小）									
	最終目標値	95							単位	%	
	実績値			平成23年度	97.3	平成24年度	98.3	平成25年度	98.2	平成26年度	
	達成度	%		102	%	104	%	103	%	0	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	毎週火曜日に5・6年生、全5クラスの授業の補助を行っている。本物の英語に親しむ機会が得られ、語学力向上につながっている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	国際化社会に対応する児童の育成につながる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	国際理解教育の充実と語学力向上のため今後もある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	外国人の指導助手による本物の英語にふれあう機会により、国際理解教育が深まった。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

放課後等子ども教室運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	放課後や長期休業中における児童の安全で安心な場所を確保するとともに、学習活動や地域の人々、学校応援団等のボランティアとの交流活動を行う。					
誰・何を (対象)	横瀬小学校児童1～3年生					
どんなことを ・どのように (内容)	課業日の放課後から午後5時30分まで、長期休業日は午前8時から午後5時30分までの間、図書室を利用。対象は横瀬小学校在籍の小学1年から3年生までの児童で、定員30名とする。指導員は、学級支援員が兼務する。利用料は無料とし、保険料実費分のみ保護者負担とする。 要綱改正により、H25. 4. 1から定員40人とする。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	57	3,120	3,105
財源内訳	国県支出金	1,161	844
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	1,959	2,261

【 事業実績 】

実施内容	放課後や長期休業中に放課後等子ども教室を開設し、学習活動を行ったり、地域の人々や学校応援団ボランティアの人々と交流を図りながら子どもの居場所づくりを行った。 対象：小学1年生～3年生 40名
------	--

【 目標指標 】

1	指標	学校応援団人数									
	最終目標値	200								単位	人
	実績値			平成23年度	94	平成24年度	94	平成25年度	94	平成26年度	104
	達成度		%	47	%	47	%	47	%	52	%
2	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度		%		%		%		%		%
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度		%		%		%		%		%
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度		%		%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度		%		%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	県より1／2の補助により実施している。（基準額あり） 学校応援団など地域住民やボランティアの協力を得て、体験学習を実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	放課後や長期休業中（夏季、冬季、学年末、春季休業中）に子ども教室を開設しており、子どもの居場所が確保されている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	放課後や長期休業中の子どもの居場所を確保するため今後も必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	数多くのボランティアによる体験活動や平常時の支援員の運営管理により安全な子ども達の居場所が確保された。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

小学校就学援助費支給事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	普通教育を受ける機会を与えるため。					
誰・何を (対象)	横瀬小学校の児童 30人					
どんなことを ・どのように (内容)	経済的理由により就学困難と認められる児童が対象であり、その保護者に対して就学援助費を支給する。保護者の申請により、学校長の所見、民生委員の意見等を参考にし、教育委員会で認定し、年3回に分け、学用品費・通学用品費・校外活動費・新入学用品費・修学旅行費・学校給食費（実費分）・医療費（医療券）を限度額の範囲内で支給する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,494	1,356	1,512
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	1,494	1,356	1,512

【 事業実績 】

実施内容	就学援助が必要な児童の保護者に学用品・通学用品費、校外活動費、修学旅行費、新入学用品費、学校給食費を限度額の範囲内で支給した。21世帯24名に1,512,776円支給。 (学用品・通学用品費 318,670円、校外活動費 29,230円、修学旅行費 35,296円、新入学用品費 81,880円、学校給食費 1,047,700円)
------	---

【 目標指標 】

1	指標	教育に関する3つの達成目標「学力」正答率の平均値（横小）									
	最終目標値	95							単位	%	
	実績値			平成23年度	97.3	平成24年度	98.3	平成25年度	98.2	平成26年度	
	達成度	%		102	%	104	%	103	%	0	%
2	指標	教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」目標達成率の平均値（横小）									
	最終目標値	90							単位	%	
	実績値			平成23年度	93.3	平成24年度	94.6	平成25年度	94.7	平成26年度	
	達成度	%		104	%	105	%	105	%	0	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	国の基準により援助費を支給している。対象者も民生委員や学校へ家庭状況や意見を聞きながら決定している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	将来のある児童の学習環境を整えるため、就学の支援をすることは必要である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	ひとり親家庭も増加傾向にあり、経済的に困難な家庭の就学支援をすることは今後も必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	関係機関と連携し、就学困難と認められる児童への支援ができた。毎年増加傾向にあることが懸念される。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

中学校 A L T 派遣事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	国際理解教育のため、指導体制の充実を図る。					
誰・何を (対象)	横瀬中学校生徒 270人					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬中学校へ年間35日（1日7時限）A L T を派遣し、外国語教育の指導体制を充実させる。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	735	735	756
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	735	756

【 事業実績 】

実施内容	横瀬中学校へ週1回、年間35日（1日 7時間）、A L T（外国語指導助手）を1名派遣し、英語担当教諭の補助と英会話、発音練習等を行った。
------	---

【 目標指標 】

指標		教育に関する3つの達成目標「学力」正答率の平均値（横中）							
1	最終目標値	88						単位	%
	実績値			平成23年度	95.1	平成24年度	93	平成25年度	92.8
	達成度		%	108	%	106	%	105	%
								0	%
2	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度		%		%		%		%
3	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度		%		%		%		%
4	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度		%		%		%		%
5	指標								
	最終目標値							単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度		%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	毎週木曜日に英語授業の補助を行っている。本物の英語に親しむ機会が得られ、生徒の語学力の向上が図られている。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	5／6点	週 1 回の実施で全 9 クラスを担当するのは困難であるため、今後日程を増やす必要がある。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	国際理解教育の充実と語学力向上のため今後も必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	拡大
総合評価	本物の英語にふれあう機会により、語学力の向上に努めているが、一層の英会話向上のために拡大が必要である。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

さわやか相談員配置事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	3 学校教育の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	子どもの「心の悩み」に対し、親身になって相談に応じるさわやか相談員を配置することにより、不登校やいじめをなくす。					
誰・何を (対象)	中学校生徒、教職員					
どんなことを ・どのように (内容)	「さわやか相談員」を町の非常勤職員として採用する（1日5時間勤務）。生徒、保護者等のいじめや不登校等の相談に応じる。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	1,583	1,545	1,608
財源内訳	国県支出金	948	941
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	635	604

【 事業実績 】

実施内容	中学校さわやか相談室に「さわやか相談員」1名を配置し、不登校などの問題行動の未然防止と解消を図った。 週5日、1日5時間勤務 相談件数 218件（男128件・女90件）
------	---

【 目標指標 】

1	指標	教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」目標達成率の平均値（横小）						
	最終目標値	90					単位	%
	実績値		平成23年度	93.3	平成24年度	94.6	平成25年度	94.7
	達成度	%	104	%	105	%	105	%
2	指標	教育に関する3つの達成目標「規律ある態度」目標達成率の平均値（横中）						
	最終目標値	83					単位	%
	実績値		平成23年度	79.2	平成24年度	89.6	平成25年度	93.9
	達成度	%	95	%	108	%	113	%
3	指標	教育に関する3つの達成目標「体力」総合評価A+B+C（横小）						
	最終目標値	80					単位	%
	実績値		平成23年度	86.3	平成24年度	83.7	平成25年度	84.5
	達成度	%	108	%	105	%	105	%
4	指標	教育に関する3つの達成目標「体力」総合評価A+B+C（横中）						
	最終目標値	80					単位	%
	実績値		平成23年度	74.5	平成24年度	85.5	平成25年度	85.9
	達成度	%	93	%	107	%	107	%
5	指標							
	最終目標値						単位	
	実績値		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	達成度	%	%		%		%	%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	経費の約6割を県費補助金を受けて実施。また、非常勤職員として雇用するなど経費を抑えている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	生徒が本音で悩みを語ることのできる相談場所となっている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	いじめや不登校等の未然防止に必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	生徒や担任教諭との相談活動により信頼関係が構築され、現在、学校が落ち着いた状態にあり、いじめなど問題行動の未然防止が図れている。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

武甲山特殊植物保護増殖事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	6 文化財の保護・継承					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	国指定天然記念物である武甲山の特殊植物を保護・増殖するため。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	武甲山の特殊植物を保護・増殖するため、武甲山特殊植物園の管理を実施する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	364	374	372
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	364	374
			372

【 事業実績 】

実施内容	植物園園長謝金 300,000円、園長傷害総合保険等 12,130円 増殖委員謝金 60,000円
------	--

【 目標指標 】

指標		武甲山特殊植物園のチチブイワザクラの株数									
1	最終目標値	1,000							単位	株	
	実績値			平成23年度	500	平成24年度	500	平成25年度	500	平成26年度	500
	達成度	%		50	%	50	%	50	%	50	%
	達成度	%		50	%	50	%	50	%	50	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	委員・園長への謝金は、適切に支出できた。園長加入の傷害保険は、最低限必要な保険に加入した。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	武甲山特殊植物園を視察後、保護増殖や今後の方針についての意見交換ができた。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	武甲山特殊植物を保護増殖していくには、専門家の意見を伺い、指示を得ることが今後も必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 赤岩 利行

今後の方針	現状維持
総合評価	チチブイワザクラ、ミヤマスカシユリなどの武甲山特殊植物の保護増殖に努めている。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

町民体育祭事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	7 スポーツ・レクリエーション活動の充実					
その他の関連する施策	①町民交流の推進					
何のために (目的・課題)	スポーツ・レクリエーションによる地域の活性化及び町民の健康保持や体力の増進を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	体育協会(主管)・スポーツ推進委員による競技の種目検討会議・準備を実施する。また、各地区体育部による競技選手の選考・練習を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		646	356	188
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	646	356	188

【 事業実績 】

実施内容	台風接近のため、平成26年度は中止。 幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象として、自由参加種目や地区対抗種目を計画した。 平成25年度も中止であったため、平成25年度に計画した内容を実施化する予定であった。 (2種目の見直し、実施方法の変更)
------	--

【 目標指標 】

1	指標	社会体育施設の年間延べ利用者数									
	最終目標値	41,000						単位	人		
	実績値			平成23年度	36,146	平成24年度	45,259	平成25年度	34,367	平成26年度	41,624
	達成度	%		88	%	110	%	84	%	102	%
2	指標	年間スポーツイベント数									
	最終目標値	24						単位	事業		
	実績値			平成23年度	10	平成24年度	7	平成25年度	8	平成26年度	10
	達成度	%		42	%	29	%	33	%	42	%
3	指標	年間スポーツイベント参加者数									
	最終目標値	4,000						単位	人		
	実績値			平成23年度	3,884	平成24年度	3,705	平成25年度	3,371	平成26年度	3,568
	達成度	%		97	%	93	%	84	%	89	%
4	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値							単位			
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	最小限の経費で事業を運営している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	1 0 月 第 1 日 曜 日 の 開 催 で 定 着 し て お り、開催に向けた検討、調整、準備等について、各地区及び関係団体と連携しながら実施できている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	4／6点	町のコミュニティ醸成のため、体育祭は必要な事業であるが、一部で選手集めの苦労や内容等についての意見があるのも事実であり、課題となっている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	台風接近により中止となった。事前の練習や慰労会により地域住民の連携が図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

スポーツ振興事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	7 スポーツ・レクリエーション活動の充実					
その他の関連する施策	①社会教育の充実 ②町民交流の推進					
何のために (目的・課題)	明るく活力に満ちた生きがいのある社会を形成するため、スポーツ・レクリエーションを通して「こころ」と「身体」の健全な発達を促す。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	社会体育事業として、幅広い年代の町民がスポーツに親しむ機会や環境を拡充させるとともに、町民相互のふれあいを高める環境整備に努める。また、学校開放に関する施設の維持管理等を行う。					

【事業費等】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,485	573	660
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他	114	54	92
	一 般 財 源	1,371	519	567

【事業実績】

実施内容	【スポーツ教室等】○町民ハイキング28名参加 ○小学生親子水泳教室全4回延べ104名参加 ○体力・運動能力調査18名参加 ○小学生スポーツ教室(かけっこ、てつぼう、なわとび)3種全6回延べ113名参加 【スポーツイベント】横瀬町駅伝競走大会 70チーム参加 【中学校体育館利用】6,110名
------	---

【 目標指標 】

1	指標	スポーツ教室の参加者数									
	最終目標値	1,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	484	平成24年度	305	平成25年度	312	平成26年度	702
	達成度	%		48	%	31	%	31	%	70	%
2	指標	生涯スポーツ振興計画の策定									
	最終目標値	0							単位	%	
	実績値			平成23年度	0	平成24年度	0	平成25年度	0	平成26年度	0
	達成度	%		0	%	0	%	0	%	0	%
3	指標	社会体育施設の年間延べ利用者数									
	最終目標値	41,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	36,146	平成24年度	45,259	平成25年度	34,367	平成26年度	41,624
	達成度	%		88	%	110	%	83	%	102	%
4	指標	年間スポーツイベント数									
	最終目標値	24							単位	事業	
	実績値			平成23年度	10	平成24年度	7	平成25年度	8	平成26年度	10
	達成度	%		42	%	29	%	33	%	42	%
5	指標	年間スポーツイベント参加者数									
	最終目標値	4,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	3,884	平成24年度	3,705	平成25年度	3,371	平成26年度	3,568
	達成度	%		97	%	93	%	84	%	89	%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	参加者の負担金を、事業費の3割程度を目途に設定。最小限の経費で事業実施している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	生涯学習、生涯スポーツの観点から、継続して町民に参加を働きかけるため、各種教室を開催する意義がある。小学生の教室等は、例えばかけっこ教室は運動会前に実施するなど、開催時期も考慮している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	町民の、スポーツをするきっかけ作りとして各種教室は必要である。多くの町民が興味を持って、参加しやすい事業を開催することも今後の課題である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	町民ハイキング、水泳、かけっこ、鉄棒等スポーツ教室開催により、技術の向上や心身の健康管理が図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

スポーツ推進委員事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	7 スポーツ・レクリエーション活動の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町民のニーズに合わせて、町民一人ひとりが、生涯をととしてスポーツ・レクリエーション等に親しめる為の活動機会を充実させる。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24. 10. 1)					
どんなことを ・どのように (内容)	ライフステージに応じた各種事業（教室・大会・ニュースポーツ紹介）を企画運営する。また、町民体育祭や駅伝競走大会の実施に対して全面的な協力を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		634	434	450
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	634	434	450

【 事業実績 】

実施内容	○主催事業等 8事業（延べ14回） 参加委員数延べ53名 町民ハイキング・ハイキング下見・体力運動能力調査・水泳教室・小学生スポーツ教室3事業・スポ少運動適正テスト ○町民体育祭（準備2日）及び駅伝競走大会の運営協力 ○毎月1回の定例会を開催
------	--

【 目標指標 】

1	指標	スポーツ教室の参加者数									
	最終目標値	1,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	484	平成24年度	305	平成25年度	312	平成26年度	702
	達成度	%		48	%	31	%	31	%	70	%
	指標	生涯スポーツ振興計画の策定									
2	最終目標値	0							単位	%	
	実績値			平成23年度	0	平成24年度	0	平成25年度	0	平成26年度	0
	達成度	%		0	%	0	%	0	%	0	%
	指標										
3	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
4	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
5	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経済性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2点：適切	6／6点	最小限の経費で主催事業等を運営している。
	効率的な手段・方法であるか	2点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2点：適切		
妥当性	諸計画との整合性はあるか	2点：適切	5／6点	スポーツ振興について、専門的知識を活かし、適切な事業の企画運営を行ったが、中長期的な事業展開も検討と考える。
	長期的な効果が期待できるか	1点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2点：適切		
必要性	住民ニーズを反映しているか	2点：適切	6／6点	ここ数年小学生対象のスポーツ教室に重点を置き事業を展開しているが、根強いニーズが存在するため、これを推進するとともに、一般向けスポーツ教室の開拓等、更なる推進委員の活躍が必要となる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2点：適切		
総 合 点 数		17／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	町民ハイキング、各種スポーツ教室、町民体育祭準備、駅伝競走大会など事務局とともに事業推進が図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

保健体育団体助成事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	7 スポーツ・レクリエーション活動の充実					
その他の関連する施策	①町民交流の推進 ②青少年の健全育成					
何のために (目的・課題)	助成金交付により、自主的・自発的なスポーツ活動の環境を整え、町民の体力や好運動性の向上、健康の保持増進を図る。また、青少年健全育成活動を推進させる。					
誰・何を (対象)	該当団体 29団体					
どんなことを ・どのように (内容)	年1回、横瀬町体育協会及び横瀬町スポーツ少年団に対して活動支援のための補助金を交付する。同時に町の事業への積極的な協力を依頼する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	2,260	2,260	2,260
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	2,260	2,260

【 事業実績 】

実施内容	スポーツ活動活性化のため、体育協会へ1,700千円、スポーツ少年団へ560千円の補助金を交付した 【活動費】体育協会 収入2,257,626円 支出1,911,421円 スポ少 収入750,353円 支出737,022円 【構成員】体育協会 18団体750名（うち休部3団体、各地区体育部除く） スポ少6団体156名 【活動内容】体育協会 広報誌発行、体育祭主管、駅伝開催等 スポ少 母集団研修、清掃活動等
------	---

【 目標指標 】

1	指標	スポーツ団体数									
	最終目標値	50							単位	団体	
	実績値			平成23年度	41	平成24年度	41	平成25年度	46	平成26年度	45
	達成度	%		82	%	82	%	92	%	90	%
2	指標	社会体育施設の年間延べ利用者数									
	最終目標値	41,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	36,146	平成24年度	45,259	平成25年度	34,367	平成26年度	41,624
	達成度	%		88	%	110	%	83	%	102	%
3	指標	年間スポーツイベント数									
	最終目標値	24							単位	事業	
	実績値			平成23年度	10	平成24年度	7	平成25年度	8	平成26年度	10
	達成度	%		42	%	29	%	33	%	42	%
4	指標	年間スポーツイベント参加者数									
	最終目標値	4,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	3,884	平成24年度	3,705	平成25年度	3,371	平成26年度	3,568
	達成度	%		97	%	93	%	84	%	89	%
5	指標	スポーツ少年団加入者率									
	最終目標値	31							単位	%	
	実績値			平成23年度	22	平成24年度	25	平成25年度	28	平成26年度	21
	達成度	%		71	%	81	%	90	%	68	%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	各団体とも、補助金を使用して各種事業を工夫して実施している状況である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	これらの団体は、町の生涯学習や社会体育振興の中核をなし、町の活性化にも寄与している。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	生涯学習、社会体育振興のためにも、これら団体への活動支援は必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	体育協会やスポーツ少年団への活動支援ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

町民グラウンド管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	7 スポーツ・レクリエーション活動の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町民等にスポーツ・レクリエーション活動の場（町民グラウンド）を提供する。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人（H24.10.1）					
どんなことを ・どのように (内容)	町民グラウンドを管理運営する事業。 日々の管理を公益社団法人横瀬町シルバー人材センターに委託し、必要に応じ、修繕や工事を実施する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費			2,570	3,759
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担		54	139
	そ の 他		87	86
	一 般 財 源		2,429	3,534

【 事業実績 】

実施内容	施設の維持管理は、(公社)横瀬町シルバー人材センターに作業委託【施設利用者】24団体、横瀬町駅伝競走大会 延べ22,443名(体育祭は中止) ○消耗品費:64,772円(石灰、トイレトペーパー等) ○燃料費:12,817円(草刈機、コトラロー) ○光熱水費:電気425,249円、水道162,125円 ○修繕費:422,630円(トイレ修繕等) ○手数料:1,620円(バッテリー充電) ○委託料:1,547,728円(シルバー、浄化槽管理等) ○補修材料費:7,983円(砂味) ○備品購費:1,114,884円(ボール)
------	--

【 目標指標 】

1	指標	社会体育施設の年間延べ利用者数									
	最終目標値	41,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	36,146	平成24年度	45,259	平成25年度	34,367	平成26年度	41,624
	達成度	%		88	%	110	%	83	%	102	%
2	指標	年間スポーツイベント数									
	最終目標値	24							単位	事業	
	実績値			平成23年度	10	平成24年度	7	平成25年度	8	平成26年度	10
	達成度	%		42	%	29	%	33	%	42	%
3	指標	年間スポーツイベント参加者数									
	最終目標値	4,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	3,884	平成24年度	3,705	平成25年度	3,371	平成26年度	3,568
	達成度	%		97	%	93	%	84	%	89	%
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1 点：概ね適切	4／6点	施設・設備の老朽化に伴い、計画的な修繕や備品の交換等を実施する必要がある。また、新たに人工芝を敷設したので、その維持管理に関する経費計上も考慮しなければならない。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	防球ネットの増設、人工芝敷設等の事業を実施し、長期的な活用と新たな利用促進が見込まれる。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	体育祭の開催や、各種スポーツ大会の実施に必要な施設であり、更に広く利用できるように管理運営する必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		15／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	町民の心身の健全育成、健康の維持増進及びスポーツ振興の活動拠点施設として、概ね管理運営ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

人権教育推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	6 協働・交流					
主な施策	1 人権の尊重・平和意識の啓発					
その他の関連する施策	①社会教育の充実					
何のために (目的・課題)	同和問題をはじめとするあらゆる差別をなくすため、町民への人権教育および啓発事業を行う。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	人権教育講演会を各種団体と共催により実施する。 人権教育研修会・人権教育啓発活動を実施し、町人権教育推進協議会へ補助金を交付する。 人権運動団体の研修会への参加や人権運動団体との交渉に対応する。 人権図書の購入及び新聞を購読する。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	844	806	594
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他	413	325
	一 般 財 源	392	269

【 事業実績 】

実施内容	横瀬町講演会講演依頼手数料 325,920円 研修会負担金・資料代 85,000円 秩父地区人推協負担金、町人推協補助金外 183,606円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	人権教育研修会・講演会の参加者数									
	最終目標値	860							単位	人	
	実績値			平成23年度	554	平成24年度	497	平成25年度	438	平成26年度	687
	達成度	%		64	%	58	%	51	%	80	%
2	指標	審議会等の女性委員割合									
	最終目標値	20							単位	%	
	実績値			平成23年度	16.5	平成24年度	15.9	平成25年度	14.3	平成26年度	16.4
	達成度	%		83	%	80	%	65	%	82	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	講演会を 7 団体が共催で開催することにより、経費負担の軽減を図っている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	年度当初から講師の選考を始めることにより、ホームページ等の広報手段も有効に利用でき、集客活動に力を入れることができた。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	様々な人権問題を解決するためにも、人権教育の推進が必要とされている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	人権教育に関する様々な活動推進が概ねできた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

公民館主催事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	1 社会教育の充実					
その他の関連する施策		①幼児教育の充実 ②青少年の健全育成				
何のために (目的・課題)	住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	年間を通して、公民館で行う講座・教室、外部施設の見学等を、町民の年齢層、ニーズに合わせて企画、実施する。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		1,155	1,016	977
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他	351	328	318
	一 般 財 源	804	687	658

【 事業実績 】

実施内容	ママとよい子のリトルラビット事業（20回） 菊作り教室（7回） 子ども体験学習（7事業） クッキー作り教室 小学生工作教室（児童館と共催） 秋の美術館博物館めぐり 放課後子ども教室（11回） 報償金297,000円 消耗品153,241円 食糧費100,820円 材料費28,552円 通信運搬費624円 火災等保険料13,100円 使用料153,670円 借上料230,040円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	生涯学習地区推進委員会事業参加者数									
	最終目標値	1,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	870	平成24年度	645	平成25年度	686	平成26年度	997
	達成度	%		87	%	65	%	69	%	99	%
2	指標	公民館年間利用者数									
	最終目標値	28,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	31,481	平成24年度	31,033	平成25年度	31,254	平成26年度	26,358
	達成度	%		112	%	111	%	112	%	94	%
3	指標	リトルラビット事業の参加者数									
	最終目標値	17							単位	組	
	実績値			平成23年度	18	平成24年度	18	平成25年度	20	平成26年度	12
	達成度	%		106	%	106	%	118	%	71	%
4	指標	文化協会加盟団体数									
	最終目標値	38							単位	団体	
	実績値			平成23年度	38	平成24年度	38	平成25年度	39	平成26年度	38
	達成度	%		100	%	100	%	103	%	100	%
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%			%		%		%		%

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	講座で使用する材料は、安価な物や廃品を再利用し必要最低限のコストで事業を実施した。子育て支援事業では、児童館や健康づくり課と連携し参加機会の確保に配慮しながら効果的に実施したが、類似事業については統合の検討の余地がある。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	住民の教養向上、健康増進、情操の純化、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する講座事業を展開し計画にも合致している。学習の場の提供及び青少年健全育成の推進の観点からも長期的効果は高い。月3回～4回程度の事業実施は妥当である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	実施した講座はほぼ定員に達し、成果がでている。町民ニーズと時代のニーズに合わせた、より多様な事業の実施を検討する必要がある。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	美術館めぐり、リトルラビット、各種講座の開催により、町民文化の向上が概ね図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

図書館管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	1 社会教育の充実					
その他の関連する施策		②文化・芸術活動の充実				
何のために (目的・課題)	町民の教育と文化の発展のため。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	図書館の管理運営及び図書等を計画的に購入し、利用者へ必要な情報と資料の提供を行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		4,888	4,851	5,308
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	4,888	4,851	5,308

【 事業実績 】

実施内容	図書館消耗品143,533円、書架等購入費119,016円、システム工事費129,384円、システム料1,547,352円 (回線26,565円、プロバイダ7,560円、保守351,732円、リース773,085円、クラウド388,410円) 図書等購入費1,456,768円 (図書998,267円、新聞4紙164,124円、雑誌248,752円、CD・DVD45,625円) 一般事務費1,912,278円 (賃金等1,898,074円、旅費3,204円、協会負担金11,000円)
------	---

【 目標指標 】

指標		図書館年間利用者数									
1	最終目標値	16,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	13,030	平成24年度	13,125	平成25年度	13,423	平成26年度	12,799
	達成度	%		81	%	82	%	84	%	80	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	4／6点	公共図書館の役割を果たすために必要最低限のコストで読書活動を推進した。また、システムの更新により資料検索や予約が可能になり利便性が向上した。小学校への団体貸出やお話の会（ボランティア）と連携し、子ども読書活動の普及、推進のための事業を実施した。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	町民の生涯学習を支援し、地域の情報拠点としての役割を果たすため、資料の収集・保存・整備を行った。また、システムの更新により、利用者が必要な情報を入手・予約できることから効果は大である。蔵書点検とシステム更新を同時に行い開館日数の確保を図った。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	利用者のニーズに応えるため、予約・リクエストサービスや県内図書館との相互貸借を実施し利用促進に努めた。今後も公共図書館の役割を果たすため、資料の収集・整備を継続して進め、読書活動の普及・推進のための事業を展開していく。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		15／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	図書の収集、整理、保存、貸出し、図書館システムの更新により、教育と文化の発展に概ね寄与できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

本ふれあい推進事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
					継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	2 幼児教育の充実					
その他の関連する施策	①学校教育の充実					
何のために (目的・課題)	子どもの読書活動を推進するため。					
誰・何を (対象)	小学生以上全住民					
どんなことを ・どのように (内容)	スタート・パックを親子に手渡し、おはなし会のボランティアから、親子で絵本を開く 楽しさや読み聞かせのアドバイスなどを行う。 【読書感想文集】 読書感想文集「いわざくら」の作品募集・発行を行う。 楽しさや読み聞かせのアドバイスなどを行う。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		156	89	119
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	156	89	119

【 事業実績 】

実施内容	おはなし会（小学校：8回 1,149人、保育所：12回 804人、児童館：12回 360人）、図書館だより（3回）ブックスタート（12回 52組）88,884円、ポイントカード（通年 413人）13,805円、蔵書点検（9/22～28）、小学校への図書貸出（2回 200冊）、読書感想文集発行（応募者33人）16,500円、リサイクルデー（11/1 154人）、夏休み子ども1日図書館員（8/20～21 7人）
------	--

【 目標指標 】

1	指標	図書館年間利用者数									
	最終目標値	16,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	130,302	平成24年度	13,125	平成25年度	13,423	平成26年度	12,799
	達成度	%		81	%	82	%	84	%	80	%
2	指標	児童図書の年間貸出冊数									
	最終目標値	13,000							単位	冊	
	実績値			平成23年度	11,983	平成24年度	13,482	平成25年度	13,862	平成26年度	18,562
	達成度	%		92	%	104	%	106	%	143	%
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	4／6点	事業費は、適切かつ必要最小限であり、健康づくり課、小学校、中学校、お話の会（ボランティア）と相互に連携・協力し、子どもの読書活動の推進を図った。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	1 点：概ね適切	3／6点	図書館機能を活用した子育て支援事業を実施し、子どもの発達段階に応じて読書に親しむ機会を提供した。本事業は生涯教育の原点でもあり、長期的な効果が期待できる。また、読書週間等に合わせた事業展開を行い、子どもが興味を持つよう日程も工夫した。
	長期的な効果が期待できるか	1 点：概ね適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	3／6点	利用者のニーズに対応しながら、子どもの読書活動を推進するための事業を実施するとともに読書活動を促す事業を展開した。また、非来館者への啓発にもなるため継続的な実施が必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	1 点：概ね適切		
	町の将来にとって必要な事業か	1 点：概ね適切		
総 合 点 数		10／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	ブックスタート、読書感想文の募集などにより、概ね読書活動の推進が図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

町民会館維持管理事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	5 文化・芸術活動の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町民の文化・芸術活動等の活動拠点である、町民会館の施設の維持管理を目的とする。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24.10.1)					
どんなことを ・どのように (内容)	町民の文化・芸術活動等の活動拠点として活用されている町民会館の施設を維持管理する。今後は老朽化による施設の修繕・改修が避けられないことから中長期改修計画を計画的に実施することで予算の平準化を図り維持管理の充実に努める。					

【 事業費等 】 (単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		39,544	21,320	19,881
財源内訳	国県支出金	8,565	1,680	
	地 方 債			
	受益者負担	1,450	1,309	1,219
	そ の 他	65	64	105
	一 般 財 源	29,464	18,265	18,556

【 事業実績 】

実施内容	利用人数：47,336人 年間使用料：1,219,300円 自販機電気料：72,000円 自販機売上手数料：33,798円 非常勤職員賃金：1,158,455円 需要費：7,894,013円 (電気4,618,921円燃料680,331円修繕1,855,126円外消耗品費等739,635円) 役務費：99,249円 (電話料等) 委託料：7,678,034円 (夜間管理委託料等) 使用料及び賃借料：2,595,486円 (用地賃借料等) 備品購入費：456,551円
------	--

【 目標指標 】

指標		町民会館の年間利用者数									
1	最終目標値	45,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	57,851	平成24年度	52,903	平成25年度	53,981	平成26年度	47,336
	達成度	%		129	%	118	%	120	%	105	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
3	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
	最終目標値								単位		
4	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
	指標										
5	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	施設の老朽化に伴い、施設設備等の修繕が必要となったが施設の維持管理のために必要最低限の経費である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	町民会館の年間利用者数は減少したが、町の生涯学習施設の拠点であり今後とも有効活用を推進していく。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	身近な文化・芸術活動の拠点として、講演会や会議・研修会等の様々な利用ニーズに対応し施設の運営を行った。今後も町民が利用しやすい環境を提供するには、施設の改修を計画的に行い、会館の機能充実を図ることが急務である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	町民の文化の向上と福祉の増進を図る拠点施設として概ね管理運営ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

ヨコゼ音楽祭補助事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	5 文化・芸術活動の充実					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	音楽にふれあえる機会を増やし、音楽意識の高揚に努め、音楽によるこころ豊かなまちづくりを推進する。また、協働のまちづくりによる町のイメージアップとPR活動を推進する。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24. 10. 1)					
どんなことを ・どのように (内容)	8月中、土曜日と日曜日の2日間にわたり、ヨコゼ音楽祭を行うため、実行委員会に補助金を交付し、音楽祭開催を側面から支援する。音楽祭は、実行委員及びボランティアが主体となり、運営・進行をする。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	1,800	1,800	1,800
財源内訳	国県支出金	100	
	地方債		
	受益者負担		
	その他		
	一般財源	1,800	1,700

【 事業実績 】

実施内容	町民会館ホールにおいて8月9日には「ふれあいコンサート」を、8月10日には「名曲コンサート」を開催した。 【ふれあいコンサート】出演：横瀬小学校かしの木合唱団、横瀬中学校吹奏楽部、横瀬コーラスサークル、Ful (入場者数：431人) 【名曲コンサート】出演：福井敬、谷池重紬子 (入場者数：237人)
------	--

【 目標指標 】

1	指標	ヨコゼ音楽祭の観客数									
	最終目標値	1,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	819	平成24年度	669	平成25年度	843	平成26年度	668
	達成度	%		82	%	67	%	84	%	67	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	5／6点	ヨコゼ音楽祭開催経費の約7割を出演料が占めているため、経費の節減には限界があり補助は必要である。また、文化的な町のイメージアップを図る上でも効果的な事業である。運営が実行委員・ボランティアによって行われているので年1回の開催が適当である。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	1 点：概ね適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	「地域に根ざした文化振興」「ゆとりとやすらぎをテーマに町民の心を豊かにする」等の計画に合致している。住民による住民のための音楽祭であることから地域活性化においても有効的であり、長期的効果が望める。他事業との日程調整もあり、8月の開催が適当である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	5／6点	来場者にアンケート用紙を配布し、出演者の選考には様々な意見やニーズに応えるよう努力している。歴史的にも長く開催し夏のイベントとして定着しているため、文化・芸術活動の核として将来的においても必要である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		16／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	ヨコゼ音楽祭実行委員会の運営によりヨコゼ音楽祭を開催され、町民の文化の向上が図れた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

音楽によるまちづくり事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	5 文化・芸術活動の充実					
その他の関連する施策	①学校教育の充実					
何のために (目的・課題)	子供達が優れた音楽を身近に接することによって、豊かな感情や想像力を育むことを目的とし、音楽によるまちづくりを推進する。					
誰・何を (対象)	小学生 185人					
どんなことを ・どのように (内容)	横瀬小学校高学年の音楽の授業の中にアーティストを呼び、生演奏による優れた音楽を聴いてもらう。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	93	92	91
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担		
	そ の 他		
	一 般 財 源	93	92

【 事業実績 】

実施内容	横瀬小学校演劇鑑賞会 11/5 上演費用33万円の内9万円補助、著作権使用料1,296円 ①ピアノ・バイオリン・チェロによる「小さな楽しいコンサート」(全校生徒) ②生演奏でおくる音楽影絵劇「100万回生きたねこ」(1～3年生) ③生演奏でおくる音楽影絵劇「星の王子さま」(4～6年生)
------	---

【 目標指標 】

1	指標	ヨコゼ音楽祭の観客数									
	最終目標値	1,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	819	平成24年度	669	平成25年度	843	平成26年度	668
	達成度	%		82	%	67	%	84	%	67	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準			担 当 者 評 価	
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	1 点：概ね適切	2／6点	事業費は、適切かつ必要最小限である。小学校と連携して効率的な手段でも実施ではあるが、ヨコゼ音楽祭の学校音楽鑑賞会と統合するなど検討する余地はある。
	効率的な手段・方法であるか	1 点：概ね適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	0 点：不十分		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	1 点：概ね適切	2／6点	小学生に優れた音楽体験を提供し、文化芸術活動への興味を引き出す機会を創出した。しかし、長期的効果を期待するには、類似事業において豊かな感性や創造力を育む事業や芸術体験を提供することも可能である。
	長期的な効果が期待できるか	0 点：不十分		
	事業展開のスケジュールは妥当か	1 点：概ね適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	1 点：概ね適切	1／6点	豊かな人間性を育む事業ではあるが、学校行事としての実施でも十分目的は達成できる事業でもある。また、平成22年度文化振興事業として県補助金の交付により開始した事業だが、当初の目的は達成したと思われる。
	目標達成され必要性が薄れていないか	0 点：不十分		
	町の将来にとって必要な事業か	0 点：不十分		
総 合 点 数		5／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針		縮小
総合評価	小学校児童に本物の楽器演奏に触れる機会を与えることが概ねできた。今後、ヨコゼ音楽祭の学校音楽鑑賞会との統合を検討する。	

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針		
最終評価		

行政評価報告書

文化財保護事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	6 文化財の保護・継承					
その他の関連する施策						
何のために (目的・課題)	町の文化財を適切に保護・継承するため。					
誰・何を (対象)	全住民 9,021人 (H24. 10. 1)					
どんなことを ・どのように (内容)	町の文化財を保護・継承するため、指定文化財等保護に必要な記録保存作業を行う。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分		平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費		433	170	203
財源内訳	国県支出金			
	地 方 債			
	受益者負担			
	そ の 他			
	一 般 財 源	433	170	203

【 事業実績 】

実施内容	指定文化財管理委託（根古屋城跡・城谷沢の井） 66,468円 負担金：県文化財保護協会 10,000円、秩父地区文化財保護協会 23,000円、文化財めぐり参加者 6,000円 消耗品等 98,149円
------	--

【 目標指標 】

1	指標	町指定文化財数									
	最終目標値	45								単位	件
	実績値			平成23年度	42	平成24年度	42	平成25年度	42	平成26年度	42
	達成度	%		93	%	93	%	93	%	93	%
2	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値									単位	
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	後継者の高齢化が懸念されているが、団体の積極的な活動を支援できているため、適切に支出している。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	各保存会の活動は、長年にわたり継承されており、その成果のお披露目は既に町内外に定着している。公演回数が増えることはあっても、基本的に減ることはない事業である。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	文化財の保護及び伝承に必要であり、今後とも必要とされる事業である。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	城谷沢の井などの文化財保護活動ができた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	

行政評価報告書

歴史民俗資料館管理運営事業		評価	主要	重点	新・継	担当課所
		○	○		継続	教育委員会
基本構想	4 教育・文化					
主な施策	6 文化財の保護・継承					
その他の関連する施策	①文化財の保護・継承					
何のために (目的・課題)	先人から長い年月引き継いできた考古・歴史・民俗の資料を収集・保管し、併せて展示公開の活動拠点として活用している歴史民俗資料館の施設を適切に管理・運営するため。					
誰・何を (対象)						
どんなことを ・どのように (内容)	歴史民俗資料館の施設や収蔵品を維持・管理するための職員の確保、職員人件費や施設にかかる費用の支払いなど。					

【 事業費等 】

(単位：千円)

区分	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)
総事業費	5,106	7,015	6,347
財源内訳	国県支出金		
	地 方 債		
	受益者負担	151	177
	そ の 他	58	
	一 般 財 源	4,955	6,807
			6,169

【 事業実績 】

実施内容	横瀬町歴史民俗資料館を管理運営するための事業 平成26年度入館者2,020人、入館料177,760円、リーフレット等売却金額35,770円 平成26年度企画展；文化財写真展「秩父巡礼は武甲山巡礼か？～いずれの札所からも望める武甲山～」 土曜ミュージアムトークを12回開催したほか、収蔵品管理・整理業務等を実施した。
------	---

【 目標指標 】

1	指標	歴史民俗資料館の年間利用者数									
	最終目標値	3,000							単位	人	
	実績値			平成23年度	1,930	平成24年度	1,975	平成25年度	1,954	平成26年度	2,020
	達成度	%		64	%	66	%	65	%	67	%
2	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
3	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
4	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	
5	指標										
	最終目標値								単位		
	実績値			平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	達成度	%		%		%		%		%	

【 担当者評価 】

評 価 基 準		担 当 者 評 価		
経 済 性	経費は適切かつ必要最小限であるか	2 点：適切	6／6点	非常勤職員とシルバー人材センター委託等により、人件費を抑えながらの地味な事業であるが、町の歴史・伝統文化を保存・継承・活用するための最重要施設として管理に力を入れている。
	効率的な手段・方法であるか	2 点：適切		
	他の事業と連携調整が図れているか	2 点：適切		
妥 当 性	諸計画との整合性はあるか	2 点：適切	6／6点	築後30数年の老朽施設であるが、消防設備等の点検や清掃、補修等の必要な管理をしながら、施設の良好な維持管理に努めている。
	長期的な効果が期待できるか	2 点：適切		
	事業展開のスケジュールは妥当か	2 点：適切		
必 要 性	住民ニーズを反映しているか	2 点：適切	6／6点	膨大な数の貴重な所蔵資料の大部分が整理され、将来の展示活用を待っている。毎年度2千人前後の入館者数を維持している中で、町内外小中学校の学年見学があり、中学校を卒業するまでに当該校の全員が見学してくれている。
	目標達成され必要性が薄れていないか	2 点：適切		
	町の将来にとって必要な事業か	2 点：適切		
総 合 点 数		18／18点		

【 総合評価 】 評価者： 富田 等

今後の方針	現状維持
総合評価	寄贈資料の整理、保存、展示、ミュージアムトークの実施などにより、教育、学術並びに文化の発展に寄与できた。

【 最終評価 】 評価者： 行政評価委員会

今後の方針	
最終評価	